

34

50

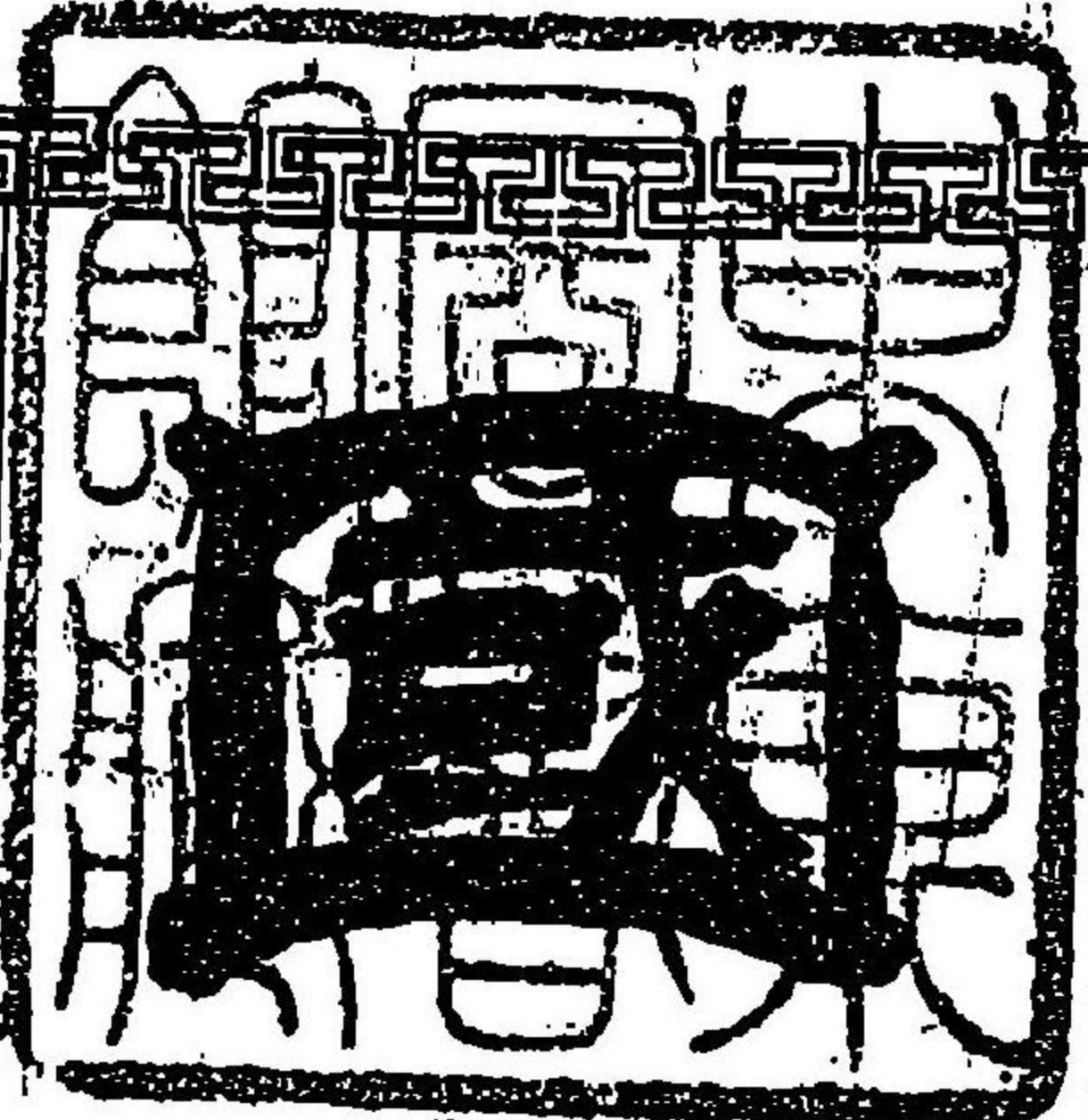
司
法
省
藏
版

國
法
汎
論

自
第
十
卷
至
第
十二
卷

明
治
廿
三
年
三
月
印
行

No 2474/23

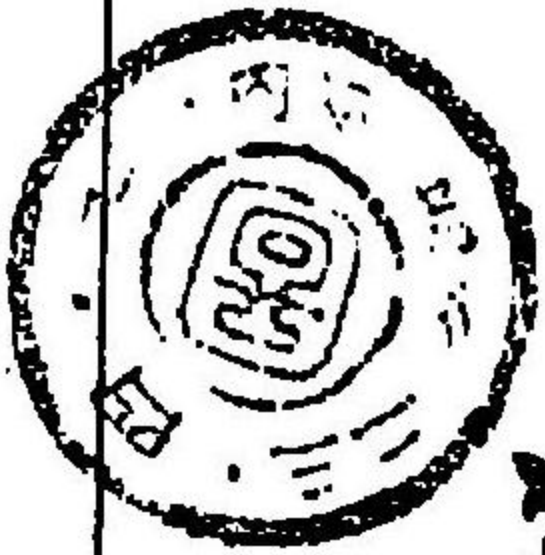
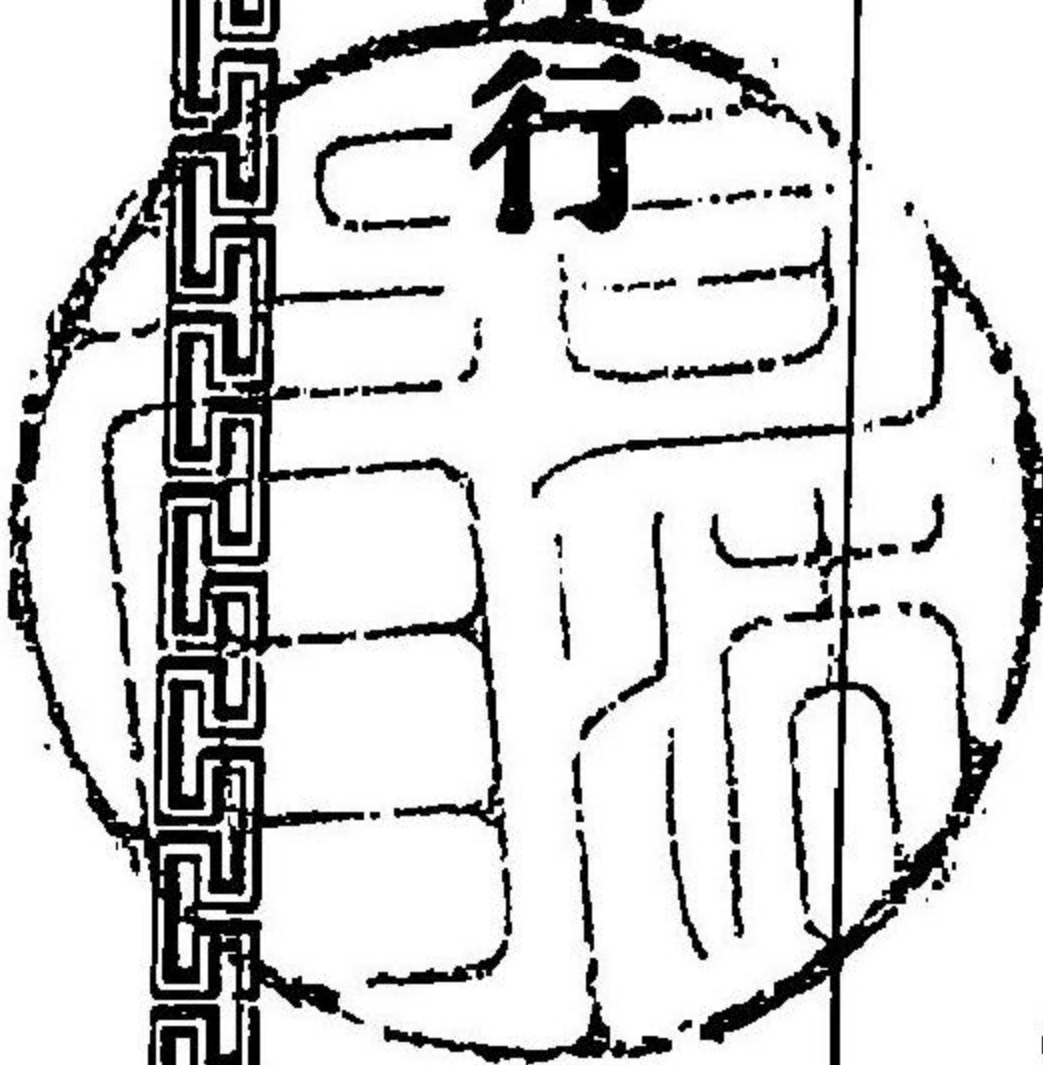


司法省藏版

版權所有

國法汎論

明治廿三年三月印行



國法汎論

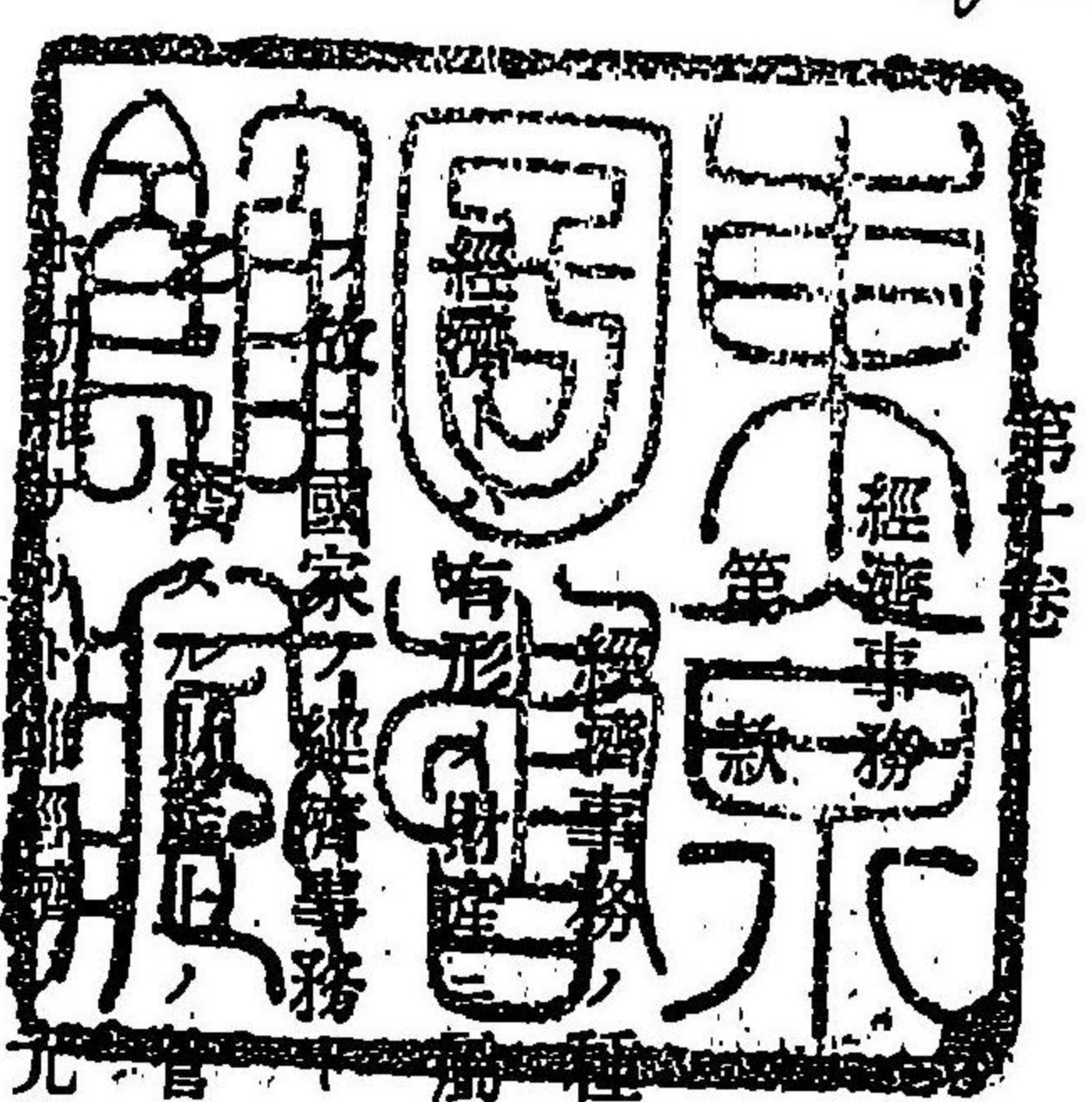
目 錄

第十卷	經濟事務第一款經濟事務ノ種類及方向	一
	第二款第一財政權(甲)國家直有財產	三
	第三款(乙)公權收益	九
	第四款(丙)手數料及ヒ雜收入徵收權	二十三
	第五款(丁)租稅權	二十九
	第六款(丁)國家ノ信用	三十九
	第七款第二經濟事務(甲)一般ノ設營	四十七
	第八款(乙)特別ノ設營	五十八
第十一卷	町村第一款古來ノ沿革	七十七
	第二款町村權利的ノ性質	八十六
	第三款町村ノ組織	九十一
	第四款市ノ組織	九十八

第十二卷	第五款(丁)居宅安全及自由交通ノ保護	百四十四
	第六款(乙)請願及ヒ訴願ノ權	百四十九
	第七款(丙)結社ノ權利	百五十一
	第八款(丁)集會	百五十六
	第九款(戊)抗禦ノ權利	百六十一
	第十款	
	第十卷	
	自由權第一款法律上ノ自由	百十五
	第二款第一 一個人ノ自由(甲)生命ノ保護	百二十二
	第三款(乙)動作ノ自由即チ職業ノ自由	百二十六
	第四款(丙)言語ノ自由出版ノ自由	百三十一
	第五款(丁)居宅安全及自由交通ノ保護	百四十
	第六款第二政治上ノ自由權(甲)權利ノ平等	百四十四
	第七款(乙)請願及ヒ訴願ノ權	百四十九
	第八款(丙)結社ノ權利	百五十一
	第九款(丁)集會	百五十六
	第十款(戊)抗禦ノ權利	百六十一

國法汎論下帙 自第十卷 至第十二卷

獨乙 グルンチユリ一著
日本 平田東助譯



第十卷 經濟事務ノ種類及方向
第十一卷 國家ノ經濟事務ノ管理及ヒ保護ヲ謂フモノナリ而シテ政治經濟(國家經濟)ノ學ハ今尙
第十二卷 自由權第一款法律上ノ自由
第十三卷 自由權第二款第一 一個人ノ自由(甲)生命ノ保護
第十四卷 自由權第三款(乙)動作ノ自由即チ職業ノ自由
第十五卷 自由權第四款(丙)言語ノ自由出版ノ自由
第十六卷 自由權第五款(丁)居宅安全及自由交通ノ保護
第十七卷 自由權第六款第二政治上ノ自由權(甲)權利ノ平等
第十八卷 自由權第七款(乙)請願及ヒ訴願ノ權
第十九卷 自由權第八款(丙)結社ノ權利
第二十卷 自由權第九款(丁)集會
第二十一卷 自由權第十款(戊)抗禦ノ權利

ヲ圖レリ其ノ學タル專ラ算數及ヒ理學上ノ基礎ニ據リ人生ノ需求及消費ニ供スル各種ノ貨
物ヲ生産シ保存シ及ヒ製作スル業務ニ就テ實際ニ之ヲ應用シ以テ世上ニ適當スヘキ完美ナ
ル經濟法ヲ定ムルニ在リ
故ニ今國法上ニ於テ經濟事務ヲ論スルニ方リ其ノ範圍ニ屬セサル一般ノ政治經濟ニ涉ラ

No 2474/23

ハ固ヨリ其ノ主旨トスル所ニ非ズ國法ニ於テハ其ノ範圍即チ國家ノ境域ヲ越ス可ラズ唯タ其ノ國家内ニ在ル經濟事務ニ屬スル機關ニ就キテ其ノ執務上ノ權限及ヒ方法ヲ講究スルニ止マルベキノミ故ニ今國法ノ一部トシテ此ニ稱スル所ノ經濟事務ハ之ヲ一般ノ政治經濟ニ對スレハ猶ホ軍事權ノ軍學ニ於ケル裁判所構成法ノ民法刑法學ニ於ケルト一般ナリ

國家ノ經濟ハ其ノ國家統御ノ權ニ屬セサルノ點ニ於テハ教育事務ト甚タ相似タリ他ノ政權ノ如キ一般ニ命令シ禁制スル威力ヲ以テ其ノ本體トナス所ノモノニ非ス故ニ彼ノ警察事務モ亦公共ノ幸福ヲ増進スルヲ以テ其ノ目的ト爲スト雖其ノ經濟事務ト異ナル所ノモノハ則チ正ニ此ノ點ニ在リ蓋シ國家經濟ノ事務ハ統御ニ在ラスシテ單ニ行政ニ在リ其ノ主要トスル所ノ原則モ亦彼ノ國家外ニ在テ一個人又ハ一社會ノ經濟ヲ爲スモノト更ニ異ナル所ナシ故ニ他ノ國家事務ニ比スルトキハ却テ一個人ノ事務ニ近ク而シテ理財及ヒ經濟ニ從事スル官吏モ之ヲ他ノ公務ニ從事スル官吏ニ比スレハ亦一私人ニ類スル性質ヲ有セリ又經濟事務ト教育事務トノ相異ナル所ヲ擧ケレハ他ナシ經濟事務ハ有形財産ノ養成ヲ司トリ教育事務ハ人民ノ精神道德ニ屬スル財産ノ生育ヲ司ルニ在リ

國家經濟ノ事務ハ其ノ種類左ノ如シ

(第一) 國家ハ自ラ其ノ財産ヲ管理ス即チ國家ハ理財事務(政府經濟)ニ依リテ其ノ己レニ屬スル財産及公共ノ事務ヲ行フニ必要ナル需求ニ供備スヘキ有形貨物ノ管理ヲ爲ス國家ノ理財事務ニ於ケルハ猶ホ一個人ノ其ノ經濟ニ於ケルカコトシ但タ理財ハ國家公共ノ目的ニ供スル經費ヲ調理スルモノナルカ故ニ一個人ノ經濟ニ比スレハ則チ公共ノ精神ヲ帶フルモノナリ

(第二) 一般ノ安樂ヲ謀ルニ必要ナル公共ノ交通及ヒ設備ニ屬スル事務ヲ司リ及ヒ國民ノ全部及ヒ各部ノ財産ヲ富マヌヘキ基本ヲ立ツ即チ國民ノ經濟ヲ養成ス

以上兩種ノ事務ノ並ニ國家ノ行政ニ屬スルハ言フ俟タスト雖國民經濟ノ養成ハ之ヲ理財事務ニ比スレハ政治上ノ性質ヲ有スルコト最モ多シ世人往々私法上ノ性質ニ屬スルモノトシ且ツ一私人ノ經濟ト一般ナリト説ク者アリト雖是レ甚タ誤レリ何トナレハ國民經濟ノ養成ハ以テ一私人ノ經濟上ニ生スル缺處ヲ補完シ又ハ一私人ノ經濟ヲ指揮スルニ非スシテ全國一般ノ經濟ニ注視シ公衆ノ利益ト需要トヲ察シ此ニ由リテ間接ニ一私人ノ福祉ヲ計ルモノナレハナリ

第一 財政權

四

(甲) 國家直有財產

(伊) 國家ハ公共ノ形體ナルヲ以テ其ノ生活ヲ保ツカ爲ニ亦有形財產ノ需用ヲ缺クコト能ハス故ニ往古ヨリ國家ノ其ノ財產トシテ土地動産並ニ債主權ヲ所有セルハ猶ホ一個ノ富人ニ異ナラス而シテ中古ニ在リテハ其ノ經濟ニ於テ全ク私法ニ屬セル財產ノ收入即チ私有財產ヲ以テ其ノ需用ニ供シタリシト雖此ノ如キ組織ハ下級ノ進化ニ屬スル時代ニ止マルモノニシテ苟モ國家ノ性質ノ何物タルヲ知ルニ至レハ其ノ財產モ亦國家本來ノ精神ヲ以テ之ニ充實シ單純ナル私法ノ範圍ヲ超脱ス既ニ此ノ度ニ達スル時ハ公共ノ需求ハ公共ノ收入ヲ以テ之ニ供スヘキコトヲ知リ國家ノ財產ハ國法上ノ原則ニ依リテ整理セラル、ニ至ルヘシ然レトモ國家ハ又此ノ有形財產ニ對シ私法上ノ所有者タルヘキ資格ヲ有スヘキハ無論ニシテ全國中最大最富ノ所有者タルナリ而シテ是レ等ノ財產ヲ公共ノ用ニ充ツルカ爲ニハ國家ニ於テ先ツ其ノ私有權ヲ有スルヲ必要トス國家ハ公共ノ用ニ充ツルカ爲ニ諸種ノ廳屋ヲ要ス例ヘハ君長ノ宮殿政府及ヒ裁判所ノ廳舍武庫城壘等ノ如シ其ノ他又諸種ノ動産ヲ有セサル可ラス例ヘハ軍事ノ械具文庫博物館ノ物品ノ如シ此ノ類ハ固ヨリ國家ノ私有財產ニシテ私法上ノ規則ニ據ルト雖又其ノ公共ノ使用ニ供シ公共ノ制度ニ基クヲ以テ更ニ國法上ノ關係ヲ有スヘキ性質ヲ生ス故ニ此等ノ財產中特ニ認メテ公有財產トスルモノアリ(公有財產)

此ノ如ク全ク公共ノ目的ニ供スル財產ニ對シテハ其ノ實力ニ應シ及ヒ財產ノ用法ニ應シテ之ヲ保管シ務メテ清潔完備ニスルヲ要シ且ツ之ニ威權ト榮譽トヲ附與シテ之ヲ表章スルヲ要ス

(呂) 此ノ他國家ニハ收獲ヲ目的トシテ所有スル財產アリ此ノ類ノ財產ハ上ニ掲クル所ノ者ト稍其ノ性質ヲ異ニシ間接ニ國家ノ使用ニ供スルモノニシテ唯タ其ノ收入ヲ公共ノ目的ニ用フル主意ニ由リテ國家ノ使用ニ屬スルノミ即チ狹義ノ國有財產ニシテ資本及ヒ國家ノ會計ニ屬スル所ノ諸營業是ナリ此レ等ノ財產ハ之ヲ國家ノ公共財產ト認ムルヨリハ寧ロ其ノ私有財產ト認ムヘキモノナリ古昔國家ノ歲入ハ多クハ此ノ類ノ財產ヨリ生スル收入ヲ以テシタルモノニシテ國土ヲ攻畧シテ臣民ニ分與スルニ當リテハ先ツ其ノ一大部分ヲ取リテ之ヲ君長及ヒ國家ノ所有ニ屬シ以テ其ノ政費ニ供シタリ殊ニ中古ノ時ニ於テハ租稅徵集ノ事猶ホ未タ進マシテ通常ハ國家ノ私有財產ヲ以テ政費ニ充テ以テ乏シカラサルヲ得一個人ニ賦課シテ其ノ補助ヲ仰キシコトハ甚タ稀ナリシト云フ

近來各國ニ於テ執ル所ノ財政主義ニ據リテ之ヲ言ヘハ國家ヲシテ此ノ如キ財產ヲ有セシムルコトヲ可トセス英國ニ於テハ此ノ類ノ財產ヨリ生スル純益ヲ算スレハ僅ニ全歲入百分ノ

一ニ當リ、英國ハ百分ノ一半餘、佛國ハ百分ノ三、學國ハ三分ノ十二、巴華厘ハ百分ノ二十五ニ當レリ、抑、經濟上ヨリ之ヲ觀レハ、此ノ類ノ財產ヲ以テ、一個人ノ手ニ委ヌルトキハ、之ヲ國家ノ管理ニ任スルヨリモ遙ニ大ナル收穫ヲ得ンコト疑テ容レズ、然レトモ、又一面ヨリ之ヲ察スレハ、國家ニシテ廣大ナル土地ヲ所有スルトキハ、其ノ歲入ヲシテ安全鞏固ナラシムルノ利便アリテ、隨テ國家永久ノ利益ニ關係スルコト小少ナラス、是ノ故ニ、國家ハ必ス此ノ類ノ財產ヲ所有セスシテ之ヲ人民ニ賣却スルヲ利トスト云フノ說ハ未タ之ヲ定則トナスヲ得ス、況ンヤ之ヲ賣却スルノ利害ハ、其ノ國家及ヒ國民ノ狀況慣習ニ依ルモノニシテ、始ヨリ一定ノ理ナキニ於テナヤ

(波) 前條ノ財產中其利得ノ多キヲ欲スルニハ必ス一個人ノ勉強ト勞力トヲ要スルコト愈々多キモノハ愈々國家ノ管理ニ適セサルモノナリ、又其ノ性質公共ノ利益ニ關係スルコト愈々多ク其ノ管理法モ亦愈々簡易ナルモノハ愈々國家ノ所有ニ適スルモノナリ、此ノ主義ニ據レハ、國家ハ其ノ財產ヲ處スルニ次ノ原則ニ從フヲ可トス

(イ) 製造業商業工業等ノ營業ハ、國家自ラ之ヲ爲サ、ルヲ可トス、何トナレハ、國家ニシテ此ノ如キ營業ヲ管理スルハ、之ヲ一個人ノ全力ヲ擧ケテ從事スル者ニ比スレハ、常ニ多費ヲ以テ少利ヲ買フノ患アリ、是レ其ノ人ノ能ク機會ニ投シ能ク勉強シ能ク其ノ術ニ練達スルニ

非サレハ好結果ヲ收ムル能ハサルヲ以テナリ、然レトモ、此ノ中又例外トス可キモノナキニ非ス、國家ノ危險ヲ慮リ、政府自ラ諸種ノ械具ヲ製造スルコトアリ、例セハ、彈藥、軍器等ハ之ヲ一個人ノ製造ニ委ヌル能ハサルカ、如シ又美術獎勵ノ爲ニ工業ヲ營ムコトアリ、是レ其ノ目的トスル所利益ヲ得ント欲スルニ非スシテ、美術ノ發達ト完美トヲ求ムルニ在リ、例セハ、陶器製造ノ如シ、又營業物品ノ大ニ公共ノ幸福ニ關係アルカ爲ニ一個人ノ營ム所ノ同種ノ業務ヲ監督シ獎勵スル目的ヲ以テ特ニ摸範工業ヲ營ムコトアリ、或ハ又其ノ物品ヲ權賣スルトキハ、大ニ收入ヲ得ヘキヲ以テ特ニ之ヲ營ムコトアリ、例セハ、鑛鐵所ノ如シ

(ロ) 國家若シ公共ノ目的ニ必要ナラサル家屋ヲ所有スルコトアラハ、亦前項ノ理由ニ同シク、國家ニ利益ナキモノナリ

(ハ) 牧場、畑、葡萄園、菓園等ノ類ハ、其ノ性質最モ一個人ノ營業ニ適スルモノニシテ、政府自ラ之カ經濟ヲ爲スニ宜シカラス、然レトモ、若シ政界上ノ手段ニ依リ、國家ニ功勞アル名臣、勇將等ヲ賞スルニ、田園ヲ以テシ之ニ堅確ナル地位ヲ與ヘ、以テ政府ノ藩屏タルヘキ貴族ヲ設ケントスルニ當リ、屢々此ノ如キ需用アルカ爲メ、豫メ此ノ類ノ田園ヲ官有ニ屬セシムカ、如キハ、是レ其ノ例外ナリ

(ニ) 國家ノ所有トスルニ最モ適當ナル土地ハ、山林ニ若クハ、ナシ夫ノ山林ノ性質タル之ヲ

樹藝スルヨリ之ヲ伐採シテ其ノ收入ヲ得ルニ至ルマテ通常一個人ノ生活年限ヲ踰ユルモノナリ故ニ之カ所有者タル者モ亦永年ノ生活ヲ有スルコトヲ要スヘシ然ルニ今之ヲ生活ノ短期ナル變換窮リナキ一個人ニ所有セシメンカ目前ノ收益ニ眩シテ永遠ノ利害ヲ顧ミス濫伐度アラスシテ一時ニ山林ノ收獲力ヲ蕩盡シ爲ニ國民ノ生活ニ最要ナル供求ヲ缺キ不測ノ損害ヲ醸成スルニ至ラン是レ今人ノ貪欲ヲ以テ鉅大ナル缺乏ヲ後人ニ與フルモノナリ故ニ今若シ山林ノ大部分ヲ擧ケテ政府及町村ノ所有ト爲ストキハ其ノ生活ノ永遠ニ繼續スルヲ以テ此ノ如キ弊害ヲ豫防スルニ足ルヘシ且ツ山林ノ經濟法ハ常ニ確定シタル規則ニ依ルヘク監督ノ法モ亦自ラ容易ニシテ隨テ其ノ收益モ決シテ完備ナル一個人ノ經濟ニ讓ラス或ハ却テ之ニ優ルコトアルヘシ此ノ理由ナルヲ以テ官林ハ宜ク人民ニ賣却セサルヲ以テ原則トスヘシ

(ホ)方今諸邦國ニ於テ一定ノ資本金ヲ蓄積シ其ノ利子ヲ收益トナスモノハ甚々稀ナリ彼ノ瑞西ノ各州ハ其ノ經濟甚々簡單ニシテ之ヲ他國ニ比スレハ頗ル一私人ノ經濟ニ近キ性質ヲ有シ此ノ種ノ資本ヲ備ヘタレトモ方今ニ至リテハ大ニ其ノ金額ヲ減少セリ此ノ如キ資本金ヲ有スル國ハ安全ニシテ變動少キ財源ヲ有スルモノニシテ臨時ニ經費ヲ要スルコトアルモ之カ爲メ特ニ人民ノ負擔ヲ重クスルヲ要セサルノ便アリ然レトモ若シ此ノ如キ

資本金ヲ有スルモノニシテ特ニ公債ヲ募ルカ如キコトアラハ是レ甚々誤レルモノナリ何トナレハ其ノ所有資本金ヲ保存シテ消耗セザラント欲スルモ實ハ借入セル負債ニ由リテ更ニ之ヲ費失スルニ外ナラサレハナリ

(ハ)方今ノ國家中國土所有ノ權ヲ有シタル中古ノ遺制ニ依リテ猶ホ十分一ノ收益又ハ土地利息ト稱スルカ如キ土地ヨリ生スル各種ノ賦金ヲ收ムルモノアリ方今私法ノ進歩シ一個人經濟ノ發達シテヨリ此ノ如キ不動産ノ權利ヲ排斥シ漸ク此ノ習慣ヲ變革セリ

第三款

(乙) 公權收益

公權收益ナルモノハ其ノ意義公法私法ノ中間ニ在リテ兩法ヲ合シテ成レルモノナリ彼ノ公法ト私法トヲ區別セシテ之ヲ混合スルヲ可トシタル中古ノ世ニ在リテ此ノ公權收益ノ始メテ成立シ發達シタルハ固ヨリ惟ムニ足ラス又公法私法ノ區別ヲ嚴ニスルノ傾向アル現今ニ至リテ漸ク此ノ混合物ヲ分析シテ純粹ノ意義ヲ定メント欲スルモ亦惟ムニ足ラサルナリ」公權收益ノ意義中ニ含有スル公法上ノ元素ハ元ト偶然ニ出テ或ハ一時ノ原由ニ成レルモノ

ニ非スシテ法律上當ニ政府ニ歸スヘキ性質ニ由レリ即チ國家ハ公權收益ニ於ケル必要ニシテ且ツ固有ナル權主タルニ在リ故ニ若シ時アリテ一個人ノ公權收益ノ權ヲ有スルコトアルモ是レ必ス之ヲ國家ヨリ借リタルモノニシテ一朝之ヲ失ヘハ則チ再ヒ國家ニ復歸ス而シテ國家ノ主權ハ公權收益ト相密着シテ嘗テ相離レサルナリ然レトモ公權收益ノ國家ノ權利ニ歸セル事實ヲ察スレハ元ト私法上ニ出ツ即チ公權收益ヲ行フハ公共ノ理由又ハ方向ニ於テ主權ヲ施行スルニ出ルニ非ス唯タ主權ニ屬スル事物上ノ利益ト所有のノ利用トヲ爲スニ在リ故ニ此ノ權ハ往々他ノ私法上ノ權ノ如ク一個人ニ付與シテ其ノ收益ノ財源トナサシメタルモノアリ

方今法律ノ組織ニ依レハ公權收益ノ性質ハ之ヲシテ單純ナル公法ノ範圍内ニ保存シ私法ト混合セサラシメンコトヲカムヘシ例セハ彼ノ鳥獸獵ニ於ケル公權收益ノ如キハ其ノ起因スル所公法ニ根據スルニ非スシテ只タ國家ノ隨意ヲ以テ偶然ニ之ヲ掌握シタルノミ是レ等ハ宜シク公權收益ニ屬スルコトヲ止メ改メテ單純ナル警察上ノ制限ヲ加ヘ及ヒ相當ノ課稅ヲ爲スハ固ヨリ此ノ限ニ在ラス此ノ他其ノ性質ニ於テ政權ノ利用ニ屬シ之ニ由リテ國家ニ收益ヲ得ヘキモノハ漸次ニ租稅權トシテ之ヲ認メ公法上ノ原則ニ從テ定ムヘキ一般ノ租稅法ニ依ラシメンコトヲカムヘシ而シテ其ノ國家ノ公務ト密接スル所ノ關係ニ至テハ固ヨリ其

ノ狀況ニ應シテ十分ニ之カ規定ヲ設クヘキナリ然シテ方今公權收益ニ關スル法律ハ漸ク前論ノ方向ニ進歩シタリト雖猶ホ未タ此ノ如キ結果ヲ成熟スルニ至ラス故ニ現時ニ於テ公權收益ヲ論スルニハ猶ホ舊來ノ形狀ト意義トニ依リテ之ヲ言フヲ要ス
今左ニ其ノ種類ヲ掲ケン

(伊) 土地ノ所有權ヨリ生スル公權收益是ヲ眞義ノ公權收益トス此ノ類ハ公共ニ屬スヘキ性質アル物體ニ於ケル政府ノ主權ニ生スルモノト其ノ物體ヲ占取シ利用スルコトノ公共ノ經濟ト密接ノ關係アルヲ以テ政府特ニ之カ管理ヲ爲スモノト是レナリ中古以來諸國ニ於テ行フ所ハ左ノ如シ

(イ) 河川公權收益ハ公共ノ河川ニ於ケル政府ノ主權(但眞義ノ所有權ニハ非ス)ニ屬スルモノニシテ是レ固ヨリ不當ナルモノニ非ス是ノ故ニ政府ハ舟筏ヲ行リ田園ニ灌漑シ水車ヲ設置シ漁獵ヲ營ム等ノ如キ一個人ノ私用ヲ規定スルノ權アルコト寔ニ其ノ理アリ然シテ中古ニ在テハ此ノ主權ヲ變シテ私有財產ノ權トシ一個人ヲシテ其ノ專用ニ供セシメ一定ノ稅金ヲ收メタリシカ方今ハ是ノ意義ヲ廢シ只タ政府ノ主權ニ屬スルノ意義ノミヲ存セリ且ツ此ノ如キ稅金ヲ收ムルトモ國庫ニ益スル所甚タ少クシテ而シテ一個人ニ對シテハ甚タ過重ナル負擔ナリトス

(ロ) 鑛山公權收益ハ其ノ始メ羅馬法及ヒ獨逸法ニ於テモ地下ニ存在スル各種ノ金屬ハ其ノ表面ノ土地ト共ニ私法上ノ所有ニ屬スル部分トシタリシカ中古ニ至リテ其ノ說一變シ凡ソ此ノ如キ地下ノ貨財ハ土地ニ屬スルモノニ非スシテ國君ノ政權ニ附從スルモノナリトスルニ至レリ是ノ說ヤ鑛物天然ノ性質ニ基キテ之ヲ察スレハ其ノ眞義ニ適スルヲ知ルヘシ抑、鑛物ノ脈絡及所在ハ地下ニ布滿シテ地表ニ屬スル土地所有ノ區分及種類ノ如何ニ關係セス故ニ地下鑛物ノ形狀ハ地表ト全ク異ニシテ其ノ鑛坑モ亦之ニ基キテ其ノ區畫ヲ定メ地表ノ耕植方法ト交渉セス是ヲ以テ土地所有權ニ屬セサルヲ證スヘシ且ツ此ノ他貴金屬ハ貨幣ト密接ノ關係ヲ有シ他ノ金屬ハ又軍器ニ關係アルヲ以テ政府ハ之ニ對シテ管理スヘキ權利ヲ有スルコト一國人民ノ比ニ非ス況ンヤ鑛山ハ公共ノ利益ニ於テ特ニ政府ノ監督ヲ緊要トナスヘキ理由アルニ於テチヤ然レトモ今若シ鑛山ノ業ヲ舉ケテ盡ク之ヲ政府ノ特權トナストキハ舊來慣行ノ私權ヲ變更スルヲ免レス此ノ如キ變更ハ中古ノ時ニ於テスラ已ニ不當ナル政府ノ專制トシテ之ヲ疾惡シタルモノナリ

鑛物採取ノ權ヲ以テ土地所有權ヨリ分離スルコトハ現今ニ及フマテ尙ホ此ノ主義ヲ取レリ此ノ如キ中古時代ニ於ケル公權收益權ノ主義トシタル私權上ノ元素ヲ以テ猶ホ今日ニ繼續スル所以ハ蓋シ此ノ主義ノ鑛山ノ性質ニ適スルヲ以テナリ且ツ鑛山採取ノ業ヲシテ其ノ秩序ヲ失ハス安全ニ之ヲ營マシムルカ爲メ政府ニ於テ精密ノ監督ヲナスカ如キハ將來ト雖亦此ノ主義ヲ易ヘサルヘシ之ニ反シテ政府獨リ鑛山採取ノ權ヲ專有スルニ至リテハ現今已ニ之ヲ廢止シテ全ク自由ノ營業ニ委テ何人ト雖鑛山警察上ノ規定ヲ守ルトキハ自由ニ鑛物ヲ採掘スルヲ得セシメタリ唯タ借區人ヲシテ十分一鑛物稅四季鑛物稅鑛山小作金ノ如キ名稱ヲ以テ賦金ヲ政府ニ納メシムルハ猶ホ未タ私有財產ノ性質ヲ脫セサル徵跡ナリ然レトモ今ヤ租稅及手數料ノ主義明晰ナルニ當リ漸ク私產ニ屬スル公權收益ヲ排斥シテ國家及ヒ人民ノ經濟ヲ完美ナラシメンコトヲ計ルノ日ニ近ケリ今縱ヒ國家ニシテ此ノ如キ鑛山收益ヲ廢止スルトモ自ラ鑛山ヲ採掘シ又ハ一個人ニ之ヲ貸與シテ其ノ利益ヲ收ムルハ更ニ不可ナル所ナキナリ

(ハ) 採鹽公權收益モ亦鑛山收益ト其ノ類ヲ等シクスレトモ其ノ收入ノ範圍稍大ナリトス此ノ收益ハ已ニ古羅馬ノ時ニ起原スルモノニシテ食鹽ヲ採取シ及ヒ販賣スルノ權ヲ舉ケテ國家獨リ之ヲ占有セリ故ニ公權ニ依テ利益ヲ採取スルノ權ト之ヲ專賣スルノ權トハ兩ナカラ國家ノ所有タリ夫レ食鹽ハ人畜及ヒ諸般ノ工業上ニ必要缺ク可ラサルモノナルカ故ニ之ヲ政府ニ專有スルトキハ其ノ金庫ニ收ムヘキ收益頗ル大ナルヲ以テ殊ニ財政官吏チシテ之カ便益ヲ感セシメタルト且ツ法律家ノ鑛山ト同一ナル性質ナリト認メタルトハ

大ニ官採權賣ノ勢ヲ助長セリ但タ獨逸ニ於テ古來全ク反對ノ主義ヲ執リ鹽泉及鹽坑ハ其ノ土地ニ屬スヘキモノナルコトヲ認メタリ思フニ今世ニ當リテ公權收益ノ爲メ此ノ如キ方法ヲ行フハ其ノ遠カラスシテ廢止スヘキヲ信ス佛國並ニ獨國ノ如キハ已ニ既ニ之ヲ改メテ鹽稅ノ法ヲ行フニ至レリ然レトモ此ノ公權收益ハ其ノ收入ノ方法煩細ナラス且ツ殆ント人ヲシテ其ノ負擔ヲ感セサラシメ而シテ政府ニ得ル所ノ利益實ニ莫大ナルニ由リ又稅法上最モ注意ヲ要スル所ノ收入上ノ慣行已ニ久ク人民ニ浸染スルヲ以テ今尙ホ諸國ニ於テ之ヲ續用シ以テ政府歲入ノ要重ナル泉源トセリ

(三) 捕獵公權收益ハ中古ノ世ニ於テ國家ハ土地ノ所有者タリトノ原則ニ基キ鳥獸獵ノ公權ヲ保護シ其ノ警察ヲ實行スルカ爲ニ起因セルモノナリ元來中古ノ主義ハ土地所有權ヲ施行スルニ於テ之ト分離スヘカラサル獵權ヲ併セテ之ヲ政府ニ收ムルヲ以テ原則トナスニ出ツルモノニシテ廣大ナル獵區ヲ分畫シテ獵權ヲ定メ以テ公共ノ利便ニ適センコトヲ計リタルモ亦此ノ主義ニ基ケルモノナリ然レトモ政府獨リ捕獵權ヲ占有シテ之ヲ施行シ且ツ任意ニ之ヲ他人ニ貸與スルカ如キ中古ノ捕獵公權ハ當今諸國ニ於テハ概テ之ヲ廢止セリ

(四) 政府專行ノ營業及ヒ商業ハ公權上一個人ノ同業ヲ爲スヲ禁スル所ノモノニシテ前條ノ土地所有權ヨリ生スル公權收益ト其ノ類ヲ等シクス而シテ之ヲ細分スレハ二種ノ別アリ其ノ一ハ國家ノ收入ヲ計ルカ爲ニ一個人ノ同業ヲ營ムコトヲ禁シ政府獨リ之カ得益ヲ專ニセント欲スルニ出ツ此ノ如キ業務ハ營業ノ狀ヲ裝フト雖其ノ實ハ一種ノ租稅ニ外ナラス其ノ二ハ營業ノ性質及事情ニ於テ公共ノ利益ヲ謀ル爲ニ政府ノ之ヲ行フコトヲ要スル所ノモノトス而シテ是レヨリ生スル所ノ利益ハ元來其ノ目的トスル所ニ非サルモ姑ク之ニ隨伴スル利益トシテ國庫ニ歸スルモノニシテ其ノ性質實ハ公權收益ニ屬セサルモノナリ

第一種政府專行ノ營業ニシテ其ノ實租稅ニ同シキ者ハ左ノ如シ

(イ) 採鹽公權收益 已ニ上(ハ)ノ條下ニ於テ之ヲ論セリ

(ロ) 烟草公權收益 烟草公權收益ハ第十八世紀ノ末ニ於テ始テ墺國並ニ佛國ニ施行セリ烟草ハ最モ廣ク世ニ行ハレ且ツ近世ニ及ンテ益々社會ノ華品トシテ需用スルモノ多キヲ以テ隨テ頗ル國庫ノ收入ヲ増スニ至レリ此ノ公權收入ノ法ハ固ヨリ之ニ隨伴スルノ弊害少カラスト雖之ヲ租稅ニ改ムルコト甚タ容易ナラス且ツ其ノ收入ヲ減スルノ恐アルヲ以テ今日ニ至ルマテ猶ホ之ヲ廢セス但タ北米合衆國ニ於テハ前ニ高價ノ稅率ヲ以テ烟草稅ヲ施行シ近クハ獨國ニ於テ(千八百六十八年)甚タ低額ナル烟草稅ヲ行ヘリ

(ハ) 富鐵公權收益 此ノ收入ハ道德上最モ弊害アルモノナリ何トナレハ唯ニ人民ノ輕薄

心ト賭博心トヲ增長スルノミナラス彼ノ富民社會ノ如キ其ノ收入ノ一部ヲ此ノ如キ遊戯ニ投スルモ敢テ資産ヲ損セサルモノニ對シテハ更ニ影響スル所ナキモ貧民社會ノ僥倖心ヲ逞クシテ其ノ破産ヲ屢スルモノヲシテ輸贏ヲ博セシムルニ過キサレハナリ故ニ國家道徳ノ秩序ヲ保持スルカ爲ニハ此ノ惡弊アル收入ヲ廢止セサル可ラス彼ノ羅馬法王ノ所領ニ在テ久ク此ノ富籤法ヲ繼行スルカ如キハ甚タ恠ムヘキ所ナリ

(ニ) 骨牌公權收益 骨牌公權收益ハ彼ノ賭博心ヲ挑發スル富籤收入ニ比スレハ其ノ收額遙ニ寡ナクシテ却テ人民ノ賭博心ヲ制限スル傾向アリ故ニ之カ施行ヲ非難スルモノハ道徳ノ點ニ在ラスシテ經濟ノ點ニ在リ

(波) 公權收益ノ内特ニ公共ノ營造物ヲ使用スルニ方リテ收入スルモノアリ元來國家行政ノ職務ニ屬セスト雖一般人民ノ幸福ヲ保ツカ爲ニ政府ニ於テ之ヲ設營スルヲ切要トナス所ノモノ是レナリ

今左ニ其ノ種類ヲ擧ケン

(イ) 造幣收益 政府ハ物價ノ標準及ヒ貿易ノ媒介トシテ一般ニ流通スヘキ貨幣ヲ製造スヘキ權利及ヒ義務ヲ有ス而シテ中古ノ世ニ當テハ造幣ノ收入常ニ國庫歲入ノ一要部ヲ爲シタリ近世ニ及ヒテハ硬貨中大ナル種類ノ價格ハ之ニ使用セル貴金屬ノ元價ト甚シキ差

異アラス且ツ之ヲシテ差異アラシムヘカラサルノ主義ヲ取ルニ至レリ故ニ今日ニ在テハ之ニ由リテ利益ヲ收メシコト甚タ難シ唯タ細小貨幣ノ鑄造ハ其ノ主要ノ目的ヲ害セスシテ僅ニ小利ヲ收ムルヲ得ルノミ

(ロ) 郵便收益 郵便ノ目的ハ主トシテ一定ノ方法ニ依リ信書ノ往復旅客ノ通行貨物小包ノ運搬等ヲ媒介シ又ハ獎勵スルニ在リ政府自己ノ便宜ニ於テモ一ノ方法ヲ設ケテ中央政府ト國內ノ各部及ヒ外國トノ間ニ往復交通ノ便ヲ開カンハ其ノ大ニ希望スル所ナリ上古波斯及ヒ羅馬ニ於テハ公共ノ利益ヲ保護スルカ爲メ夙ニ官設郵便ノ制ヲ興セリ中古ノ末ニ及ヒテハ專ラ商工貿易ノ利益ノ爲ニ此ノ業ヲ設ケ始メハ之ヲ會社ニ委テ全ク一私人ノ營業ニ屬セシメス其ノ後千四百六十四年ニ及ヒ佛王路易第十一世始テ今日ノ如キ官設郵便ノ制ヲ定メシヨリ時ヲ經テ漸ク他ノ開明諸國ニ及ホシ皆爭ヒテ之ニ模倣セリ今日ニ至リテハ此ノ便利ニシテ且ツ鴻利ヲ政府ニ與フル事業ハ漸ク高度ノ進歩ニ達シタレトモ猶ホ更ニ改良ヲ加フヘキモノナキニ非ス

信書並ニ小包物品ヲ送達スルニ處理精細ニシテ安全ト迅速トヲ期スルハ公共ノ利益ニ於テ最モ望ム所ナリ而シテ此ノ如キ注意ヲ爲スハ之ヲ一私人ノ營業者ニ望ムヨリハ政府自己ノ官廳ヲシテ之ヲ爲サシムルノ優レルニ若カス何トナレハ一私人ハ其ノ注視スル所常

ニ公共ノ利益ニ在ラスシテ但タ自己ノ營利ニ在ルヘシ故ニ此ノ如キ廣大ナル注意ヲ要ス
 一キ物品ニ對シテ十分ナル信用ヲ置クニ足ラス然ルニ國家ハ一般ノ需求ヲ洞察シテ之カ
 供給ヲ謀リ及ヒ其ノ需求ニ對シテ容易ニ之ヲ監督スルノ方法ヲ有スルコト妙カラス且ツ
 是等ノ事務ヲ執ルニ於テ國家ノ榮譽ヲ保タンカ爲メ相當ナル方法ニ依ランコトヲ勉ムヘ
 シ故ニ國家ハ縱令ヒ交通稀少ナル村落ニ於テモ亦通運ノ路ヲ開クヲ忘ラサルヘシ今若シ
 此ノ如キ小部落ニ郵便線路ヲ通スルトキハ其ノ利益極メテ少ク或ハ出費ヲ償ハサルコト
 アリト雖之カ爲ニ交通ノ便利ヲ願サルノ虞ナガルヘキナリ又人民ニ於テ國家ノ此ノ設營
 ニ依リテ公共ニ便益ヲ與フルノミナラス亦大ナル利益ヲ國庫ニ收入シテ爲ニ其ノ己ノ負
 擔スヘキ税額ヲ減少スルニ至ルヲ以テ亦之ヲ喜フヘシ抑、財産損益ノ點ハ郵便事務ニ於
 テ固ヨリ第二ニ屬スレトモ亦決シテ必要ナラスト言フヲ得ヌ要スルニ郵便事業ハ其ノ設
 營果シテ宜キヲ得ハ人民並ニ政府ニ鴻利ヲ與ヘ兩者ノ實力ヲ増進スルノ効力アルコト大
 ナラントス

然レトモ信書郵便ニ關シテハ大ニ他ノ郵便ト異ナル所アリ政府ハ其ノ公權ニ據リテ一定
 ノ郵便線路以內ニ在テハ特ニ認可ヲ與フルモノ、外ハ何人ト雖信書送達ノ營業ヲ爲スコ
 トヲ禁止スルヲ得然レトモ此ノ禁止ニシテ若シ濫ニ其ノ範圍ヲ擴張シ一私人往來ノ便ヲ

以テ信書又ハ小包物品ヲ送達スル者ヲモ禁スルニ至ラハ是レ甚タ誤ルモノト言ハサル可
 ラス苟モ政府ノ設營スル郵便ニシテ能ク其ノ目的ニ適シ價額ヲシテ低廉ナラシメハ人ノ
 之ニ依頼セザランコトヲ恐ル、ヲ要セサルナリ

又物品貨幣及ヒ各所ノ間ニ於ケル貨幣ノ受授ヲ媒介スル小包郵便ノ制ハ之ヲ政府ノ一手
 ニ占有センコト信書郵便ノ如ク緊要ナラスト雖其ノ收益頗ル大ナルヲ以テ之ヲ一個人ノ
 營業ニ任セスシテ政府ヲシテ之カ設營ヲ專ニセシムルニ如カス

行旅郵便ハ上ノ種類ニ比スレハ其ノ異ナル所ノ性質少カラス行旅郵便ハ唯タ通常多衆ノ
 旅客ノ通行スル主要ノ道路ニ於テノミ設營スルモノニシテ何レノ地方ヲ問ハス皆盡ク之
 ヲ設クルヲ得ルモノニ非ス故ニ其ノ性質タル一個人ノ營業ニ近シ然レトモ現今ノ諸國ニ
 於テ公共ノ需求ニ應センカ爲ニ政府之カ特權ヲ握リ一個人ノ定期往復ヲ營ムコトヲ許サ
 ス或ハ之ヲ許スモ一定ノ關係ニ於テハ全ク郵便事務ノ管轄ニ屬シ且ツ之カ爲ニ免許料ヲ
 出サシムルモノアリ或ハ又其ノ全部又ハ一部ニ於テ一個人ノ營業ヲ許シ政府ハ全ク一個
 ノ營業者タル資格ヲ以テ之ト共ニ競争スルモノアリ概シテ之ヲ論スレハ政府ニ於テ行旅
 郵便ノコトヲ執ルハ之ヲ一私人ニ委スルヨリ優ルコト疑ナシト雖其ノ得失ノ如キハ其ノ
 國若クハ市邑ノ形勢慣習等ニ由リテ大ニ差違アルモノナリ但タ臨時行旅郵便ハ尋常ノ行

旅郵傳ニ比スレハ較、公權收益ノ性質ニ近シ元來郵便事務ノ組織及ヒ管理ニ屬シテハ一定ノ原則ノ以テ之ヲ制限スルモノアリ曰ク郵便事務ハ人民ヲ統御スルカ爲ニ設クルニ非ス又人民ヨリ租稅ヲ徵收スルカ爲ニ非ス專ラ人民ノ交通ニ供スルカ爲ナリト

(ハ)官設電信ノ設置ハ今日既ニ郵便事務ト畧ホ其ノ制ヲ同クスルニ至レリ將來沿革ヲ經ル毎ニ益、同一ノ組織ヲ爲スコト知ルヘシ近世電信ノ發明アリシヨリ瞬間ニ切要ナル報告ヲ遠地ニ送致スルヲ得タリ今後多年ヲ待タスシテ開明地方ハ盡ク電線ヲ以テ之ニ羅布スルニ至ラントス其ノ始メ電線ヲ架設セシハ專ラ政府ノ使用ニ供スルニ在リシモ後チ漸ク一般ノ私用ヲ許セリ現今公共ノ利益上ヨリシテ之ヲ觀ルトキハ全ク之ヲ政府獨占ノ營業トシ公權收益ノ權ヲ此ノ範圍内ニ及ホスコト猶ホ郵便事業ノ如クナラントキ欲ス而シテ電信局ノ郵便局ト徑庭アル所以ハ郵便局ハ一人ヨリ封書ヲ受取リテ直ニ之ヲ輸送スルヲ以テ其ノ書中ニ何事ヲ記載シタルヤヲ知ルコトナシト雖電信ハ則然ラス電信局ニ於テ自ラ通信ノ文字ヲ寫シ之ヲ報告スルヲ以テ其ノ事項ハ主任官吏ノ知ル所ト爲ルヲ免レス是ニ由リテ電信ニ關スル信書秘密ノ意義ハ較、郵便ト同シカラス只タ政府ハ此一個人ノ報告ヲ以テ之ト關係ナキ第三者ニ示サス又他ノ官廳ニモ之ヲ漏洩セサルヲ以テ秘密ノ意義ト爲スノミ然レトモ戰爭又ハ犯罪者ヲ急捕スルノ際ニ於テ政府ノ利害上此ノ秘

密ヲ知ルヲ要スル理由アルトキハ政府ハ固ヨリ之ヲ視之ヲ知ルコトヲ得ヘシ夫レ政府已ニ電信ノ使用ヲ以テ己ノ冠敵又ハ叛人ニ許シ其ノ己ノ目的ニ反對スル所業ヲ爲スヲモ願ミサルトキハ則チ又此ノ如キ特權ヲ有セサル可ラサルコト勿論ナリ

(ニ)鐵道公權收益モ亦猶ホ電信公權收益ノコトク近代技術ノ進歩ニ因テ新ニ生シタル一ノ公權收益ナリ此ノ收益ノ大ナルモノハ唯タ官設鐵道ヲ行フノ國ニ在リ而シテ此ノ收益ハ專ラ鐵道ヲ維持シ建設資本ノ利子ヲ消却スルヲ目的トスルモノニシテ是ヨリ生スル利益ノ如キハ政府ノ歲入ヲ増加スルアルモ敢テ其ノ主眼トスル所ニ非サルナリ鐵道ノ設營ハ其ノ規模ノ宏大ヲ要スルト其ノ公共ノ交通經濟ニ切要ナルト國土ノ防禦其ノ他軍事郵務及ヒ政府ノ理財上ニ近接ノ關係ヲ有スルトヲ以テ政府自ラ之ヲ建設シ其ノ營業ヲ親ラスルカ又ハ一定ノ約束ヲ設ケ私立會社ヲシテ之ニ從事セシムルカ此ノ兩者ノ法ニ依ルヲ可トス要スルニ鐵道ノ如キ公共ノ幸福ニ至大ノ關係ヲ有スルモノハ以テ一人ノ營利心ニ放任スヘカラサルナリ佛國法律ノ主義ニ於テ鐵道ハ其ノ公共ノ交通ニ供スル間ハ常ニ公權ニ屬スルモノニシテ一人ハ但タ之ヲ利用スルニ止ルモノナリト爲スカ如キハ最モ鐵道ノ主義ニ合フモノト謂フヘシ

若シ夫レ公共ノ交通ニ供スル私立鐵道ヲ布設スルニ臨ミテ必ス政府ノ特許ヲ得セシムル

カ如キハ是レ警察ノ監督上ヨリシテ十分ニ其ノ理由ヲ有スルモノナリ且ツ此ノ如キ私立鐵道ト雖政府之ヲ要スルトキハ其ノ使消シタル費用ヲ全償シテ之ヲ買上クルコトヲ得ヘキハ理ニ於テ固ヨリ當ニ然ルヘキ所ナリ但タ此ノ際政府ハ公用上他ノ私權ヲ捨棄セシムル原則ニ據ルヨリハ稍寛大ナル買上法ヲ用ユルヲ以テ當レリトス若シ政府ニ於テ豫メ私立鐵道布設者ト特約スル所アルカ又ハ保證スル所アルトキハ此ノ買上權ヲ制限シ又ハ適宜ニ之ヲ斟酌スルコトアルヘシ

(ホ) 道路公權收益ハ近來論者ノ之カ保存ヲ非難スル所ナリ其ノ說ニ云ハク道路ノ築造ハ政府ノ免カルヘカラサル義務ニ屬スルヲ以テ道路錢又ハ橋錢ヲ收ムルハ是レ純然タル官ノ廳場ヲ使用スルカ爲ニ收ムル所ノ手数料ニ屬スヘキモ公權收益ニ屬スヘキモノニ非スト然レトモ道路ハ公共ノ利用ニ供スヘキモノタルト其ノ築造ハ專ラ政府ノ職掌ニ屬スルモノタルトニ關セス其ノ性質タル必シモ國家ノ機關ニ屬スヘキモノニ非ス其ノ築造ハ必シモ國家ノ職務トナスヘキモノニモ非ス道路築造ノ目的ハ公共ノ交通ヲ便ニスルニ在リテ之ヲ一個人ノ設營ニ任スモ亦其ノ目的ヲ達シ得ヘキ性質ヲ有スルモノナリ是ノ故ニ道路公權收益ハ前項ニ掲ケタル郵便公權收益ト全ク同一ナル理由ニ依テ之ヲ解釋スルヲ得ヘシ但シ道路公權收益ハ其ノ道路又ハ橋梁ノ使用ニ際シテ之カ費金ヲ收ムル時ニ在テ始

メテ理財收入ノ性質ヲ帶フルモノナリ

第四款

(丙) 手数料及ヒ雜收入徵收權

(伊) 一個人ノ特ニ官務ヲ煩スニ當リ其ノ施行ニ際シテ手数料其ノ他雜收入ヲ徵收スルノ權ハ真正ノ租稅權ト宛モ反對ノ性質ヲ有シ而シテ又租稅ノ補充ヲ爲スモノナリ租稅ハ公共一般ノ目的ニ就キテ之ヲ收メ手数料ハ一個人ノ特ニ官ノ補助ヲ要スル際ニ在テノミ之ヲ收ム故ニ手数料ハ政府ニ對スル報酬ニシテ其ノ官務施行ノ爲ニ要スル費用ヲ減シ若クハ之ヲ補充カ爲ナリ手数料徵收ノ理ニ於テ至當ナル所以ハ此ノ點ニ由リテ之ヲ斷言スルコトヲ得ヘシ蓋シ政府ノ官務ヲ施行スル所以ハ元ト其ノ制度ニ依據スルモノニシテ手数料ヲ徵收スルカ爲ニ之ヲ施行スルニ非サルハ固ヨリ論ヲ俟タサルカ故ニ政府ノ手数料ヲ徵收スルハ固ヨリ必要ノ事ニ非ス假ニ國ノ富力ヲシテ十分ナラシムルトキハ固ヨリ必シモ手数料ヲ設クヘキノ用ナキカ如シ然リト雖今若シ此ノ事務ヲ施行スルカ爲ニ要スル所ノ經費ヲ以テ之カ爲メ特ニ利益ヲ設ル一私人ニ之ヲ賠償セシムルモ更ニ支吾スル所ヲ見スシテ且ツ各般ノ場合

際シ手数料ヲ徴收スルカ爲ニ人民一般ノ租稅義務ヲ輕減シ得ルトキハ經濟上ノ利益甚ク少カラサルヘシ官務中一私人ノ便利及ヒ關係ヲ有スルコト愈深キトキハ隨テ手数料ヲ徴收スルコトノ適切ナル道理ヲ増ス裁判手数料ノ事以テ證スヘシ若シ之ニ反シテ官務ノ公共ノ爲ニ施行セラル、トキハ愈々手数料ヲ徴收スヘカラサル理由ヲ生ス而シテ之カ爲ニ其ノ費用ヲ徴收スルトキハ則チ租稅徵收ノ方法ヲ以テスヘシ世人或ハ手数料ヲ論シテ以爲ヘラク人民ノ租稅能力ニ由ラスシテ唯々官務ノ種類及ヒ範圍ニ由リテ之ヲ徵收スルハ非ナリト然レトモ是レ手数料ニ對スル至當ノ駁議トナス能ハス何トナレハ手数料ナルモノハ元ト租稅ニ非スシテ單ニ報酬ノ性質ナレハナリ

(呂) 證印手数料ハ第十七世紀以後凡テ歐洲諸國ニ於テ用ヒラレタル所ノ制ナリ其ノ一個人ヨリ官廳ニ出シ又ハ官廳ヨリ一個人ノ利益ノ爲ニ付與スル所ノ書類ニ對シテ徵收スルモノハ今日猶ホ手数料トシテ之ヲ認ムルヲ得ルト雖爲替券、受領證、裁判所ニ於テセサル契約等ノ如キ一個人ノ交際ニ係ル書類ニシテ印紙貼用ノ義務アルモノニ至テハ已ニ租稅ノ性質ニ近キモノトス何トナレハ此ノ類ノ私證ハ之ヲ以テ裁判ノ證據ニ供シ隨テ政府ノ保護ヲ享クルカ如キハ是レ間接ノ關係ニ屬シ且ツ甚ク稀ニ生スヘキ事項ナルヲ以テナリ又新聞紙及ヒ曆ノ印紙ハ政府ニ於テ其ノ報酬ヲ要求スヘキ手数料爲スコトナキヲ以テ單ニ租稅ノ性質ヲ

有ス故ニ其ノ徵收ノ理由ヲ辨明セントスルニハ唯々租稅ノ主義ヲ以テシ得ヘキモノトス但シ此ノ理由ト雖其ノ實ニ租稅ノ原則ニ合スルヤ否ヤハ未タ容易ニ斷定スルヲ得サルナリ

(波) 一定ノ官職稱號位階(爵勳等)ヲ與フルニ當リ徵收スル所ノ料金ハ官職等ヲ得ル者ニ於テ爲ニ利益ヲ享クヘキヲ以テ其ノ料金ヲ納ムルコトヲ厭忌セス故ニ他ノ手数料ヨリ優レルカ如シ但タ政府ハ官職等ヲ與フルニ其ノ收入ヲ目的トシテ之ヲ賣物ト爲サ、ルヲ要ス若シ之ヲ誤ルトキハ此ノ貴重ナル官位ノ性質ト價直トヲ擧ケテ廢滅セシムヘシ夫ノ前世紀ニ於テ君主其ノ金庫ヲ富サンカ爲ニ爵位ヲ賣リタルノ弊ハ實ニ歐洲大陸ノ國政ヲ壞敗スルノ一大原因ヲ成シタリ

(仁) 手数料ノ中最モ切要ナルハ裁判手数料ニシテ其ノ種類一ナラス第一ハ民事並ニ刑事ノ訴訟ニ於テ徵收スル訴訟手数料トス此ノ手数料ハ非理者ヨリ之ヲ徵收スルヲ法トシ民事ニ於テハ被告ヨリシ刑事ニ於テハ犯罪者ヨリス是レ其ノ目的トスル所ハ訴訟ノ爲メ政府ニ被ラシメタル損害ノ賠償ヲ負擔セシメ且ツ以テ健訟ノ弊ヲ防カント欲スルニ在リ故ニ裁判手数料ハ政府ニ於テ報酬ヲ要求スル所ノ正當ナル理由ニ出ルモノトス但シ妄ニ其ノ額ヲ高クシ資産ナキ人民ヲシテ之カ負擔ニ堪ヘサラシムルコトナク其ノ非理ヲ受クルニ當リ輒ク裁判所ノ保護ヲ仰クヲ得セシムヘシ又貧困者ノ爲ニハ別ニ特例ヲ設ケ法律ノ保護ハ貧富貴賤

トナク皆同一ナルノ原則ヲ失ハサラシメノコトヲ要ス

(保) 裁判所ニ於ケル確認手数料及ヒ後見局ノ管理ニ係ル各種ノ手数料例セハ土地ヲ賣却シ又ハ質入スルニ當リ之ヲ地籍ニ登記シ爲替ヲ確認シ其ノ他諸般ノ承認ヲ求メ遺書ヲ製シ後見計算ヲ檢査シ認許スル等ノ手数料ハ上ニ掲ケタル裁判手数料ト畧ホ相類似スルモノナリ但シ此ノ類ノ公務ヲ他ノ廳局例セハ公證人又ハ行政諸廳等ニ委任シタル場合ニ在テハ裁判所ニ於テ手数料ヲ徵收セス元來此ノ類ノ事務ハ専ラ一個人ノ自己ノ利益ヲ求メント欲スルニ當リテ官廳ヲ煩スモノナルヲ以テ多額ニ非サル報酬ヲ要求スルモ亦不當トナス可ラス

(邊) 佛國ノ創始ニ係ル讓渡手数料賣却手数料(登記手数料)ハ所有物ノ讓渡ニ際シ又ハ土地ノ貸與金錢ノ負債及ヒ爲替等ヨリ收入スル所ノ手数料ニシテ是レ實ハ手数料ノ性質ニ非ス何トナレハ此ノ類ノ手数料ハ政府ノ公務ニ對スル報酬ニ非スシテ實ハ財產交通上ニ賦課シタルモノニシテ資本價額ノ割合即チ資本ヨリ之ヲ收ムルモノナレハナリ故ニ其ノ性質タル純粹ノ租税ニ屬スヘキモノニシテ手数料トシテ之ヲ徵收スルハ獨リ道理ニ協ハサルノミナラス經濟上ノ原則ニモ背反スルモノナリ何トナレハ地稅ノ如ク一切ノ土地ニ對シテ平均ニ之ヲ賦課スルニ非スシテ臨時ニ生スル讓渡ニ際シテ之ヲ賦課スルカ故ニ一ノ土地所有主ヨリハ之ヲ收メ他ノ所有主ヨリハ曾テ之ヲ收メサルヲ以テ交通ノ自由ヲ妨ケ且ツ土地ノ價額

ヲ損害スルモノト謂フヘシ

又遺產相續手数料モ亦稍^レ之ニ類似シ唯タ手数料ノ形式ヲ存スルモノナリ元來遺產相續ハ政府ノ公務ニ由リテ完成スルモノニ非スシテ専ラ私法ノ結果ニ出ツルカ故ニ此ノ如キ手数料ハ之ヲ遺產相續稅ト稱スヘキ者トス但シ相續稅トシテ之ヲ見ルトキハ彼ノ生存中ノ讓渡ニ賦課スル讓渡手数料ニ比スレハ猶ホ其ノ理アルモノト謂フヘシ

(登) 往古刑法ノ私法ト同視セラレタル時代ヨリ犯罪者ニ科シタル罰金ハ近世刑法ノ公共制度トシテ確認セラレタルニ及ヒ公金トシテ之ヲ政府ニ收入スルコト、爲レリ抑、罰金ヲ科スルノ理ハ純然タル刑法ノ原則ニ基クヘクシテ之ヲ政府ノ私財權ニ歸スヘカラサルハ固ヨリ論ヲ俟タス故ニ政府ニ於テハ此ノ類ノ收金ヲ臨時收入ニ屬スヘク且ツ此ノ如キ收入ヲ得ルコトノ務メテ稀少ナランコトヲ欲スヘキハ勿論ナリトス但シ罰金ヲ科スヘキ犯罪ニシテ既ニ生スルニ及ヒ政府之ヲ收メテ以テ刑法執行上ニ要スル費用ノ一部ヲ補フハ固ヨリ不當トナサス

往古獨逸ニ行ヒタル法律ハ殆ト各種ノ犯罪ヲ罰スルニ罰金ノ制ヲ用フルコトヲ常トシタリシカ近世ニ至ルニ及テ全ク之ニ反シ專ラ罰金ノ制ヲ制限セント欲スルノ方向ヲ取レリ然レトモ若シ其ノ犯罪ニシテ不當ナル利益ヲ網シ又ハ己ノ欲望ヲ恣ニセント欲スルニ出ルトキ

ハ罰金ヲ以テ之ヲ罰スルハ道德上最モ適當ナル罰ト謂フヘシ何トナレハ是レ其ノ犯シタル罪ト恰モ同様ナル性質ノ罰ヲ以テ之ニ加フレハナリ又罰金ハ輕キ犯罪ニ科スルニ頗ル適當ナル所アリ何トナレハ人ノ當ニ貴重スヘキ自由及榮譽權ヲ剝クヲ要セスシテ頗ル痛苦スルニ足ルノ罰ヲ與フレハナリ

(知) 免許手数料例セハ法律ニ停止シタル結婚ヲ免許スルニ當リ徵收スル手数料ノ如キハ全ク裁判所ノ確認手数料ト其ノ性質ヲ同シクシ且ツ之ヲ以テ免許人ヲ檢束セント欲スル目的ニ出ツ

(里) 私法ノ保護ト經濟上ノ養成トヲ兼テ賦課スル所ノ手数料數種アリ即チ代言人藥商仲買人又ハ商業及ヒ一定ノ工業等ノ免許ヲ與フルニ際シ徵收スル所ノモノ或ハ又專賣特許ヲ與フルニ臨ミ徵收スル所ノ手数料是レナリ殊ニ專賣特許料ノ如キハ現今器械及技術ノ發明日ニ盛ナルヲ以テ頗ル巨益ヲ得ル財源トナレリ

(奴) 此ノ他又警察手数料及ヒ警察罰金アリ警察手数料ハ政治上ニ關セス單ニ一個人ノ利益ニ就キ警察上ノ公務ヲ要求スルニ當リ收ムル所ノ手数料ニシテ例ヘハ旅行券又ハ警察承認狀等ヲ與フル場合ノ如シ又警察罰金ハ刑法ノ罰金ニ等シク專ラ警察權ノ實行ニ用ヒ簡便ニシテ往々實効アル方法ナリ

然レトモ若シ警察上ノ公務ニシテ公共ノ安寧ヲ保持スルカ爲ニ要スルモノナルトキハ縱令ヒ其ノ一個人ノ請求ニ出ルト雖之カ手数料ヲ徵收スヘキニ非ス全國民ニ於テ之カ費用ヲ負擔スルヲ以テ至當トナス但タ其ノ公務タルハ一個人ノ罪過ニ原因シ之カ爲ニ特ニ費用ヲ要スル場合ニ於テ方ニ手数料ヲ徵收スヘキノミ

第五款

(丁) 租稅權

(第一) 政府ノ租稅權ヲ以テ單ニ人民ノ公共設備ヲ利用スルカ爲ニ徵收スル賠償ナリトノ説ヲ爲ス者アリ是レ甚タ不完全ナル解釋ト謂ハサルヲ得ス斯ノ如キ解釋ハ中古時代ニ行ハレタル私法上ノ見解ニシテ復タ當今ノ國法ニ適セサルナリ夫レ租稅權ハ國家ヨリ出ツル所ニシテ國家其ノ主權ニ據リテ租稅ヲ國民ニ賦課シ國民ハ一個人タル臣民トシテ國家全體ノ下ニ服従スル義務ニ由リテ之ヲ政府ニ輸納ス國家ノ生存ハ臣民ノ外形上即チ財產上ノ右ニ位スルヲ以テ其ノ公共ノ職分ヲ行フカ爲ニ必要ナル費用ハ之ヲ臣民ノ財產ニ徵收スルノ權利ヲ有スルハ猶ホ其ノ安寧ヲ維持スルカ爲ニ臣民ノ身力ヲ使用スルヲ得ルカコトシ抑一

人ノ財産ハ固ヨリ其ノ人ノ所有ニ屬シテ縱令ヒ間接ニ於テモ亦國家ニ屬スルモノニ非ス國家ノ常ニ之ヲ保護スルハ猶ホ他ノ私權ニ於ケルト同一ニシテ擅ニ之ヲ損害シ之ヲ消費スヘキ權利ヲ有セス然レトモ私權ハ公權ノ統率ニ服従スヘク國家全體ニ於テ緊要ナル需用ハ一個人之ヲ補充セサルヘカラス何トナレハ其ノ全體ノ下ニ服従スル關係ノ範圍内ニ在テハ免ルヘカラサル義務ヲ有スレハナリ故ニ中古ノ租稅ヲ以テ義務者ノ任意ニ歸シタルカ如キ私法上ノ意義ハ當今完備ナル國法ノ敢テ容レサル所ナリ而シテ此ノ私法上ノ見解ハ公法上ノ租稅義務ニ基ケル原則ニ由リテ已ニ擯斥セラル、ヲ致セリ

(第二) 此ノ如ク租稅徵收權ノ意義ヲ立ルトキハ隨テ租稅義務ヲ全國民ニ普及スヘキノ原則ヲ生ス何トナレハ國家ノ統率權ハ全國民ノ上ニ布クヘクシテ唯々其ノ一部ノ社會ノミニ加フヘカラサルノ理ナレハナリ彼ノ中古時代ニ於テ武士族ノ特ニ免稅權ヲ有シタルカ如キハ是レ當時ノ租稅ハ専ラ軍費ニ供シテ武士族ハ概テ其ノ身ヲ軍役ニ致シ即チ一ハ財産ヲ以テ國家ヲ助ケ一ハ血稅ヲ以テ國家ニ奉シタルニ由レリ今日ニ及ヒテハ若シ人民ノ一部ニ猶ホ免稅權ノ遺制ヲ存スル者アラハ何時ヲ問ハス法ヲ設ケテ之ニ課稅シ得ヘキ權利ヲ有スルハ復々論ヲ俟タサルナリ

今日ノ國家ニ在テハ何人タリトモ租稅ノ義務ヲ免ル、ヲ得サルモノトス或ハ公共ノ設備ヲ利用セス若クハ之ヲ利用セサラント欲シ又ハ自己ノ保護ハ己自ラ之ニ任シテ更ニ國家ニ依頼セサラント欲スルノ故チ以テ租稅ヲ免カレント欲スル者アルモ是レ理由ナキノ口實トス若シ實ニ租稅ヲ免レント欲セハ只タ當ニ國家ヲ去リ臣民タルノ權利ヲ棄ツヘキノミ苟モ國家ノ内ニ在テハ何人タリトモ其ノ身體財產ニ於テ國家ノ統率ニ屬セサルモノナシ是レ租稅義務ノ生スル所以ニシテ納稅ハ臣民一般ノ享クヘキ制度ノ利益ヲ賠償スルカ爲ニ非サルコトヲ知ルヘシ

國家ノ内ニ在リテ法律上獨リ租稅義務ノ範圍ニ屬セサル者ハ國君是レナリ是レ國君ハ其ノ位ニ在リテ國家ノ統率ヲ代表スル者ニシテ他ノ財產所有主タル一個人ノ比ニ非サレハナリ而シテ國君ノ親族ハ則チ租稅義務ヲ免ル、ヲ得サルモノハ其ノ國家ノ臣民ニ外ナラサルヲ以テナリ又彼ノ公共ノ福利ヲ目的トスル私立ノ設備ハ此ノ主義ヲ害スルコトナクシテ租稅義務ヲ免除スルヲ得ヘシ何トナレハ此ノ如キ私立ノ設備ニ屬スル收入ハ公共ノ利益ヲ目的トシテ之ヲ使用スルモノナルヲ以テ其ノ目的ヲ同シクスル國庫收入ノ爲ニ之ニ賦課スルトキハ之ヲ左手ニ取リテ右手ニ移スニ異ナラスシテ却テ其ノ目的ヲ損害スルニ歸スレハナリ

(第三) 賦稅平等ハ理論的ノ國法ニ於テ一ノ必要ナル原則ナリ賦稅平等トハ何レノ人民ヲ論セスシテ一般ニ租稅ヲ徵收シ一部ノ人民ニ對シテ私惠ヲ與ヘ若クハ苛法ヲ施ス等ノ事無キ

ヲ謂フモノニシテ畢竟政治ノ公平ヲ要スルニ外ナラス
 然シテ眞成ノ賦税平等トハ凡ソ國家ノ臣民ニ賦課スルニ同一數量ノ租税ヲ以テシ一切ノ租
 税ヲ以テ人頭税ト爲スカ如キ數量上ノ平等ヲ課フニ非ス各種ノ關係ニ從ヒテ其ノ各人ノ財
 力ニ相當ナル平均的ノ平等ヲ謂フモノナリ然レトモ詳細ニ平均的ノ平等ヲ量定シ之ニ據リ
 テ税法ヲ立ツルハ眞ニ至難ノ事業ニシテ其ノ實ハ唯タ實際ノ關係ヲ概觀シテ之ヲ查定スル
 ニ過キサルノミ若シ能ク之ヲ精勘シテ終ニ此ノ目的ヲ達センハ固ヨリ財政ノ局ニ當ル者ト
 執政者トノ職務ナリ近世ノ論者往々此ノ主義ニ據リテ普通ノ原則ヲ立テント欲スル者アリ
 其ノ論亦理ナキニ非スト雖猶ホ現今ニ行ハル、國法ノ諸件ニ於ルカ如ク漫ニ理論ニ偏スル
 ノ弊ニ陥リ其ノ實際トノ間ニ於テ水火相容レサル隔絶ヲ生シ爲ニ世人ヲシテ許多ノ駁論ヲ
 起シ到底採用スヘカラサルモノト爲サシムルニ至レリ其ノ狀タル宛モ政權平等ノ理論ト異
 ナラス

近世世人ノ最モ熱唱スル主義ニ云ク凡ソ各種ノ租税ハ各人貧富ノ度ニ依テ計定シタル納税
 力ニ從テ賦課セサル可ラスト今此ノ主義ニ依ルトキハ其ノ極終ニ租税ヲ以テ財產税又ハ收
 入税ノ一種ニ歸シ今日賦課スル所ノ租税ノ種類ニシテ收益最モ多ク且ツ煩苛ナラサルモノ
 ハ盡ク之ヲ廢セサル可ラサルニ至ラントス今ノ國家タルモノ若シ眞ニ其ノ職務ヲ盡サント

欲セハ決シテ此ノ如キ主義ヲ實行スル能ハサルヘシ然ルニ猶ホ之ヲ正理ニ適合シタルモノ
 トシ政治上必要ノ主義ト爲スハ亦尠ムヘキナリ且ツ此ノ主義ヲ唱フル論者ハ其ノ一般政權
 ヲ論スルニ於テハ唯タ國民中ノ男子ノミヲシテ之ヲ有セシメントシ而シテ其ノ男子ハ皆同
 一ノ政權ヲ有セシメントシ主張スル者ナリ然ルニ租税義務ヲ論スルニ至リテハ則チ之ニ
 反シテ此ノ如キ平等論ヲ爲スヲ欲セス財產ノ大小ニ從テ其ノ多寡ヲ定メント欲スルモノハ
 是レ權利ト義務トヲ論スルニ兩箇ノ互ニ相背馳シタル主義ヲ執ルモノト謂ハサル可ラス故
 ニ此ノ主義ノ實際ニ施行ス可キト否トハ姑ク舍キテ之ヲ論セサルモ此ノ如キ原則中相矛盾
 スルノ主義ニ至リテハ精ク之ヲ研究スルヲ必要トス

夫ノ租税ヲ負擔スヘキ財力ナキ者ニ對シテ其ノ義務ヲ負ハシムヘカラサルハ論ヲ俟タサル
 所ナリ無ハ以テ有ヲ生スヘカラス諺ニ所謂無財產者ニ對シテハ皇帝モ亦其ノ權ヲ失フトハ
 是レナリ然レトモ今租税ヲ賦課スルニ專ラ其ノ財力ノミニ依リ義務ノ輕重ヲ定ムルニ特ニ
 財產力ノ大小ノミニ依ラント欲スルハ是レ惑ヘルノ甚シキモノナリ
 又納税義務ハ之ヲ私有財產ノ所有者即チ一個人ニ賦課スルモノナリ彼ノ納税力ヲ主義トス
 ル說者ノ租税ハ專ラ社會ノ財產ヨリ徵收スルモノナリト云ヘルカ如キハ其ノ中或ハ眞理ヲ
 含蓄スルナキニ非スト雖要スルニ法理上ニ根柢ヲ有セサル想像說ニ過キサルナリ何トナレ

ハ此ノ如キ社會ノ財産ヲ管理シテ租税ノ負擔者トナルヘキ一ノ主人有ルコト無ク且ツ租税ノ徵收ヲ受クルモノハ種類ノ何タルヲ論セス果シテ一個人ニ非サル者ナケレハナリ然リト雖是ヲ以テ租税義務ハ私法上ノ抗告ヲ許シ且ツ各人ノ私權ニ基キテ其ノ法規ヲ定ムヘキモノナリト爲ス可ラス租税モ亦他ノ公法ノ如ク國家全體ノ關係ニ基キテ之ヲ定ムヘキノミ租税徵收ニ於テ主眼トスヘキ關係ハ左ノ如シ

(甲) 一般ノ經濟ト一家ノ經濟トノ關係是レナリ國家ノ常ニ一般經濟ノ健全ト成育トニ注目スルヲ以テ其ノ要務トナスヘキハ固ヨリ論ナシ租税ノ方法ニシテ若シ能ク一般國民ノ財産力ヲ強盛ナラシムルニ適セハ獨リ國庫ノ殷實ヲ致スヘキノミナラス且ツ以テ人民ノ富盛ヲ致スヘシ而シテ國家ハ又常ニ其ノ國民即チ一私人ノ財力ヲ損害セス消耗セサルコトニ注意シテ收税ノ方ヲ謀ラサル可ラス是レ關稅ニ於テ殊ニ然リトスル所ニシテ夫ノ關稅ヲ以テ最モ便益ナル歲入ノ泉源ト爲ス所以ハ亦能ク之ヲ施行スルニ在ルナリ

彼ノ公權收入ノ如キモ其ノ性質頗ル租税ニ近キヲ以テ此ノ主義ニ據リテ之ヲ組織スルヲ善トス而シテ此ノ收入ノ不當ト爲スヘカラサル所以ノモノモ亦此ノ理由アルニ由レリ何トナレハ公權收入ノ中ニ於テ殊ニ一般公共ノ性質ヲ有シ之ヲ諸稅中ニ置クモ亦樞要ノ地位ヲ占ムヘキモノアルヲ以テナリ

凡ソ是レ等ノ場合ニ就キテ彼ノ租税平等ノ主義ヲ求ムルニ何ノ意義ヲ以テスルモ之ヲ見ルニ由ナキナリ若シ平等ノ意義ヲ以テ各人同一數量ノ租税ヲ賦課スト爲サンカ荷モ多量ノ輸入貨物ヲ販賣シ若シハ使用スル者ハ前金ヲ以テ直接ニ間稅ヲ納ムルト又ハ其ノ貨物使用ノ効果ニ從ヒテ間稅ニ之ヲ納ムルトヲ問ハス他ノ少量ノ輸入貨物ヲ販賣シ使用スル者ニ比スレハ其ノ稅額必ス常ニ多カルヘシ或ハ又平等ノ意義ヲ以テ各人ノ財力ニ應シテ平均ニ賦課スルノ意ト爲サンカ世人概ス此ノ意義ヲ稱道シ以テ是等ノ租税ニ對スル非議ヲ防衛スルノ理由ト爲シ是レニ由テ各人貧富ノ度ニ從ヒテ稅率ヲ高低シ得ヘキコトヲ信シタリ然レトモ此ノ信用ハ其ノ實際ト相齟齬スルヲ見ル試ニ彼ノ關稅ヲ賦課スル物品ヲ輸出入スル製造者及ヒ販賣者ヲ見ヨ其ノ納税ノ多寡ハ財產力ノ大小ニ依ラス且ツ製造者及ヒ販賣者ハ直接ニ此ノ賦税ヲ納ムルモ間接ニ納税ノ最大部ニ當ル者ハ則チ其ノ消費者ナルニ非スヤ且ツ今獨逸ニ輸入スル外國貨物ノ消費ヲ見ルニ其ノ多寡ハ會テ各消費者財產ノ關係ト相隨伴セザルニ非スヤ

故ニ此ノ類ノ賦税ニ就キテ其ノ平等ナル點ヲ求メハ唯タ其ノ物品ノ上ニ止マルニ過キス即チ關稅界線ヲ通過スル貨物ノ數量ニ應シテ之ニ課税シ此レニ由リテ貨物所有者ノ負擔スヘキ納税ノ分量ト義務トニ大小ノ差異ヲ生ス然レトモ其ノ稅率ハ豫メ一般經濟ノ狀況ヲ酌量

シテ之ヲ定メ各人ノ財産ニ依リテ之ヲ課スルニ非サルナリ

(乙) 物品消費ノ多寡ト財産ノ大小トハ互ニ多少ノ關係ヲ有スレトモ常ニ相伴フテ昇降スルモノニ非ス或ハ富人ニシテ僅ニ消費シ貧人ニシテ多ク消費スル者アリ或ハ財産ノ大小ニ關セズ殆ント一樣ニ消費スル物品アリ而シテ財政者ハ已ニ久ク此ニ注目シ僅ニ富人ノ消費ニ止マリテ收入少額ナル物品ヲ取ラスシテ却テ一般人民ノ消費ニ係ル物品ヲ取レリ今此ノ所謂消費稅即チ多數ノ消費物ニ就キテ徵收スルノ稅ヲシテ彼ノ平等論者ノ主義ニ從ヒ一個個人ノ歳入ヲ計リテ賦課スルコト、センカ其ノ正理ニ背反スル果シテ何如ナルヘキヤ故ニ租稅ハ國家ノ公權ニ出ルモノナルコトヲ知り且ツ之ヲ賦課スルニハ國家全般ノ上ニ注目シテ其ノ法ヲ定ムヘキノ理ヲ悟ラハ彼ノ私法上ノ見解ニ基ケル謬想ヲ消散シテ全國民及ヒ其ノ一個人ノ爲ニ其ノ需求ヲ保護シ幸福ヲ養成スルノ國家ニ在リテハ租稅ノ要部ヲ多數人民ノ消費ニ賦課スルモ決シテ之ヲ非議スヘキノ理ナキコトヲ知ルヘシ

(丙) 今若シ財産ヲ以テ經濟上有形ノ實力即チ人民各自ノ外觀上計量シ得ヘキ生産力トシテ之ヲ看ルトキハ亦以テ租稅賦課ノ尺度ト爲スヲ得ヘシ但タ彼ノ論者ノ謂フカ如ク專ラ之ヲ以テ賦稅ノ原則トナスヘカヲサルノミ然シテ此ノ財産力ノ大小ヲ量定スルモ亦甚タ難事ニ屬セリ若シ人民各自ノ勞力ヲ計リテ尺度トナシ以テ財産力ヲ量定セントセハ其ノ竟ニ爲ス

ヲ得ザルノミナラス苟モ人體ノ秩序タル權利ノ本性ニ背クモノニシテ亦行フ可ラサルモノナリ故ニ之ヲ量定スルニハ只タ當ニ外觀上視察シ得ヘキ有形ノ物品ニ依ルヘキノミ

國家ニ屬スル臣民中其ノ十分ノ成熟ニ達シタル者ハ皆同一ニシテ差等ナキモノト看做スヲ得ヘシ縱ヒ一般ノ臣民ニ通シテ之ヲ言フ能ハサルモ概スルニ男子ニ在リテハ皆然リト謂フヘシ何トナレハ人類殊ニ男子ノ勞力即チ財産力ハ其ノ天然ニ於テ自ラ同一ノ分量ヲ有スル者ト謂ハサル可ラサレハナリ故ニ彼ノ人頭稅ハ世人ノ往々論スルカ如キ不當ノ稅ニ非ス若シ國家ニシテ其ノ臣民ヲ保護スルノ義務ニ缺クル所無ク其ヲシテ各力ヲ生産ニ用フルヲ得セシメハ各人ヲシテ同一ノ租稅ヲ納メシムルモ理ニ於テ更ニ不可ナル所ナキナリ然レトモ近世行ハル、所ノ關稅及ヒ消費稅ハ之ヲ往古羅馬帝國ノ時ニ行ハレタル人頭稅ニ比スレハ其ノ收入額更ニ多キヲ加ヘ而シテ其ノ賦課ハ人民ノ大部ニ普及シ又人民ヲシテ負擔ノ過重ナルヲ感セシメサルヲ以テ此ノ稅法ノ行ハル、ニ因リ竟ニ人頭稅ヲ廢スルニ至リタルハ最モ至當ノ事ト謂フヘシ

財産ノ種類ハ固ヨリ一樣ニ非ス故ニ租稅モ亦其ノ種類ヲ差異ト階級トニ從ヒテ之ヲ賦課セリ即チ地稅資本稅營業稅收入稅等ノ如シ世人往々論シテ曰ク財産稅及ヒ收入稅ヲ課スルニ遞次増加ノ法ヲ用フルハ財産又ハ收入ノ増加ノ割合ニ適セス權利平等ノ原則ニ背反スルヲ

何如セント若シ租税ヲ以テ専ラ私法上ノ主義ニ基キ一個人ノ財産ニ賦課スルモノト爲ストキハ此ノ法ハ甚タ法理ニ背キタルモノト謂ハサルヘカラス而シテ課税ノ主義ヲ以テ財産ノ多寡ニ應シテ租税ノ數量ヲ定ムト云ヘル一定不動ノ原則ヲ定ムルヲ得ヘシ然レトモ今若シ租税ヲ論スルニ公法上ニ於ケル國家ノ權利ニ基キタルモノトシ一個人ノ財産ヲ量定スルニ其ノ中ニ含有スル所ノ生産力即チ納税力ニ依ルトキハ此ノ遞次増加法ノ如キ唯タ財産ノ個數ヲ計ルノミナラスシテ其ノ重量ヲモ檢定シ財産中ニ含有スル生産力即チ租税負擔力ノ増加スヘシト認ムルモノハ此ノ増加ヲモ計算中ニ加フルノ方法ハ之ヲ以テ必シモ採用スヘカラサル惡法ナリトハ謂フヘカラス但タ妄ニ此ノ主義ヲ濫用シテ更ニ之ヲ制限セサレハ大害ヲ醸成スルノ弊ナキニ非ス例セハ暴君アリテ苛税ヲ貪リ又ハ財産平均ノ妄說ヲ誘起シ又ハ私有財産ノ安全ヲ害シ又ハ重要ナル工業ヲ衰廢スルニ至ラン苟モ執政者ノ此ノ斷崖ニ立ツ者ハ能ク之ニ注意シテ溝壑ニ陷ラランコトヲ要ス而シテ此ノ危害ハ彼ノ普通ノ財産税及收入税ニ於テモ亦大ニ異ナル所ナシ

世人常ニ上ニ掲ケタル租税ノ種類ヲ分チ初ノ二種ヲ間税ト稱シ後ノ二種ヲ直税ト稱ス是レ初ノ二種ハ納税者ノ外間接ニ課税ヲ受クルモノアリテ納税者ハ唯タ代リテ之ヲ前納スル者ニ異ナラス而シテ後ノ二種ハ其ノ税ヲ賦課セラル、所ノ人直接ニ之ヲ納メ更ニ賦課ヲ他ニ

移サ、レハナリ、ロ、テ、ツ、グ、ハ其ノ國法ニ於テ一切ノ間税ヲ以テ惡法ト爲セリト雖經濟論者ハ概テ却テ之ヲ弊害アリト爲サス且ツ財政者ニ至テハ實際ニ間税ヲ廢スル能ハス凡ソ學者ノ國法ヲ論スルニ私法上ノ主義ニ據ル者ハ常ニ間税ヲ認メテ不當ノ租税トシ現今諸國財政ノ組織ニ於テモ此ノ主義ノ行ハル、コト勘カラサルヲ以テ財政上爲ニ疑惑ト危殆トヲ起スモノアリ然レトモ今若シ租税ハ國法上ノ性質ヲ有スルコトヲ覺知セハ間税ハ至當ノ租税ニシテ直税ハ却テ之ヲ補助税タルヘキノ理ヲ明ニシ以テ論者ノ言ノ如キ直税ヲ定税トシテ間税ヲ特税ト爲スノ理ナキヲ見ルニ足ルヘシ

以上ノ理由ニ據リ租税ノ組織ハ主トシテ經濟上ノ主義ト實驗トニ依リテ之ヲ定ムヘク専ラ法律上ノ原則ニ據ルヘカラサルコトノ明白ナルヲ知ルヘシ但タ國家ノ經濟ヲ行フニ當テ法律ノ範圍ヲ論ユヘカラサルハ勿論ナレトモ此ノ範圍内ニ在リテ其ノ思考スル所ニ依リ實際ニ適應スヘキ方法ヲ設定シテ之ヲ施行センコトヲ要スルナリ

第六款

(丁) 國家ノ信用

(第一) 國家ノ歲入不足シテ歲出ヲ償フ能ハス然レトモ新ニ租稅ヲ徵收シテ國民ノ財力ヲ疲弊セシムルヲ欲セサル重要ノ理由アルトキハ國家ハ國債ヲ募集シテ此ノ急ニ應スルノ權利ヲ有ス蓋シ國債ハ將來ノ人民ヲシテ之ニ對スル租稅ノ負擔ヲ重カラシメ而シテ現時ノ人民ノ負擔ヲ緩クスルニ在リ是レ現時ノ人民ニ於テ自ラ直ニ此ノ不足ノ全額ヲ負擔スヘキ財力ヲ有セサルヲ以テナリ夫レ國家ノ其ノ危害ヲ免レ又ハ安寧ヲ保持スルカ爲ニ自ラ負債ヲ起スヲ得ルハ猶ホ一私人ノ自由ニ負債ヲ爲シ得ルカコトシ但シ國家ノ信用ハ一私人ノ單ニ其ノ所有資本ヲ利用スルカ如キ狹隘ナル信用ニ比スヘカラス國家租稅ノ主權ニ據レハ假令ヒ其ノ原金ヲ完償スルニ到ラサルモ利子ノ如キハ何時ヲ問ハス常ニ之ヲ轉償シ得ヘキノ安全アリ故ニ全國民ノ財產ニ於テ其ノ根柢ヲ有スルモノナリ然レトモ國家ノ信用ハ其ノ實國家ノ勢力ト其ノ平常施政上ニ於ケル結果ナル輿論ノ歸向トニ在ルモノニシテ負債ニ對スル抵當ノ如キハ則チ却テ其ノ次ナリ負債ヲ起スニ當リテ債主ヲシテ國家ノ其ノ元金ヲ償ヒ得ヘキヤ否ヤニ注意セシムルコト愈少キトキハ募集ヲ爲スコト愈易シ而シテ若シ其ノ負債ハ年々一定ノ利息ヲ附スルモノナルトキハ(國家ハ租稅ヲ徵收シテ利子ニ充ツルヲ得ルカ故ニ之ヲ償フハ甚タ難事ニ非ス)隨テ此ノ債主權ハ自ラ賣買上ノ價格ヲ有スルニ至ル此ノ價格ハ固ヨリ信用ノ何如ニ依テ高低ヲ生スト雖財政ニシテ果シテ其ノ宜シキヲ得ルトキハ公

債元金ノ額ヲ降ルコト甚タ少ク或ハ好機ニ際シテハ往々原價ヲ超ユルコトアリ
負債ヲ起スノ容易ナル此ノ如キヲ以テ方今各國中安ニ信用ヲ利用シテ負債ヲ重キ國家ノ經濟力ヲ極張シ一旦急アルモ之ヲ用フル餘力ナキカ如キ危害ノ地位ニ陷ラシメタル者尠カラス凡ソ國家經常ノ支出ハ其ノ財政健全ナル國ニ在テハ決シテ負債ヲ以テ之ヲ補フヘカラス必ス經常收入殊ニ租稅ヲ以テ之ニ供給スルヲ要ス但タ臨時非常ノ支出ニシテ殊ニ永續ノ設備物ニ要スル費用ノ如キハ若シ經常收入ノ餘贏又ハ臨時收入ノ之ニ供スルモノ無キトキハ其ノ費用ヲ數年間ニ分割シ國家ノ信用ニ依頼シテ以テ負債ヲ起シ之カ需求ニ應スルモノ亦不可ナル所ナキナリ此ノ際ニ當リ現今ノ人民ヲシテ納稅ノ負擔ニ苦マシムルヨリハ寧ロ負債ヲ起スヲ便ナリトス例セハ鐵道敷設ノ爲ニ此ノ如キ負債ヲ起スハ是レ資本ニ應用スルモノニシテ畢竟負債ト資本ト相對シテ損益ナキモノナリ是ノ類ノ負債ニシテ此ヲ以テ設置シタル事物ハ收益アル財産ニ非サルモ一般經濟上ノ利益ヲ進メ又ハ國家全躰ノ安全ヲ圖ルカ爲ニスルモノアリ水路ヲ設ケ道路ヲ起シ又ハ行政及司法ノ改良ヲ爲ス等是レナリ且ツ國家ヲ防禦シ又ハ其ノ富強ヲ謀ルカ爲ニ用フル軍費ノ如キモ亦之ニ屬セリ此ノ如キ費用ハ大概將來人民ノ利益ヲ謀リテ之ヲ用フルモノナルニ若シ獨リ之ヲ現時人民ノ負擔ニ歸セシメハ之ヲ至當ト謂フヘカラス

此ノ類ノ負債ハ將來ノ人民ヲシテ共ニ之ヲ負擔セシムルモ更ニ其ノ權利ニ害スル所ナシ然レトモ國家タルモノハ亦宜ク自ラ制限シテ其ノ矩ヲ踰エサルヲ要スヘシ將來ノ事ハ逆メ之ヲ賭難キノミナラス當時利益アルカ如クナルモ後來其ノ利甚タ少ク或ハ全ク之レ無キニ至ルモノアリ夫ノ運渠ヲ開鑿スルハ其ノ初メ便益甚タ多キモ鐵道ノ起ルニ及ヘハ其ノ便漸ク減シ終ニ全ク鐵道ヲ以テ之ニ代フルニ至ラントス而シテ其ノ開鑿ニ費シタル費用ハ實ニ莫大ニシテ容易ニ完償スル能ハサルカ如キ是ナリ

(第二) 國債ヲ起スニ政治上ノ手續ニ依リ紙幣ヲ發行シテ之ニ充ツルコトヲ得ヘシ即チ價額ヲ記載シタル紙片ヲ發シ法律上通貨トシテ之ヲ融通スルナリ此ノ方法ヲ用フレハ國家ハ一時人民ニ租稅ヲ課スルコトナク且ツ更ニ費用ヲ要スルコトナクシテ急ニ巨額ノ金圓ヲ流通セシムルヲ得ヘク且ツ此ノ金額ハ實ニ國家ノ負債ナレトモ之カ爲ニ一ノ利息ヲ償フヲ要セサルナリ然シテ此ノ便益ハ却テ國家ヲ導キテ危害ニ至スノ具ト爲リ若シ自ラ嚴正ナル檢束ヲ爲シ誠意ヲ以テ之ヲ行フニ非サレハ信用忽チ地ニ墜テ終ニ自ラ溝壑ニ轉スルニ至ルコト猶ホ車ヲ斷崖ニ驅ルカコトシ彼ノ佛國ノ證券ニ於ケル合衆國諸州ノ紙幣濫發ニ於ケル皆以テ鑒戒ト爲スニ足ル蓋シ國家ノ其ノ信用ヲ利用シ資金ノ使用ヲ整理スルハ固ヨリ其ノ權利ノ有スル所ニシテ之ヲ禁制スル能ハサルモノトス而シテ紙幣發行ノ事ハ正ニ此ノ兩箇ノ權

利ニ屬セリ然レトモ國家ハ此ノ權利ヲ施行スルニ當リテ精ク方法ヲ設ケ嚴ニ監督ヲ施シ上ニ謂ヘルカ如キ危害ニ陥リ其ノ期圖シタル所ノ利益ハ却テ更ニ大ナル損害ノ爲ニ消糜セラハ如キ處置ニ出テサランコトヲ要ス蓋シ紙幣ハ其ノ元價ヲ以テ現金ニ交換スルヲ得ルノ間ハ決シテ危害ノ起ルヲ憂ヘサルモ一旦此ノ交換ヲ爲ス能ハサルニ至ルトキハ則チ危害忽諸トシテ生ス

(第三) 命令徵債即チ強迫募債ハ通常之ヲ行フヘキモノニ非ス但タ其ノ實際止ムヲ得サル際ニ臨ミテ之ヲ行フヘキ一時ノ救急法ニ過キサレノミ強迫募債ノ事タル任意ノ契約ヲ以テ資本ヲ貸借スル負債ノ性質ニ背反スルモノトス蓋シ國家ハ公共利益ノ爲メ其ノ人民ニ要求シテ租稅ヲ出サシムルノ權利ヲ有スト雖之ヲ強イテ己ヲ信用セシムヘキノ權利ヲ有セス何トナレハ信用ハ各人ノ意思ニ存スルモノニシテ命令ヲ以テ外ヨリ之ヲ強得ヘキモノニ非サレハナリ且ツ此ノ募債ヲ爲スニ當リテ各町村ヲシテ強迫ヲ待タスシテ任意ニ募集ニ應スルカ如キコトアラシメハ則チ固ヨリ幸ナリト雖若シ然ラスシテ全ク命令強迫ニ出サシメハ其ノ應募金額ヲ適當ニ各個人ノ間ニ分賦スルコト甚タ難シ何トナレハ各個人ノ財產ハ其ノ多寡ニ從テ各ノ之ヲ使用スルノ途アルヲ以テ一時ニ之ヲ現金ニ換フルコト難ク又ハ其ノ方ニ使用スル所ノ資本ヲ缺クコト能ハサルモノアラシ然レトモ募債ノ事タル固ヨリ資本ニ關係ス

ルヲ以テ其ノ應募ノ力ヲ計ルコトハ資本ノ多寡ヲ標準トシテ之ヲ定ムルノ外復タ他策ナシ是レ分賦ノ甚タ難シトスル所以ナリ況ヤ強迫募債ハ此ノ際國家ノ僅ニ有スル所ノ殘餘ノ信用ヲ擧ケテ全ク之ヲ失ハシムルニ至ルヘシ是レ各人皆此ニ由リテ國家ノ復タ其ノ信用ヲ有セサルコトヲ自認シタルコトヲ見ルヲ以テナリ

故ニ強迫募債ハ唯タ戰爭ノ際ニ於ケルカ如キ他ニ臨時ノ不足ヲ補フヘキ道ナキトキニ當リ一時其ノ特權ヲ利用シテ以テ私權ヲ傷リ各人ノ所有財産ヲ以テ已ニ貸與スヘキコトヲ命令スルヲ得ヘキノミ然レトモ此ノ際ニ於テモ亦國家ハ速ニ此ノ壓制ニ依テ借得タル負債ヲ任意ノ公債ニ交換スルカ又ハ利息ト共ニ之ヲ償還スルカ兩者ノ中必ス其ノ一ヲ實行スヘキ義務ヲ帶フルモノナリ

(第四) 信用使用ノ方法ハ通常一個人ノ間ニ於ケルカ如ク任意ノ負債ヲ爲スニ在リ然ルニ近來ノ論者此ノ負債契約ヲ以テ政治上ニ於ケル國權ノ作爲ト爲シ即チ國債ヲ私權ノ範圍内ヨリ除去シ國債ハ人民ニ於テ訴訟權ヲ有セスト謂フモノアリ余ヲ以テ之ヲ觀レハ是レ甚タ不當ノ論ナリ國家ノ利用スル信用ハ是レ公共ノ物ニシテ私有物ニ非ス全ク國家公共ノ地位ト勢力トニ根據スルモノナリ國家ノ負債ヲ爲サント欲スルニ當リ其ノ議ヲ決スルモ亦是レ政權ノ一ニ屬シ法律上之ヲ認許スルニ非サルヨリハ國債ヲ起スヘキ權利ヲ生セス然リト雖負債

償其ノ物ニ至リテハ則チ政權ニ因テ生スルノ結果ニ非ス彼ノ各人ノ其ノ資本チ國家ニ貸與スルハ元ト其ノ義務ニ由リテ之ヲ爲スニ非ス其ノ政府ト締結セルモノハ全ク私權上ノ契約ニ外ナラス故ニ若シ國家ノ財務官ニシテ其ノ當ニ償フヘキ利子又ハ收益金ヲ償ハス又ハ其ノ契約ニ於テ明文アルモノハ元金ト雖其ノ償還ヲ認フル能ハサルノ理由アラサルナリ但チ當初ノ結約ニ於テ總テ國家ノ德義上ノ榮譽ト信用トニ委任シ債主ヨリ訴訟スルコト無カラソコトヲ約定シタルトキハ固ヨリ此ノ限ニ在ラスト雖此ノ如キ特約ニ成レル權利ハ元ト負債契約ノ性質又ハ國法ノ結果ニ因由シタルモノニ非サルナリ且ツ官價ヲシテ私法上ノ義務ヲ負擔セシムルハ國法上ニ於テモ固ヨリ認許スル所ナリ

然レトモ國債法ノ組織ニ於テ國家ノ主權ヲ以テ之ニ干涉スル所ノモノ少カラス各國ニ於テ國債ニ安全ナル抵當ヲ付シタルモノ甚タ少ク大概定資法ニ依ルチ常トス定資法ハ人民一般ノ信用ヲ得ルニ足ルヘキ國債償却ノ組織ニシテ別ニ尋常ノ負債ノ如キ抵當權ヲ與ヘサルナリ且ツ通常ノ負債ニ在リテハ債主ニ於テ元金ノ償却ヲ要求スルノ權アルモ國債ニ在リテハ更ニ其ノ元金ヲ償却スルコト無クシテ永ク一定ノ收益金ヲ付與スルノ方法ヲ設ケ國家ハ何時ヲ問ハス便宜ニ此ノ義務ヲ償贖シ得ヘキモ亦敢テ一定ノ期限ヲ設ケサルモノアリ此ノ場合ニ於テ國家ハ財政上ノ運用ニ於テ常ニ自由ヲ得債主ハ又此ノ收益ヲ資本トシテ賣買上ニ

利用スルコトヲ得ヘキナリ但タ國家ニ於テ國債ヲ起スニ當リ債主ニ任意ノ還債要求權ヲ與フルハ甚タ謀ヲ得サルモノナリ何トナレハ國家ハ此ノ如キ不意ノ還債要求ニ由リ財政ノ困難ヲ致スコトアルヘク又一旦國歩ノ艱難ニ際シ爲ニ愈々危害ヲ増スヘキヲ以テナリ

此ノ他流動國債ナルモノアリ定資國債ト其ノ性質ヲ異ニス即チ定資法ノ如ク其ノ期限ヲ永クセス唯タ一時ノ需用ニ供スルモノニシテ債主及ヒ負債主ニ於テ共ニ隨意ノ償却權ヲ有スルヲ通常トス此ノ種類ニ屬スルモノハ官設營業ノ爲ニ起セル負債、國庫ニ於テ一時收入ノ不足ヲ補フカ爲ニ起セル負債、銀行ノ計算負債、預金及ヒ身元保證金ノ負債並ニ官債證券等ノ類ナリ

國家ノ公債ヲ募リ其ノ契約ヲ爲スニ特ニ通常ノ貸借ト異ナル所ノモノアリ即チ高利禁止法ノ適用セラレサルコト是レナリ債主ハ其ノ法律上一私人間ノ貸借ニ於テ要求シ得ヘカラサル限度外ノ高利ヲ受クルヲ約束シ又ハ公債證券ノ呼價ヨリハ實際少額ノ金ヲ拂フモ取テ之ヲ以テ高利法ヲ侵セリト爲サス何トナレハ國家ハ其ノ勢力強大ナルヲ以テ縱ヒ高利ヲ貪ル債主アリトモ彼ノ一個人ノ貧困ニ陥リタル負債主ニ對シ慘酷ナル處置ヲ爲シ得ルカ如キニ非ス故ニ法律ヲ以テ之カ保護ヲ設クルヲ要セサルナリ然シテ此ノ際ニ於テ危害ハ却テ反對ノ點ニ在リテ政府或ハ其ノ權ヲ妄用シ爲ニ債主ヲ損害セサルコト無キヲ恐ル、ノミ

第七款

第二 經濟事務

(甲) 一般ノ設置

(第一) 國家ノ經濟事務トハ狹義ノ意ヲ以テ之ヲ言ヘハ一般ノ經濟ニ於テ國家ノ直接ニ干與スヘキ職分ヲ謂フナリ而シテ一般經濟ノ中首トシテ此ノ事務ニ屬スヘキモノヲ貨幣トス貨幣ハ元來一個人ノ財産ニ屬スヘキモノナレトモ其ノ性質ヲ究ムレハ亦公共ノ物品ニ外ナラス即チ第一ニハ一般普通ノ貿易媒介品タリ第二ニハ一般ノ價格尺度タリ第三ニハ法律上ノ仕拂媒介品タリ故ニ其ノ一ヲヒ鑄造シテ貨幣トナスニ及ヒテハ即チ公共ノ性質ヲ有スルモノニシテ其ノ固有ノ職分ヲ充タスカ爲ニハ國家ノ主權ヲ要スルモノナリ

故ニ國家ノ貨幣ヲ鑄造シ一定ノ價ヲ附シテ以テ之ヲ流通セシメ並ニ他國貨幣ノ國內ニ流通スルヲ許シテ公共普通ノ價格ヲ認定シ又ハ他國貨幣ノ流通ヲ公禁スル等ハ總テ國家固有ノ權利ナリ若シ一個人ヲシテ隨意ニ貨幣ヲ鑄造セシメ又ハ他國ノ貨幣ヲシテ濫ニ國內ニ流通セシメ敢テ之ヲ制限スル所ナクシバ之カ爲ニ一般ノ流通ニ妨害ト混亂トテ來シ貨幣ニ定メ

タル價格ヲ動搖シテ國家ノ信用ヲ傷損スルニ至ルヘシ

國家ノ貨幣權ヲ實行スルニ當リテ其ノ方法ハ宜ク經濟上ノ原則ニ基クヘシ何トナレハ國家ノ貨幣ニ關シテ有スル所ノ權利ハ法律ヲ以テ成レル命令權ニ非ス唯タ其ノ事物ノ性質ニ從テ經濟上ノ權利ヲ有シ此ノ權利ヲ施行スルニ特ニ經濟上ノ原則ニ據ルヲ得ヘキノミ況ンヤ其ノ安樂ヲ保護セント欲スル所ノ貿易ハ内地ニ在リテハ往々國家ノ關係ニ屬セスシテ全ク不羈ノ性質ヲ有スルモノアリ且ツ貿易ハ獨リ一國ニ止マラスシテ全世界ノ人民ヲ結合スルカ故ニ一國ノ弊法ハ遠ク其ノ害ヲ他國ニ及ホシ又一國ノ權力ノ及ハサル範圍ニ在リテ更ニ豫期セサル結果ヲ生スヘキニ於テチヤ故ニ國家ハ宜ク注意シテ經濟上ノ原則ヲ守ルヲ必要トスヘシ又貨幣ハ單ニ價額ヲ銘記シタル標品ニ非ス其ノ有スル所ノ價格ハ縱ヒ全ク之ト同一ナル能ハサルモ亦之ト懸隔セス一般ノ貿易上ニ於テ其ノ銘記スル所ノ價額ト等ク融通スルヲ得ルニ非サレハ其ノ貨幣タル職分ヲ充ス能ハサルナリ

(第二)紙幣ハ眞貨(硬貨)ノ地位ニ代リテ其ノ價ヲ代表スルモノナリ故ニ紙幣ノ價ハ容易ニ之ヲ眞貨ニ交換スルヲ得ルノ點ニ在リ紙幣ヲ發行シ及ヒ其ノ額ヲ制限スルハ國家經濟上ノ權利ニ屬セリ而シテ紙幣ヲ發行スルコト其ノ度ニ過クルトキハ則チ大ナル危害ヲ來タシ發行ニ由リテ得ル所ノ小利益ニ代ヘ難キヲ以テ各國中或ハ紙幣ノ發行ヲ止メ之ニ代ヘテ銀行

券發行ノ權ヲ一ノ銀行ニ委テ紙幣ノ如ク之ヲ流通セシムルモノアリ抑此ノ如キ紙幣類似ノ證券ヲ發行スルハ固ヨリ一個人ノ權利ニ屬スヘキモノニ非スシテ即チ貨幣事務ノ權ヲ掌握スル國家ヨリ之ヲ受ケタルモノナリ故ニ此ノ如キ銀行ハ國家ノ監督ニ屬シ公共ノ信用ヲ保全スルカ爲ニ當ニ國家ノ設定スル制限ノ範圍内ニ於テ之ニ服從スヘキモノナリ今國家ハ自ラ此ノ如キ證券ヲ發行シ銀行事務ヲ營ミタリトモ決シテ利益ヲ得サルノミナラス原來此ノ如キ得利ヲ目的トスル業務ニ從事スルハ國家ノ地位ニ於テ宜ク爲スヘキ所ニ非ス凡ソ投機ノ事ハ一個人ニ屬スヘク且ツ一個人ニシテ始テ能ク熟練ト注意トヲ以テ之ヲ行フヲ得ヘシ故ニ此ノ如キ銀行ハ純然タル私立ニシテ總テ財產ノ所置ニ於テハ全ク國家ノ干渉ヲ受ケサルノ方法ニ依リテ其ノ規則ヲ定ムルヲ必要トス然レトモ其ノ一般ノ信用ヲ得ンコトヲ要スルト貿易及ヒ貨幣ノ事ニ於テ強大ナル勢力ヲ要スルトヲ以テ是等ノ點ニ就キテハ其ノ成立上認定權ヲ有スル國家ノ監督ニ屬セサルヘカラス若シ夫ノ一個ノ銀行ヲ設立シ州縣並ニ都府ニ於テ支店ヲ設クルヲ可トスルカ又ハ數多ノ銀行ヲ並立スルヲ可トスルカニ至リテハ是レ法律上ノ問題ニ非スシテ却テ便宜上ノ事務ニ屬ス但タ數多ノ銀行ヲ並立セシムルハ互ニ相競争スルノ弊ヲ致シ或ハ混亂及ヒ浪費ノ害ヲ生スルコトアルヘク又一ノ銀行ヲシテ特權ヲ有セシムルノ弊ハ貿易上ノ需求ヲ奇貨トシテ擅ニ利益ヲ貪リ金權ニ仗リテ他ノ銀行ヲ

壓抑シ公共ノ利益ヲ捨テ、顧サルカ如キコトアルヘシ

(第三) 國家ノ掌ルヘキ經濟ニシテ且ツ之カ義務アルモノハ各種各等ノ公道是レナリ夫レ道路ハ國民公共ノ生活ニ於テ必要ナルモノナルカ故ニ此ノ意義ヨリ之ヲ言ヘハ全ク公共ノ性質ヲ有ス是ヲ以テ道路ヲ築造シ之ヲ保全シテ壞敗ニ至ラサシムルハ國家ノ最モ緊切ナル職掌ニ屬セリ即チ中央ニ在テ一般ノ交通ト各地方トノ需要ヲ察シ國民一般ノ福祉ヲ進歩スヘキ管理方法ヲ求ムルニ在ルナリ

今若シ單純ナル私道ノ種類ヲ除キ其ノ公道ニ屬スルモノヲ舉クレハ左ノ如シ但シ河川溪谷ニ架スル橋梁モ此ノ中ニ包有ス

(甲) 町村内ノ通行ニ供スル小路、都府ノ街路モ亦此ノ中ニ屬ス

(乙) 町村又ハ稍、大ナル聚落ヲ通スル里道

(丙) 一地方及ヒ縣ヲ通スル縣道

(丁) 全國ヲ通スル國道

(戊) 國際道路、此ノ道路ノ目的ハ其ノ通過スル所ノ小地方ニ限ラス廣ク遠方ニ達ス

以上掲クル所ノ道路ハ其ノ階級愈、低ク其ノ所用ノ利益愈、近傍ノ地主又ハ地方人民ニ關係スルコト多キニ從ヒテ其ノ關係者ヲシテ築造修繕ノ費用ヲ負擔セシムルヲ利トス然レトモ

道路監督ノ權ヲ舉ケテ盡ク之ヲ關係者ニ委ヌルハ不可ナリ何トナレハ道路ハ一般公共ノ利益ヲ以テ目的トスレハナリ但タ國家ハ其ノ大要ヲ監督シ其ノ細目ニ係ル管理ハ町村ヲシテ之ヲ爲サシムヘシ而シテ町村ノ此ノ管理ヲ爲スニ眞實ニ公共ノ福祉ヲ圖ルヤ否勞力又ハ費用ヲ愛惜シテ各個人ノ隨意ニ任セ其ノ堅牢ヲ願サル等ノコトナキヤ否ヲ監督シ之ヲ防護スル爲メ豫メ其ノ方法ヲ設クルハ政府ノ宜ク爲スヘキ所ナリ

然シテ道路ノ等級愈、高ク其ノ使用モ亦愈、廣ク一般人民ニ關スルニ及ヘハ政府其ノ義務ヲ負擔スルニ至ル彼ノ國際道路ノ如キ之ニ關係スル各國ノ利益ノ其ノ通過スル國ノ利益ヨリ多キトキハ國際法上ノ條約ニ依リテ以テ築造費用ノ一部ヲ關係諸國ヨリ出サシムルコトヲ得ヘシ

以上掲クル所ノ階級ノ度ニ從ヒテ各種道路建築ノ可否及ヒ方向ヲ決スヘキ權限ヲ定ムルヲ得ヘシ即チ町村内ノ小路ハ其ノ利益ヲ享クル者全國人民ニ屬スルヨリハ一町村ニ屬スル多キヲ以テ其ノ建築ハ之ヲ町村ニ委任スルヲ可トス又一般交通ノ道路ヲ築造スルニハ其ノ目的ノ輕重ト等級ノ高下トニ從テ上級又ハ下級ノ管司ヲシテ之カ事務ニ任セシムルヲ可トス又築造ノ際ニ於テ其ノ近傍ハ勿論並ニ遠隔地方人民ノ需求ト通行ノ利害ト並ニ之ヲ新設スルカ爲メ將來起ルヘキ得失及ヒ一切ノ關係及ヒ施工ノ技術ニ係ル利害難易ヲ精密ニ調査ス

ルハ公共ノ幸福ヲ管理スヘキ政府ノ宜ク盡スヘキ義務ナリトス然シテ是レ等ノ事件ハ之ニ關係アル人民ヲシテ意見及ヒ希望ヲ言ハシムヘキ機會ヲ與フルヲ以テ最モ善シトス蓋シ人民自己ノ利害ニ就キテハ其ノ見ル所必ス敏達ナルヲ得ヘク且ツ政府其ノ調査ヲ公示スルトキハ技術者ヲ監督スルニ於テ最モ良法タルヲ以テナリ然レトモ之カ意見ヲ聽キ希望ヲ言ハシムルニ當リ若シ之ヲ訴訟ニ類スル組織ト爲シ政府此ノ各個ノ町村又ハ黨派ノ間ニ裁斷ヲ爲スカ如キアラハ是レ大ナル誤ナリ此ノ目的タル元ト各黨派ニ於ケル權利ノ爭ヲ裁判スルニ非スシテ國家自ラ一般ノ關係ヲ視察シ公共ノ利益ニ於テ最モ便ナル方法ヲ考定スルニ在リ唯タ此ノ目的ノ爲ニ衆人ノ意見希望ト其ノ疑惑恐懼スル所以トヲ聽キ之ヲ參考トスルモノニシテ此ニ由リテ以テ數多ノ考案ヲ起スヘキ根據ヲ得ルトキハ隨テ最モ利益アル方法ヲ檢定シ得ヘキナリ故ニ此ノ如キ意見ヲ聽クカ爲ニハ訴訟ニ類スル説明ヲ爲シ適ニ人民ヲシテ其ノ爭心ヲ激昂シテ公平ノ視察ヲ誤リ徒ニ各種ノ紛擾ヲ醸サシムルカ如キヲ要セサルナリ

(第四) 鐵道ハ之ヲ官設營業トスルノ主義ヲ取ラサル國ニ在リテモ之ヲ監督シ之ヲ養成スルハ固ヨリ國家ノ職掌ニ屬ス故ニ私設鐵道ト雖尙モ一般ノ交通ニ供シ夫ノ鐵山ニ專用スルカ如キ一個人ノ設營ニ屬セサルモノハ國家ニ於テ警察、經濟ノ兩點ニ就キ特ニ之ヲ監督セサルナリ

ルヘカラス故ニ私設會社ヲシテ鐵道建築ニ從事スルヲ許スハ可ナリト雖國家ハ自ラ此ノ一般ノ交通上ニ於テ最モ緊切ナル設營ヲ收用シテ公共ノ利益ヲ養成スヘキ權利ヲ永久ニ拋棄スヘカラス何トナレハ鐵道ハ其ノ元性ニ於テ國家經濟ノ主要ナル部分ヲ占ムルモノナレハナリ

(第五) 各種ノ水路モ亦此ノ鐵道ト等ク國家經濟上ノ養成ニ屬スル設營ナリ即チ湖海ニ於テハ自由ニシテ且ツ安全ナル航路ヲ設ケ便利ナル船舶貨物ノ上陸場ヲ設ケ公立又ハ私立ノ燈臺、埠頭、造船所、船貨用上器、藏庫等ヲ設ケ又河川ニ於テハ通船ノ便ヲ開キ挽船路ヲ築造シ溝渠ニ於テハ水路ヲ開鑿シテ舟楫ヲ通スヘカラシムルカ如キ總テ是レ等ノ設置ハ鐵道ノ如ク之ヲ會社等ニ任セシムルヲ得ルト雖之ヲ監督スルノ權ニ至テハ國家ノ常ニ之ヲ有スヘキハ固ヨリニシテ獨リ警察上ノミナラス經濟上ニ於テモ亦宜ク之ヲ監督スヘシ

(第六) 郵便ハ公共ノ交通ニ供スル設營ニシテ其ノ財政上國家ニ於テ必要ナルノ外、國家經濟ノ範圍ニ屬スヘキモノナリ電信モ亦同シ

(第七) 尺度量衡ハ貨物ノ大小輕重ヲ度リ一般ノ交通ヲ便ニスルカ爲ニ公認シタル器械ニシテ之ヲ管理スルハ政府ノ職掌ニ屬ス即チ其ノ標本タル原尺ヲ精定シ檢印ヲ爲シ貿易上ニ用フル所ノ尺度ヲ比較シ又ハ詐欺ノ器械ヲ用フルコト無キヤ否ヤ等ヲ監督スルハ古ヨリ國家

ノ職掌ニ屬シ且ツ國家獨リ之ヲ公認シ得ヘキコトヲ認メタリ

(第八) 國家ニ屬スル經濟事務中ニ於テ關稅ハ其ノ必要ナル事項ノ一ナリ國家ハ關稅ニ於テ通常二箇ノ目的ヲ結合セリ一ハ是レコ由リテ富裕ナル收入ヲ國庫ニ得セシメ一ハ一般經濟上ノ利益ヲ獎勵ス第一ノ目的ハ租稅上ノ方法ニ依リテ之ヲ定ムヘシ第二ノ目的ハ經濟上ノ主義ニ基キテ之ヲ行フヘシ國家ノ經濟上ノ政ニ於テ其ノ一個人ノ經濟ニ交渉シ且ツ生活上ノ幸福ト人民一般ノ共同心ト財產力トニ關シテ勢力ヲ有スルモノハ此ノ關稅法ニ若クモノナシ

關稅ハ其ノ初ハ單ニ財政上ノ目的ニ止リ凡ソ貿易場ニ上レル物品ニ就キテ或ハ港灣ニ於テ或ハ河口ニ於テ或ハ道路ニ於テ或ハ上陸場及ヒ市場ニ於テ或ハ都府ノ門口ニ於テ之ヲ收メタリ是ヲ以テ其ノ法タル唯々内地ノ交通貿易ヲ妨害シ檢束スルニ外ナラスシテ財政上ニハ利益アルモ經濟上ニ在テハ偏ニ有害ノ法タルニ過キカリシナリ故ニ此ノ第二ノ目的ヲ發明シテ單純ナル財政關稅ニ加フルニ經濟關稅(保護稅)ノ目的ヲ以テスルニ至リタルハ是レ實ニ大ナル進步ナリ此ノ如ク二箇ノ目的ヲ併合セシヨリ第十七世紀ノ末以來漸次關稅徵收ノ場所ヲ國境ニ移シ終ニ境關稅ト爲シ其ノ後千八百十八年學國ニ於テ關稅法ヲ定ムルニ及ヒテ從來獨逸各邦ノ間ニ行ハレタル弊政ヲ一掃シ更ニ整理シタル境關稅法ヲ行ヘリ此ノ經濟

上ノ改良ニ由リテ國內ノ交通ハ新ニ其ノ束縛ヲ脱シテ活潑強盛ニ赴キ且ツ人民共同ノ思想ト萬般ノ良制度トハ此ニ由リテ益々興起スルニ至リタリ

此ノ如ク境關稅ト爲ルニ至リタル以來其ノ課稅ノ可否並ニ稅率ノ輕重ヲ定ムルニ復々從來ノ如ク獨リ理財上ノ點ニ止マラスシテ一般經濟上ノ得失ヲ察スルニ至リテ其ノ改良セルモノ實ニ大ナリ夫レ國家並ニ人民ノ經濟上ニ於テ他ノ國家及ヒ人民ニ關スル關係ト並ニ關稅賦課ノ如何ニ依テ自國人民ノ生産力ト消費トニ影響スヘキ得失トハ是レ國政ヲ治ムルニ於テ最モ考究スヘキノ事タリ而シテ是レ等ノ利害得失ハ固ヨリ一定ノ理論ヲ以テ定ムヘキノ非ス唯タ能ク國內並ニ全世界ノ活動ノ狀況ヲ觀察シ時々ノ變遷ニ屬スル貿易並ニ勞力ノ需求ヲ察スル政治家ニ在リテ始メテ之ヲ能クスルヲ得ヘキノミ抑々國家ノ政務ニ屬スル百般ノ事項ニ於テ學者ノ議論最モ多キハ關稅ニ如クモノアラヌ施政ノ主義ニ就テ一定ノ規則ヲ立ツルヲ得ヘカラスハ關稅ニ如クモノアラヌ變遷極リナキ狀況ニ注目シ昨日ハ右ニシ今日ハ左スルカ如キ往々反對ノ方向ヲ執リテ處理セサル可カラサルモノ又關稅ニ如クモノアラヌ

理財關稅ノ目的ニ結合スルニ經濟關稅ノ目的ヲ以テスルニ至リタルハ關稅改良ノ要點ニシテ以テ永久ノ洪益トナスヘシ故ニ理財關稅ハ其ノ國家ノ經濟ニ於テ禁止稅ノ目的ヲ有シ人

民一般ノ害ヲ除カント欲スルノ際ノミニ於テ之ヲ施スヘク人民ノ使用ニ於テ必須ナル貨物ニ重税ヲ賦課シ公衆ヲシテ購求ニ難カラシメ又ハ内國ノ製造不足ニシテ之カ使用ニ缺乏セシムル等ノコトヲ爲サ、ルヲ要ス然レトモ此ノ類ノ關稅ヲ課スルト共ニ又人民ノ勞力及ヒ生産力ヲ保護シテ健全ヲ得セシメ彼ノ温室ニ於テ植物ヲ養ヒ徒ニ人工ヲ以テ之ヲ長育シテ竟ニ天然ノ氣候ニ勝ユル能ハサルカ如キノ姑息法ニ非サルトキハ是レ亦効驗ヲ收ムルヲ得ヘキナリ彼ノ所謂ル單純ノ保護稅ハ經濟上ノ趣旨ニ適セサルノミナラス理財上ニ於テモ亦允當ト爲スヘカラス但々時アリテ人民ノ勞力ヲ保護シ之ヲ成育スルニ足ルカ又ハ外國ノ己ヲ讎敵視シテ施行スル所ノ政畧ニ反對スル時ニ於テ臨時ノ特別法ト爲スヘキノミ又彼ノ禁止關稅ノ如キハ偶々之ヲ行フコトアルヘキモ一定ノ規則トシテ之ヲ用フヘキモノニ非ス執政者ノ關稅ヲ施行スルニ當リテハ常ニ全體ノ利害ヲ察シテ之ヲ定ムヘク一個人ノ得失ニ注目スヘカラス縱ヒ一社會ニ於テ特ニ要求スル所アルモ之カ爲ニ其ノ眼界ヲ狹隘ノ點ニ限縮スルコト無ク全國ノ大勢ニ着目セサル可ラス抑、一社會ノ產業者ニシテ其ノ力ヲ伸張スル能ハス或ハ外國ト競争シテ其ノ壓制ヲ受クヘキ危害ニ陷ルモノアルトキハ終ニ國民全體ニ其ノ損害ヲ及ホスノ恐アリ譬ヘハ猶ホ一手其ノ病ニ罹ルトキハ全體隨テ痛苦ヲ受クルカ如シ是レ固ヨリ執政者ノ知ルヘキ所ナリ然リト雖苟モ腸胃ニシテ健全ナラハ頭腦其ノ患ヲ

被ラサルヘシ若シ一肢節ノミヲ愛惜シ其ノ實力ヲ有セサルニ關セシテ只々巧ニ外形上ノ健全ヲ裝フトキハ他ノ官肢トノ平均ヲ失ヒ之カ爲ニ却テ更ニ全體ニ疾病ヲ起スカ如キ弊ナシト謂フヘカラス

又執政者ハ巨商大賈ノ希望ニ注意スルヲ要ス此ノ輩ハ關稅ヲ賦課セラル、コトヲ好マス又賦課ヲ受クルモ其ノ輕少ナランコトヲ望ムカ故ニ保護稅ノ如キハ固ヨリ其ノ欲セサル所ナリ何トナレハ巨商大賈ハ廣ク世界ニ交通シテ貿易ヲ爲シ純粹ナル貿易自由ノ空氣中ニ於テ繁榮スヘキ性質ヲ有シ其ノ業タル一國ニ屬セスシテ全世界ニ屬スレハナリ又執政者ハ小商ノ爲ニ保護ヲ要スルコトアルヲ知ラサルヘカラス何トナレハ此ノ輩ノ營業トスル所一地方ノ需求ヲ充スニ止リテ他ノ地方ニ販出スルニ適セス其ノ貨物不意ニ市場ニ充溢スルカ爲ニ害ヲ蒙ルコト往々ニシテ有リ又ハ外商ノ濫ニ其ノ貨物ヲ輸入スルカ爲ニ之ト競争シテ竟ニ壓倒セラル、コトアルヲ以テナリ又執政者ハ貿易貨物ノ製造ヲ主トスル大製造者及ヒ近傍人民ノ需求ニ供給スル手工者並ニ是レ等ノ職業ヲ以テ其ノ生活ヲ營ム者ノミナラス國家全體ノ富安ヲ進歩シ改良シ得ヘキ原素ナル多數人民ノ利害ニ注意シ其ノ臨時ノ狀況ニ應シテ國家ノ保護ヲ要スルヤ否ヤヲ察セサル可ラス執政者ハ彼ノ靜穩ナル農民社會ハ關稅ノ賦課ニ由リテ他ノ租稅ノ負擔ヲ輕減セラレシコトヲ希望スルモ亦其ノ生活ニ要スル物品ヲ購求

スルニハ偏ニ價直ノ低廉ナルヲ望ムコトヲ忘ル可ラス執政者ハ其ノ國民ノ多數ハ資本家又ハ學藝者等ノ如キ消費者ニ屬スルコトヲ記憶シ且ツ國民ノ各社會中其ノ大概ハ生産者少クシテ消費者常ニ多キカ故ニ通常租稅ヲ以テ其ノ煩累トナスノ感觸ヲ有スルコトヲ記憶セサル可ラス此ノ如ク各社會ノ間ニ相反對スル利害ヲ同時ニ秤量シ國家全體ノ平均ヲ保チ健安ヲ傷ハサル適當ノ處理ヲ求ムルハ國家ノ經濟ニ任スル執政者ノ政略ニ於テ最モ困難トスル所ナリ

第八款

(乙) 特別ノ設營

國家經濟上ノ政ヲ爲スニハ唯々直接ニ全國民ニ關係シ並ニ一般ノ交通ニ屬スル所ノ設營ヲ爲スノミニ止マラス又各種ノ場合ニ於テ其ノ保護ヲ要スル事項ト一定ノ職業及ヒ生活ノ狀況トニ就キテ其ノ經濟上ノ養成ヲ爲スヘキ義務ヲ有ス今其ノ種類ヲ次ニ掲ク

(第一) 物價ノ騰貴ニ際シ又ハ人民各社會ノ職業ヲ失フニ當リテ之ヲ保護救濟スル事今此ノ救濟ヲ稱シテ保助法ト曰フ保助法ハ救貧法ト自ラ異ニシテ獨ホ保助警察ト救貧警察トノ差

異アルカコトシ物價騰貴ニ對シテ行フヘキ經濟ハ例セハ官ニ於テ穀倉ヲ設ケ又ハ町村ヲ勸奨シテ穀類ノ儲蓄ヲ爲サシムルカ如シ此ノ法ハ往古生貨經濟ノ政ヲ行フ國ニ當リテハ最モ必要トセル所ナリト雖方今貨幣經濟ヲ行ヒ其ノ融通稍裕ナル國ニ在リテハ此ノ法ヲ要セス但タ穀物其ノ他生活物品ノ運輸貿易ヲ督勵シ猶ホ必要トスルトキハ國家ニ於テ自ラ穀物ヲ糶買スヘシ又人民ノ不時ニ職業ヲ失フニ當リテハ國家ニ於テ公共ノ工事ヲ起シ各人ヲシテ其ノ業ニ就カシメ以テ食物ヲ得ヘカラシメ一時壅塞スル所ノ業路ヲ疏開シテ流通ヲ得セシメ且ツ以テ低下セル勞力ノ價格ヲ昂カラシムルヲ得ヘシ然レトモ其ノ起ス所ノ事業ニシテ實益ニ關セス徒ニ遊玩ニ屬スルトキハ亦其ノ目的ニ適セサルモノナリ且ツ此ノ如キ事業ハ一時ノ特例ニ過キササルヲ以テ若シ之ヲ平時ノ常業ト爲ストキハ是レ一個人ノ職業ヲ奪フテ之ヲ官ニ取ルモノニシテ其ノ弊終ニ國家ノ經濟ト一個人ノ經濟トヲ併セテ之ヲ腐敗セシムルニ至ルヘシ

(第二) 官設保險ノ設ハ其ノ性質亦前項ト同シク其ノ目的タル一個人ノ受クル所ノ損害ニシテ負擔ニ勝ヘサルモノハ全公衆ニ於テ之ヲ助ケ各其一部ヲ分擔シテ以テ損害ノ度ヲ輕クセント欲スルニ出ツ即チ家屋又ハ動産ノ火災保險農業ノ雹災保險是レナリ

(第三) 國家ハ彼ノ教育上ノ設營ヲ以テ各人民ノ學術技藝ニ關シ之ヲ養成スルカ如ク又經濟

上ノ設營ヲ爲シテ以テ有形上ノ富ヲ興スヘキ種々ノ業術ヲ養成スルヲ要ス
夫レ一個人ノ經濟ニ於ケルハ猶ホ他ノ私權ニ於ケルカ如ク全ク其ノ人ノ一身ニ屬シテ政府
ノ之ヲ左右スヘキモノニ非ス既ニ成年ニ至リタル一私人ニ對シテ後見ヲ爲ス如キノ權ハ政
府會テ之ヲ有セサルナリ今假リニ一私人ハ自己ノ經濟ヲ爲スヲ得サル無腦力者ナルヲ以テ
政府ハ此ノ權ヲ有スト爲サンカ彼ノ一私人ノ其ノ自己ノ利害ヲ察シ家産ヲ起スヘキ方法ヲ
講究スルノ腦力ハ政府又ハ其ノ機關ノ之カ爲ニ管理シ施設スル處置ニ比スレハ必ス其ノ右
ニ居ラントス又若シ國家ノ後見權ハ其ノ一個人ノ上ニ位スル地位ヨリシテ之ヲ有スト爲サ
ンカ國家ノ體タル元ト共同ニシテ其ノ統率權ハ政治上ノ公事ニ止マリテ私權ニ及ハス私權
ハ則チ一個人ノ元性ヨリ之ヲ生シ國家ハ之ニ對シテ保護ヲ爲シ命令ヲ爲スヘキモノニ非ス
一家ノ經濟ノ自由ト獨立トハ是レ常規ニシテ國家ハ之ヲ敬シ之ヲ保護スヘキ職掌ヲ有ス
又一般ノ富榮ト各個人ノ富榮トハ常ニ密接ノ關係ヲ有スルカ故ニ國家ノ治ムヘキ經濟ハ常
ニ必ス全體ノ上ニ注目シ若シ一個人ノ經濟上ニ於テ其ノ發達ノ路ニ當リテ之ヲ妨害スルモ
ノアレハ其ノ天然ト人爲トヲ問ハス凡ソ國家ノ有スル經濟上ノ方法及ヒ威力ヲ以テ之ヲ除
去スルヲ得ヘキモノハ務メテ之ヲ行ヒ併セテ一般經濟上ノ健全ト富榮トヲ進ムルニ必要ナ
ル施政ヲ爲スニ在リ此ノ如キ經濟上ノ養成ニ係ル施政ハ固ヨリ一私人ノ後見ヲ爲スニ非ス

又或ハ全體ノ爲ニ經濟上各個人ヲ檢束スルコトアルモ亦後見權ヲ行フモノニ非ス
政府ノ宜ク行フヘキ經濟上ノ政ハ其ノ人民經濟ノ種類ト一般ノ富安ニ要重ノ關係ヲ有スル
人民職業ノ種類トニ從ヒテ常ニ同一ナルコトヲ得ス而シテ其ノ要重ナル經濟ノ種類ヲ擧グ
レハ左ノ四種トス

(伊) 農業

(呂) 手工

(波) 製造

(仁) 商業

(第四) 農業ハ一般經濟ノ基礎ナリ何レノ國ニ於テモ人民ノ大半ハ皆農ノ爲ニ養ハレ且ツ
其ノ數モ亦國民中ノ最大ニ居レリ故ニ一國ノ富強ハ大概農業ノ盛衰肥瘠ニ關ス是ヲ以テ國
家ハ須ク之カ利害得失ヲ察シ常ニ之ヲ獎勵センコトヲ務ムヘシ農政ノ當否ト獎勵ノ勤怠ト
ハ全國ノ農業上ニ至大ノ關係ヲ及ホスコト古來ノ實驗ニ於テ知ルヘキ所ナリ

農業ニ關シテ國家ノ治ムヘキ經濟法ハ次ノ如シ

(一) 農業上ノ組織 農業上ノ組織ニ就キテ最モ必要ナルハ農夫社會ヲシテ其ノ自由ヲ得
セシムルニ在リ往昔羅馬帝國ノ遺傳ニ因リ且ツ特ニ中古ニ行レタル世襲小作並ニ其ノ他

農民檢束法ノ近世ニ至リテ歐洲諸國ニ於テ概ネ之ヲ擯斥スルニ至リシモノハ是レ唯タ身體ノ權利ヲ重シ天然ノ自由ヲ回復セント欲スルノ時勢ニ由リテ然ルノミナラス又經濟上ノ點ニ於テ之ヲ不利トナスノ原因アルニ由リタルモノナリ抑自由ヲ得ルト否トハ人心ノ感觸ニ影響スルコト少カラスシテ己レ所有ノ土地ヲ耕ストキハ其ノ注意ヲ致シ勉勵ヲ興スモノ大ナリ故ニ地主ノ檢束ヲ脱シタル以來農業ノ改良ニ至レルモノ甚タ多シ然レトモ今日諸國中大田園ヲ耕作スルニ貧困ノ小作人ヲ使役シ其ノ小作法タル短期ヲ以テ之ヲ貸付スルノミナラス且ツ何時ト雖地主ノ隨意ニ之ヲ解止スルカ如キ弊法ヲ用フル者アリ經濟上ヨリスルモ權利上ヨリスルモ嘗テ其ノ可ナル所ヲ見サルナリ此ノ法タル或ハ前ニ中古ニ行ハレタル世襲小作ニ愈ル所アルカ如シト雖其ノ耕作スル所ノ地ハ更ニ農民ニ屬セサルヲ以テ全ク之ヲ利用スル能ハス且ツ自己ノ所有トシテ勉勵ノ力ヲ致スモノナキニ至リテハ更ニ世襲小作ニ異ナル所ナシ而シテ此ノ如キ羈絆ヲ受ケ且ツ重荷ノ小作料ヲ出サ、ルヘカラサル小作人ハ却テ古ノ僕隸農民ニ如カサル所ノモノアリ僕隸農民ハ老衰或ハ疾病ニ由リ勞力ニ勝ヘサルニ至レハ地主其ノ土地ニ於テ之ヲ養ハサル可ラサルノ義務ヲ帶ヒタリシモ今ノ小作人ハ此ノ利益ヲ享クル能ハサルノミナラス往々地主トノ中ニ在ル媒介人管理人又ハ其ノ他投機者ノ爲ニ壓抑ヲ受クルコトアリ小作人ノ境界ノ不幸ナル

コト此ノ如シ然ルニ方今ノ國家ハ未タ嘗テ之ヲ救フニ汲々タラス復タ蠱者ノ世襲小作人ヲ救ヒタリシ如キ熱心ヲ見サルハ豈ニ惟ムヘキニ非スヤ然レトモ愛蘭及ヒ「ロンバルド」ニ於テハ已ニ復タ拋棄スヘカラサルノ狀況ニ迫レリ是レ他日農民ヲシテ其ノ天然ノ權利ヲ得セシムヘキ端緒ヲ開キタルモノト謂フヘシ

若シ將來自由ノ農民社會ニシテ立ツコトヲ得ハ町村ノ原法ヲ根據トシ之ニ擬シテ一ノ組織ヲ新定シ各人ヲシテ皆自由ニ其ノ土地ヲ耕スヲ得セシメ又其ノ全組合ノ利益ニ關スル事項ハ之ヲ組合總社ノ手ニ委ヌヘシ耕作ノ道路橋梁堤防ヲ築修シ共同ノ森林牧場ノ經濟ヲ掌リ家畜並ニ葡萄園ノ安全ヲ保護スル等ノ事項是レナリ

方今各國ニ於テ猶ホ廣大ノ田園ヲ領スル臣民アリ是レ政治上ノ關係ニ於テ最モ重要ナルノ外亦經濟上ニ於テ其ノ利益尠カラサルモノアリ此ノ如キ領地ニ於テ從來農業ノ改良ヲ試ミタルコト一次ニ非スシテ能ク其ノ實驗ニ富ミ尋常農業者ノ辨スル能ハサル農具ヲ購求シ其ノ他總テ人民ノ開化ヲ誘フニ必要ナル需求ヲ充シ得ルモノアリ此ノ如キ大領地ノ農業ハ是レ農政上ニ於テ注意スヘキ一種ノ貴族ノ元素ナリ然レトモ農政ノ全體ヨリシテ之ヲ言フトキハ一般ノ農民社會ノ如ク要重ナラス又歐洲中人口繁密ノ國ニ於テ其ノ廣袤中等ニ位スル田園ニシテ其ノ面積大領地ニ比スル能ハス而シテ又所有主自ラ之ヲ耕作セ

サルモノアリ此ノ類ハ經濟上ニ於テ到底好結果ヲ收ムルヲ得ヘキモノニ非ス故ニ只タ驕奢ノ爲ニ所有スル土地ト認ムヘシ

若シ大領地ニシテ農民ニ自由ヲ與フルヲ不可トセサル者アラハ之ヲ自由農民組合ニ結合スヘシ然ルトキハ此ノ大領地ハ組合ノ中心トシテ隆盛ヲ謀ルノ主トナルヘシ

(ロ) 中古ニ於テ土地ニ賦課シタル十分一金、地賃、夫役又ハ其ノ他使用權ノ類ハ農業ノ自由ヲ害シ其ノ改良ヲ損スルモノナルヲ以テ之ヲ廢止スルコトヲ要ス凡ソ土地ノ課金ハ其ノ地ニ從屬スル農民之ヲ負擔シ地主ニ於テ之ヲ收ムルトキハ其ノ性質ニ於テ亦不當ト謂フヘカラサルモ所有主以外ノ者ヨリ之ヲ課收スルハ大ニ土地所有ノ意義ニ牴觸スルモノナリ故ニ中古ノ借有主義ノ所有ヲ改メテ現今ノ所有權ト爲シタル上ハ此ノ如キ課收金モ亦之ト共ニ廢止セサル可ラス然ラサレハ是レ所有權ノ實ヲ失フモノナリ且ツ之ヲ廢止スヘキ所以ハ獨リ所有權ノ理由ニ於テ然ルノミナラス經濟上ノ理由ニ於テモ亦然リ又使用權ハ所有權ト相矛盾スルニ非スト雖羅馬人ハ已ニ經濟上ノ原因ヨリシテ之ヲ制限シタリ今日法律上ニ於テ認定セラレタル使用權ハ概不中古ノ遺傳ニ屬シ其ノ數甚々多シ森林ノ經濟ヲ進メ共有牧畜場ヲ開墾スル等農事ノ改良ヲ行フカ爲ニハ之ヲ制限ヲ設クルヲ必要トスルモノ尠カラズ

(ニ) 荒蕪ノ原野ヲ分割シテ之ヲ開墾セシメ連續セル町村有森林ノ分割ヲ制限シ以テ森林ノ經濟ヲ整理シ且ツ將來子孫ノ利益ヲ謀ル

(ホ) 田畝境界ノ犬牙錯綜スルモノヲ劃正シ一所有主ノ田畝ニシテ處々ニ散在セルモノヲ一處ニ集合シ大田園ヲ分割シテ獨立シ得ヘキ地主ノ數ヲ増加シ且ツ耕作ノ改良ヲ謀リ又一方ニ於テハ土地ヲ分割スルノ細小ニ過キ其ノ一處ニ合スヘキ者ヲ數箇トシ以テ經濟ノ整理ニ適當セサルカ如キ土地トナラシムルコトヲ豫防シ又ハ中等ノ廣袤ヲ有スル田園ヲシテ務メテ其ノ所有ヲ永續セシメンコトヲ謀ル但タ此ノ際ニ於テ檢束法ヲ以テ強テ之ヲ行ハシメサルヲ要ス

(ヘ) 廣ク農業上ノ知見ヲ増シ且ツ之ヲ改良ヲ獎勵ス即チ地方小學ノ設置ニ就キテ之ニ注意シ農學校ヲ起シ模範田園ヲ設ケ農業組合ノ制ヲ補助シ農産物ノ價格ヲ報知シ市場ノ制ヲ設クルカ如シ

(ト) 農産物ヲ販賣スルニ安全ニシテ利益多キ方法ヲ施行ス即チ市場ノ制ヲ便ニシ適當ナル關稅法ヲ定ムルカ如シ曩ニ各國ノ間ニ行ハレタル輸出制限法ハ經濟上ニ不利ナリトシテ之ヲ行フモノ少ク或ハ之ヲ行フモ大ニ制限ヲ加ヘタリ

(チ) 特ニ農業信用組合ヲ設ケ農業者ヲシテ敢テ危險ヲ冒サス困難ニ陥ルコト無クシテ能

ク其ノ資本ヲ借ルヲ得ヘカラシム

(第五) 農業ハ全國大概一樣ノ狀況ナリト雖手工ハ則チ其ノ業トスル所各々相異ニシテ更ニ一齊ナラス故ニ手工ハ農業ニ比スレハ一家一人ノ職業ニ屬スル性質ヲ有スルコト多シ而シテ又國家經濟ノ政ヲ施スニ於テ之ヲ農業ノ管理ヲ爲スニ比スレハ間接ノ養成權ニ止マルモノトス今手工ニ對スル施政ノ條件ヲ掲クレハ左ノ如シ

(イ) 手工ノ原法ヲ定ムルヲ要ス

中古ノ世ニ當リ都府ニ於テ同業制限法ヲ設ケ其ノ職業ノ種類ニ從ヒテ各々較其ノ制ヲ異ニシ之ヲ以テ手工社會ノ經濟上並ニ權利上ノ規則ト爲シタリシノミナラス且ツ以テ都府ノ憲法ト爲シ又國家憲法ノ一部ト爲シタリ而シテ第十六世紀以後ハ手工等漸ク其ノ同業ノ範圍ヲ嚴ニシ營業者ノ加入ヲ防カント欲シ許多ノ制限ヲ増加シタリ之ニ由リテ多數ノ手工ハ其ノ營業上ノ安全ヲ得タルカ如クナレトモ各手工首長ノ運動ハ自由ヲ失ヒ其ノ營業上ノ範圍ニ就キテ屢々互ニ爭論ヲ生シ之カ爲ニ益其制限ヲ増加セリ然ルニ第十八世紀ニ及ヒテ此ノ制限法ハ世論ノ攻撃ヲ受ケ遂ニ敗亡シテ殆ント絶滅セントスルニ至リタリ此ノ時ニ當リ器械並ニ化學ノ發明大ニ起リ製造業ノ擴張ハ從來未タ嘗テ見サル勢ヲ爲セルニ手工制限法ノ爲ニ大ニ妨碍ヲ受ケタルト又一切ノ營業總テ資本ノ助ニ由リテ大ニ其

ノ力ヲ増進シ其ノ方向漸ク廣大ニ至リ復々從來手工業ノ狹隘ナル地方ニ止マルカ如キニ非サルト時勢ノ變遷ニ由リテ經濟及ヒ政治ノ思想ハ一個人ノ自由ヲ伸張セントシ國家ノ憲法ハ又中古ノ如ク等族ニ依リテ殊別スル所アラサル事等ハ皆此ノ中古遺傳ノ營業制限法ヲ攻撃シ加フルニ第十七世紀ニ於テ營業制限法ノ執リタル狹隘ノ末義ニ成レル組織ハ反テ更ニ輿論ノ抗敵ヲ助ケ復ターノ此ノ法ヲ扶植シテ保存ヲ謀ルモノナシ是ニ於テカ營業自由ノ制度此ノ廢滅シタル制限法ノ遺墟ニ於テ其ノ旗鼓ヲ建ルニ至レリ營業自由ノ法タル敢テ同業者ノ爲ニ制限ヲ受クル所ナク但タ其ノ認可及ヒ特許ヲ受クルカ爲ニ政府ノ制限ヲ受クルト其ノ他警察權ノ監督ヲ受クルノミ

然レトモ是レ實ハ手工組織ノ一大亂ナリ元來手工ノ組織ハ大ニ改良ヲ要スルモノナリシト雖今ヤ反テ革命ノ救變ニ遭遇シタルモノトス是ニ於テ手工社會ノ全體ニ就キ其ノ利害ヲ察シテ之ヲ補助スヘキ自己固有ノ機關ヲ有セス其ノ營業者ハ皆個々ニ分離シテ弊害百出スルモ亦之ヲ救済スルモノナシ蓋シ夫ノ自由制度ハ固ヨリ其ノ功效ナキニ非ス即チ各手工者ノ勞力ヲ伸張シ各手工者ノ技藝ヲ改進セシメタルモノ少カラスト雖未タ嘗テ一ノ秩序アリテ全體ヲ協合シ各部分ヲ保護シテ其ノ權利ヲ失ハシメス其ノ平安ヲ害セサラシムル方法アルコト無シ其ノ首長ト徒弟トノ關係ハ古來ノ組織ニ於テ自ラ穩當ノ慣習ヲ得タ

ルモノニシテ此ノ慣習ハ縱ヒ變遷ノ後ト雖猶ホ能ク時勢ニ應シテ之ヲ利用スヘキニ今ハ其ノ全ク廢絶ニ歸シタルヲ以テ首長ト徒弟トハ互ニ相敵視スルニ至リ其ノ營テ互ニ相親和シタルノ原素ナル一家合同ノ生活ヲ廢止シタルヲ以テ各、之カ爲ニ其ノ害ヲ受ケタリ此ノ如キカ故ニ手工者ノ榮譽心徳義心ハ終ニ大ニ損敗シ政府ハ警察上ノ命令權ヲ以テ屢、此ノ弊ヲ禦カント欲セシモ終ニ目的ヲ達スル能ハス今ノ時ニ當リテ天下皆舉テ勞力社會ノ組織ヲ必要ト爲ス所以ハ以テ手工社會ノ現狀ノ決シテ健全ニ非サルコトヲ證スルニ足ル且ツ假リニ其ヲシテ健全ナリト爲サシムルモ勞力社會殊ニ手工社會ノ組織ヲ改良スルハ實ニ現時ノ最モ急務ナリ然レトモ之ヲ改良スルニハ自由ナル同業組合ノ方法ヲ用フヘクシテ再ヒ中古ノ制限法ヲ起スヘカラス幾多ノ大ナル組合ヲ設ケテ手工社會ノ全部ヲ結合セシメ之ニ由リテ各、一定ノ目的ヲ組織シ相互ノ扶助ヲ爲シ資金ヲ貸與シ教育ヲ施シ衣食ノ便ヲ設クル等ノ事ヲ相謀ラシメハ古嘗テ組織シタルカ如キ之ヲ多數ノ相隣絶シタル圓合ト爲シ以テ全體ノ經濟組織ヲ謀リタルニ比スレハ現時ノ情勢ニ適スルモノナランカ

(ロ) 善良ノ職工學校ヲ設置シ又ハ徒弟ノ教養、試験及旅行ノ制ト首長ニ於テ徒弟ヲ置クノ要規トヲ制定シ由テ以テ巧妙ナル手工者ノ養成ヲ勸奨スヘシ古來ノ手工規則ハ其ノ採用スヘキ條件少カラスト雖往々必要ナル特例制外等ノ事ニ注意セス其ノ規模狹隘ニシテ寛宏ナラサルモノ多シ

(第六) 製造ハ手工ノ業ト其ノ性質自ラ異ナリ手工ハ首長ト徒弟トノ手術ニ屬シ其ノ製品ハ特ニ一地方ノ需求ヲ充スノミ時アリテ廣ク之ヲ販賣スルモ亦僅々ニ過キス製造ノ業ハ則チ然ラス製造主タル者ハ心ヲ勞シテカヲ勞セス多數ノ勞力者ヲ指揮シ器械ノ規則ニ從ヒテ一様ニ其ノ業ヲ執ラシム彼ノ手工ノ業ニ在リテハ器械ハ其ノ手術ヲ補助スルニ止マリ敢テ主トシテ之ヲ使用セサルモ製造ノ業ニ在テハ專ラ之ニ依リテ以テ職業ヲ爲ス而シテ其ノ營業モ亦廣ク之ヲ行ヒ一地方ノ區域ニ限ラス且ツ其ノ製造スル所ノ貨物ハ大概貿易品ヲ以テ目的トス

近來製造ノ業愈々盛ニシテ資本愈々此ノ業ニ集合シ隨ヒテ勞力ヲ要スルコト愈々多ク人民ノ多數ハ製造工夫トシテ生活スルノ必要アルニ至リ且ツ世界貿易ノ變遷極リナクシテ營業安全ナラス又製造主獨リ巨利ヲ獲ント欲シ其ノ勞力者ニ對シテ勢力ヲ有スルコト強盛ナルト製造工夫ノ野蠻ニシテ鄙賤ナルトハ國家全體ノ爲ニ危害ヲ致スノ患アルコトハ近來ニ至リテ益々信スヘシ且ツ恐ルヘキノ狀勢ニ至レリ故ニ國家ノ經濟ニ任スル者ハ此ノ營業ニ對シテ特ニ注意ヲ加ヘサルヘカラス而シテ製造業ノ進歩ハ此ノ如ク迅速ナルニ之ニ對スル國家

ノ法律及ヒ行政ハ實ニ其ノ後ニ在リテ未タ以テ實際ノ需求ニ應スルニ足ラス然シテ製造ノ組織ニ於テ最モ缺點トナス所ノモノハ製造組合ノ制度ナキニ在リ而シテ其ノ弊害ハ彼ノ手工ノ組織解廢ノ害ニ比スレハ更ニ甚シキモノアリ何トナレハ製造ノ業ハ之ニ關係スル所ノ役夫ノ數甚ク多キヲ以テナリ手工ノ首長ト徒弟トハ其ノ關係頗ル近密ニシテ徒弟ヲシテ首長ノ家族中ニ加入セシメ由テ以テ協和ヲ爲サシムルヲ得ヘキモ製造ノ業ニ至リテハ其ノ業ヲ共ニスル所ノ人種ハ數多不同ノ等級ニ屬シ其ノ懸隔甚ク大ナルヲ以テ之ヲ一家中ニ合同セシムルヲ得ヘカラス製造主ハ所謂ル第三級ノ社會ニ屬シ且ツ其ノ財產ニ富ミ勢力ヲ有スルコト多キヲ以テ自ラ其ノ萃ヨリ拔ケリ又之ニ僱使セラル、所ノ工師並ニ技術者ハ同ク第三級ニ屬スル人民ナルモ製造者ニ僱使セラル、ヲ以テ自ラ第二ノ地位ニ居ラサル能ハス而シテ機關ヲ運轉シ簿冊ヲ司トル者ハ第四等中較、其ノ上位ニ位シ多數ノ工夫ニ至テハ最モ下級ニ屬スル細小ノ貧民等ナルヲ以テ常ニ他人ノ扶助ヲ要ス加フルニ工夫中其ノ大半ハ兒女ナルカ故ニ自ラ生活スヘキ腦力ヲ有セス

此ノ如キ原素ヨリ成立セル製造ノ業ニ對シテ國家ハ獨リ經濟上ノ養成ノミナラス宜ク又警察上ノ保護ヲ施スヘシ且ツ製造場ニ於テ兒女ヲ使用スルトキハ教育上ノ養成モ亦必要ナリトス其ノ最モ必要トスヘキ事項ハ左ノ如シ

(イ) 兒女ハ其ノ尙ホ幼稚ノ時ニ於テ之ヲ製造ノ業ニ使用スルコトヲ禁シ之ヲ許可スヘキ一定ノ年齢ヲ制スヘシ且ツ兒女ハ其ノ身體精神ノ發達ヲ害シ其ノ健康ナル成育ヲ妨ケザランカ爲ニ必要ナル休息時間ヲ與ヘ過度ノ勞動ヲ爲サシメザランコトヲ要ス而シテ此ノ如キ制限ノミヲ以テ猶ホ未タ此ノ業ニ於ケル弊害ヲ豫防スルニ足ラス今ヤ文明ヲ以テ自ラ誇リ且ツ基督宗教ヲ奉スル國ニ在テモ製造場ニ使用セラル、兒女ノ群衆ハ只タ器械ノ一部ト同視セラレ其ノ生レテ此ノ世ニ在ルハ他ノ利欲ヲ助クヘキ器械トシテ利用シ消費セラルヘキ爲ナリト思フモノアリ此ノ如キ人生固有ノ天權ヲ蔑視シ舊時ノ奴隸ニ比シテ猶ホ更ニ劣惡ナル處置ヲ施シ却テ其ノ製造上ニ必要ナリトスルノ口實ヲ以テ辨護セント欲スル者アリ惑モ亦甚シト謂フヘシ政府ハ此ノ如キ兒女ノ就學及ヒ宗教上ノ教育ヲ繼續シテ廢停セザランコトヲ注意スヘシ兒女ノ家族ハ己ノ利ヲ貪リ又ハ然ラサルモ貧困ニ迫リ教育ヲ廢セント欲スル者尠カラズ況ヤ之ヲ製造スル使用主モ己ノ慈惠心又ハ宗教心ヨリ之ニ教育ヲ施ス者又甚ク多カラサルニ於テチヤ

(ロ) 獨リ兒女ノミナラス壯年者ト雖其ノ勞動時間ノ過度ナラザランコトニ注意スヘシ製造ノ業ニ在テハ自由契約ハ往々此ノ弊害ヲ保護スルニ足ラサルモノアリ蓋シ工夫ノ大半ハ眞ニ此ノ如キ自由ヲ有スルモノニ非シテ唯タ其ノ空影ヲ有スルノミ其ノ必須ノ衣食

ヲ得ルノ道ハ獨リ此ノ業ニ係ルカ故ニ到底製造主ノ要求ヲ拒ンテ己ノ權利ヲ維持シ得ヘキ地位ニ非サレハナリ若シ國家ニ於テ一般ニ効力ヲ有スヘキ勞動時間ノ程度ヲ定メテ之ヲ遵守セシムルトキハ是レ最便ノ方法トス然ラサレハ縱ヒ適當ナル勞動時間ヲ定メ慈惠ノ目的ヲ守ル製造者アルモ他ノ濫リニ勞力ヲ使役スル製造者ニ競争セラレ爲ニ損害ヲ蒙ルニ至ルヘケレハナリ但シ過度ノ勞動ハ終ニ却テ勞力ヲ萎靡セシムルニ足ルヲ以テ此ノ如キ競争ヲ受クルモ其ノ實際ノ危険ハ却テ甚ク大ナラサルヘシ其ノ他日曜及ヒ祭日等ニ於テ休業ヲ爲サシムルハ是レ等社會ノ爲ニ大ナル恩惠ト謂フヘシ

(ハ) 製造場ハ勿論工夫ノ爲ニ別ニ居所ノ設アルモノハ共ニ其ノ構造ノ健康ヲ害スルコトナキヤ否ヤヲ注視スヘシ

(ニ) 工夫ノ精神及ヒ身體ノ安全ヲ改良シ保護シ疾病ニ當リテ之ニ醫藥シ職業不振ノ際ニ當リテ之ヲ扶助シ衰老ニ及ヒテ之ヲ養恤スル等ノ目的ヲ有スル各種ノ設置ヲ勸奨スヘシ
 既ニ今日ニ至ルマテ良善ナル製造主ハ其ノ發意ヲ以テ許多ノ設置ヲ爲シ此ノ如キ扶助ノ目的ニ供シタリ而シテ國家ハ一個人ノ任意ヲ以テ之ヲ各地方ニ設置シタルカ如ク廣ク四方ニ命令スヘキ權利ト資力トヲ有セス然レトモ國家ハ是レ等ノ設置ヲ賞譽シ補助シ又ハ一般ノ規則ヲ定メテ製造主中扶助方法ヲ設ケサルモノヲシテ之カ施設ヲ命スルハ固ヨリ

十分ノ權利アルモノナリ且ツ公共ノ秩序ニ於テ及ヒ工夫ノ應ニ要求シ得ヘキ權分ト其ノ關係アル町村及ヒ救貧事務ノ權分トニ於テ必要ト認ムヘキ限ハ國家ハ製造主ニ對シテ之ヲ命令スルヲ得ヘシ今新ニ大ナル製造場ヲ設ケテ營業スルトキハ隨テ其ノ周邊ニ一ノ製造殖民ヲ生ス而シテ製造場ハ此ノ工夫及ヒ其ノ子女ニ對シテ保護ノ任ヲ負フモノナリ抑、此ノ如ク多數ノ工夫相集リテ生活スルトキハ子女生産ノ數多キヲ加フルノミナラス諸方ヨリ此ノ地ニ來住スル工夫ノ數又愈々多キニ至ル而シテ是レ等多數ノ人民ハ概テ皆一定ノ製造業ヲ習ヒ更ニ他ノ職業ニ習熟セス然ルニ一朝製造ノ業不振ニ至ルカ又ハ疾病老衰等天然ノ事由ニ由リテ職業ニ勝ヘサルニ至ルトセンカ然ルトキハ他ノ扶助ニ依頼スル多數ノ窮民ヲ生スヘシ若シ初ヨリ此ノ製造場ノ設立無リセハ政府又ハ町村ノ之カ爲ニ負擔セサル可ラサル救済ハ全ク其ノ事無カリシナラン或ハ之レ有リトスルモ其ノ數僅々ニ止マリシナラン故ニ其ノ好時節ニ在リテ利益ヲ收ムル製造主ハ又他日ノ災害ニ豫備スヘキ義務ヲ帶フルコトハ更ニ不當トスヘキ理由アルナシ然ラハ則チ政府ハ之カ爲ニ貯金所ヲ設置シテ半ハ工夫ノ賃金ヨリ半ハ製造主ノ保助金ヲ以テ之ヲ貯積セシムルカ如キモ是レ其ノ權利ヲ超エタリト爲サルナリ

(ホ) 製造評議役ノ制ヲ設ケ製造營業ノ秩序ト風儀トヲ監督シ製造主ト工夫トノ間ニ起ル

爭論ヲ仲裁シ且ツ雙方ノ利益ヲ謀ル機關トシテ官廳ノ管理ヲ助ケシムヘシ
 (ハ)工夫ヲシテ組合ヲ設ケシメ之ヲ監督スヘシ彼ノ資本家ノ株式ノ共合ニ由リテ其ノ勢力ヲ進メ得ルカ如ク勞力者モ亦其ノ勞力ノ共合ニ由リテ勢力ヲ伸張シ彼ノ權威ヲ擅ニシテ壓制ヲ試ミント欲スル資本家ニ對シテ己レヲ防衛スルノ守具ト爲スヘシ夫レ製造主ト工夫トノ關係ヲ改良スルニハ先ツ有形財産的ノ力ト無形勞力的ノ力トヲシテ相對抗スヘキ勢力ヲ成サシメ然ル後方ニ之ヲ結合セハ則チ雙方ヲシテ安全ニシテ且ツ鞏固ナル和平ヲ成サシムルコトヲ得ヘキナリ

(ト)製造上切要ナル改良法ヲ發明シタルモノニ發明特許ヲ與ヘ一定ノ期限間專ラ之カ發明ヲ利用スルコトヲ許シ又製造標章ヲ許シ他ノ模造ヲ防クヲ得セシムヘシ

(チ)工業博覽會ヲ設ケ總テ工業上ノ大勢ヲ知ラシメ容易ニ其ノ業ノ進歩ト缺點トヲ知り得ヘカラシメ競争心ヲ挑發シ且ツ以テ秀逸ナル工藝ヲ賞譽スヘシ

(リ)關稅法ヲ定ムルニ當リテ製造ノ利害ニ注意スヘシ
 (第七)商業ハ他ノ職業ニ比スレハ國家ノ補助ヲ要スルコト甚タ少ナリ蓋シ商業ノ最モ能ク繁榮スルハ更ニ他ノ制限ヲ受クルコトナク自己ノ自由ニ任シテ活動シ得ヘキ地ニ在リ殊ニ大商ハ世界商業ヲ目的トシ一國內ニ限ラス故ニ國家ノ法律ニ依リテ制限ヲ受クル所アルト

キハ常ニ之カ困厄ヲ感ス但タ小買ハ一地方ノ需求ヲ目的トシテ販賣ヲ爲スモノナルカ故ニ多少國家ノ保護ヲ要ス而シテ其ノ保護ト雖亦一定ノ店舗ヲ有シ正確ニ販賣ヲ營ム商買ノ競争ニ對シテ之ヲ要スルニ非ス唯タ家々ノ門戸ニ立チテ其ノ物品ヲ街賣スル行商ノ競争ニ對シテハ往々保護ヲ要スルノミ故ニ商業ニ對シテ施スヘキ國家經濟ノ職掌ハ主トシテ其ノ自由ノ活動ヲ妨クル害物ヲ除去スルニ在リ公共ノ設備ニ由リテ之ヲ補助スルハ則チ第二ノ點ニ屬ス

(イ)商業社會ハ之ヲ組織スルニ手工又ハ製造社會ニ比スレハ較ノ容易ナリトス商業社會ハ之ヲ二大級ニ分ツヘシ一ヲ大商ヲゴチアトーレストシ通常其ノ物品ヲ製造者又ハ他ノ商買ニ販賣スルヲ謂フ即チ一時ニ大數ノ物品ヲ販賣シ商買間ノ大ナル媒介ヲ爲スニ在リ其ノ一チ小買(インストアトーレス)トシ通常各消費者ノ望ニ從テ少量ノ物品ヲ販賣スルヲ謂フ而シテ大商ハ人民中第三等ニ位シ小買ハ第四等ニ位ス又此ノ大商小買ヲ併合シテ一ノ共同組合ヲ組織セシムルヲ得ヘシ

(ロ)商業組合事務所ヲ設置シ商業上一般ノ利害ヲ觀察シ官廳ニ對シテ商業社會ヲ代表シ商業上ノ慣習ヲ保護シ商事ニ係ル意見ヲ起草スル等ノ事ヲ掌リ商業社會全體ノ冠冕トス
 (ハ)商業都府ニ於テ公許シタル仲買商(ゼンザール)ヲ定メ相場所ヲ設置シ以テ商業ヲ

安固ニシ且ツ之ヲ獎勵ス其ノ他道路郵便等凡ソ國內ノ交通ニ供スル設備ニシテ益々完備ナルトキハ商業ノ其ノ益ヲ蒙ルコト愈々大ナルヘシ

(三) 商社ノ稱號ヲ定メテ詐欺及ヒ誤謬ヲ防キ新ニ設立シタル株券會社殊ニ銀行ノ營業上正確ナルヤ否ヤヲ查察シ又凡ソ會社々員ノ變更及ヒ其ノ營業上ノ關係ニシテ商業上ノ信用ト安全トニ影響アルモノハ其ノ變更ニ際シテ之ヲ公告セシムル等ハ國家ニ於テ商業上ノ安榮ヲ助クヘキ經濟上ノ處分ナリトス

國法汎論卷之十一

町村

第一款

古來ノ沿革

(第一) 古ノ國家ハ最初一都府ニ於テ創設シタル政治ノ組織ヨリ漸次ニ長育シタルモノナリ是ノ故ニ古ノ國法ヲ觀レハ其ノ當時ノ思想ニ於テモ亦實際ノ組織ニ於テモ國家ト都府トヲ混同シタルノ異狀アルヲ免レス殊ニ希臘人及ヒ羅馬人ハ其ノ町村ノ名ヲ以テ直ニ國家ノ稱トセリ故ニ首府亞甸ハ即チ亞甸國ニシテ首府羅馬ハ即チ世界ヲ統御スルノ羅馬國ナリ然ルニ羅馬國ノ版圖漸ク廣大ナルニ從ヒテ國家ト都府トノ意義ノ相混同スヘカラサルコト其ノ爛眼ニハ久ク隱沒セサルニ至リ遂ニ國家ハ全版圖ヲ稱シ都府ハ一地方ヲ稱スルノ定義ヲ定メタリ而シテ其ノ混同ノ最モ久シク存續シタルハ首府ノ組織ニ於テ之ヲ見ルヘシ羅馬國ノ執政ハ即チ首府羅馬ノ執政タリ羅馬國ノ元老議員ハ即チ首府羅馬ノ議官タリ又其ノ首府ノ民タルヘキ府民權ハ國民トシテ國家ノ事務ニ參與スルヲ得ヘキ要件タリシナリ是等ノ

混同ハ羅馬ノ帝國ト爲ルニ及ヒテ始メテ犁然分畫シ該撤即位ノ後純粹ナル國家ノ組織ヲ施行シ「アウグスツス」ニ至リテ元老院ノ制ヲ更改シ各州ノ豪族ヲ集合シテ國會ヲ設ケ官吏ノ大半ハ專ラ國家ノ職務ニ任シ從來國政ニ參預シタル羅馬ノ府民權ハ擴張シテ一般ノ國民權ト爲リタリ然レトモ此ノ無比ノ大國ノ都府憲法ノ形ヲ脱シタルノ日ハ首府内部ノ勢力己ニ大半ヲ消耗シ其ノ歴史上ノ運命漸ク他方ニ遷ラントスルノ時ニ在リ

此ノ他伊太利ノ都府ニ於テハ夙ニ此ノ兩意義ノ區別ヲ明ニセリ蓋シ是等ノ都府モ其ノ初ハ都府ニ接近スル村落田園ヲ合シテ政治上ノ團體ヲ成シ憲法上各都府ニ隣接スル地方ハ盡ク之ヲ中央ニ連屬シタリ而シテ此等ノ都府ニハ執政官アヲテ裁判權ヲ有シ且ツ其ノ初ニ當リテハ一般ノ行政權ヲモ有シタリシナリ其ノ所謂ル第二邑長第四邑長并ニ區長モ唯ニ町村ノ首長タルノミナラス其ノ都府ノ區域内ニ在リテ國家全般ノ政務ヲ掌ルヘキ官吏部中ニ屬セリ其ノ元老議員後世之ヲ「クローリー」ト稱シタルモノハ羅馬ノ元老院ト同一ニシテ較シ小ナリシノミ而シテ其ノ殖民地及ヒ他ノ都府ノ人民ニハ府民權ヲ與ヘテ以テ統轄權ヲ有スル首府ト連結セシメ其ノ他ノ府民權ヲ與ヘサル都府ニハ府政ヲ管理スル首長ニ府民權ヲ與ヘテ此ノ目的ヲ達センコトヲ謀レリ是ノ如ク都府ト國家トノ混同シタル一切ノ關係ハ後年ニ至ルマテ存續シタリト雖其ノ政治上高等ノ事務ニ屬スルモノ即チ行政及ヒ立法ノ事ハ之ヲ羅馬府内ニ集合シ其ノ他ノ都府ハ唯タニ地方ニ限レル一團體タルニ過キスシテ國家ノ政務ニ參與スルコト無カリシナリ

「ギーツー」ハ古羅馬帝國ノ衰亡ニ至レル原因ヲ論シ主トシテ其ノ帝政ノ時ニ當リテ國家ト都府トノ權利利益ヲ分離シタルニ歸シ且ツ此ノ如キ分離ハ國家ト町村トノ爲ニ常ニ毒害ヲ來スモノナルコトヲ論セリ然レトモ予ハ此ノ學識ニ富メル政治家ノ説ヲ贊スル能ハス當時羅馬ニ於テ施シタル國家憲法ト町村憲法トノ分離ハ之ヲ今日ノ各國ニ於テ行フ所ノモノニ比スルトキハ實ニ不完全ニシテ且ツ嚴精ナラサルモノナリ夫レ羅馬ノ衰亡ニ至リタル原因ハ其ノ性質ニ於テ固ト應ニ混同スヘカラサル國家ノ政治的ナル生活ト町村ノ經濟的ナル生活トヲ分別シテ二箇異体ノ組織ト爲シタルノ故ニ非サルナリ當時羅馬帝政ノ威力ヲ擅ニシ一切ノ政權ヲ擧ケテ之ヲ中央ニ集合シ他ノ機關ノ權利ヲ併呑シ盡ク貴族及ヒ平民ノ政治上ニ關スル自由ヲ壓制シ滅絶シタルニ當リ獨リ都府ハ其ノ舊來保有シタル自由ノ餘力ニ依リテ一時抑壓ト亡滅トヲ防止スルヲ得タリ其ノ後「デオクレーチアン」及ヒ「コンスタンチン」兩帝ノ世ニ於テ國制ヲ變改シ東洋風ノ暴政ト羅馬希臘風ノ官司政治トノ混合ヲ以テ成リタル憲法ヲ行フニ至リテ都府ノ自由及ヒ權利モ終ニ其ノ獨立ヲ奪ヒ去ラレ全ク皇帝ノ官吏軍兵ノ爲ニ制服セラレ人民中一部ノ社會ノミ特ニ恩惠ヲ受ケテ一般ノ人民ハ怯懦衰弱ノ境ニ陷

リ唯々重苛ナル租税ト生産ノ責任トノ爲ニ抑壓ヲ蒙ルノミ故ニ都府ノ亡滅ハ寧ロ羅馬ノ人民及ヒ國家ノ滅亡ヲ致セル政治及ヒ德義ノ腐敗ニ原因シ專ラ都府ノ亡滅ノ此ノ腐敗ヲ促シタルニ非ルナリ

羅馬ノ法律ハ都府ヲ一ノ法人(コルプスウニウエルツタス)ト認メ之ヲ一個全体ノ人トシテ財産ヲ所有スルコトヲ許セリ法人ハ之ヲ一個人民ノ身体ト區別シ財産ノ主持者トシテ單純不分ノ体ト爲シ其ノ權利ハ公法上ニ屬セスシテ私法上ノ範圍ニ於テ存在スルモノト爲セリ故ニ法人ハ所有權及ヒ要求權ト負債義務トヲ有シ其ノ一般ノ交通又ハ裁判所ニ於テハ其ノ全權代理者又ハ器械(奴隸)ニ之ヲ代表セシメタリ

(第二) 都府ノ生活ト組織トハ最モ羅馬人民ノ思想ニ適當セシト雖日耳曼種類ノ性質ニハ村邑ノ組織最モ之ニ適シタリ故ニ伊太利ハ古來都府ノ國タリシモ獨逸國ハ今日ノ歴史ニ於テ知り得ヘキ第一世紀ノ比ニ至ルマテ更ニ其ノ都府アルヲ見ス日耳曼人ハ其ノ國內ニ來住セル羅馬ノ殖民地及ヒ都府ノ人民トヲ賤惡シ後チ自ラ此等ノ人民ヲ統御スルニ及ヒテモ此ノ風猶ホ改マラザリシナリ苟モ日耳曼人種ノ久ク居住セル地ニハ必ス町村ノ成立スルヲ見ル故ニ町村ノ起レル原初ヲ尋ヌレハ今日其ノ從屬スル國家ヨリモ古キテ常トス

古ノ都府ハ政治上一個ノ團體タリシモ町村ハ固ト政治的ノ組織ニ非スシテ初ヨリ一國民及

ヒ一地方ノ組織中ニ在リテ唯々其ノ全体ノ一部ヲ形シ之ヲ小ニスレハ十分一今ノ郡ノ一部タリ之ヲ大ニスレハ州ノ一部タルモノニシテ國家全体ノ一支節ニ過キサリシノミ然レトモ町村ハ獨立ノ經濟團體ニシテ是レ自由町村ト領主町村トノ區別ヲ爲セル古來町村ノ定義ノ由來セル所以ナリ此ノ兩種ノ町村ハ並ニ其ノ分配セラレタル土地ヲ受ケ全村ノ住民相協同シ一定ノ次序ニ依リテ之ヲ耕作スヘキ目的ヲ有ス而シテ其ノ住民ハ一家族毎ニ別ニ自個ノ專有ニ屬スル田畝并ニ牧場ヲ有セリ然シテ此ノ田畝牧場モ亦全村同一ノ規則ニ從ヒテ耕作ヲ爲セリ即チ三種換作法ノ如キ是ナリ專有地ノ外又全村ノ共有ニ係レル廣大ナル森林牧場ヲ有シ年々少カラサル共有收入ヲ得タリ是レ皆兩種町村ノ同シキ所トス唯々兩種町村ノ其ノ組織ヲ異ニスル所ハ自由町村ニテハ其ノ住民皆完全ナル權利ヲ有シ其ノ中ニ就キテ戸長ヲ選舉シ土地所有者相集議シテ自ラ其ノ權利ヲ施行セルモ領主町村ノ人民ハ領主ノ恩惠ニ由リテ其ノ土地ヲ得タルノ故ヲ以テ常ニ領主ノ統御ヲ受ケ百般ノ組織ヲ定ムルニ皆其ノ指揮ヲ奉セリ故ニ領主町村ハ領主其ノ上ニ在リテ一村ヲ代表スルヲ以テ自由町村ニ比スレハ其ノ合一ノ形狀明白ニシテ且ツ強盛ナリシナリ然レトモ往古彼ノ羅馬ノ都府ニ於テ行ハレタル法人ノ主義ハ其ノ狹義ヲ以テ之ヲ言ヘハ兩種ノ町村共ニ之ヲ有セス是ヲ以テ其ノ性質タル却テ組合ノ組織ニ類シ往々一箇完全ノ團體ト認ムヘキ形アリト雖此ノ團體タル各個獨

立スルニ非スシテ互ニ相連結シテ組織セル團結中ノ組合タルニ過キス
 中古ノ時代ニ及ヒテ領主町村ノ制漸々其ノ勢力ヲ増加シ自由町村モ亦竟ニ世襲領主ニ服屬
 スルニ至リ國主若クハ其ノ屬臣ノ管領權ノ下ニ屈從シタリ然シテ年ヲ經ルニ從ヒテ其ノ初
 所有權ヲ有セザリシ小作民モ其ノ小作地ニ就キテ堅確ナル權利ヲ得稍々自由町村ニ異ナル
 コトナキニ至レリ凡ソ此ノ如キ町村ニシテ終ニ政治上ノ共同体ト爲リ獨立ノ國家ヲ成スニ
 至レルモノ殆ト稀ナリ其ノ之有リシモノハ僅ニ瑞西ニ於テ之ヲ見ルノミ然レトモ是レ所謂
 ル十分一郡ヲ稱スノ稍々ニ區域ヲ廣メタル目代領ニシテ漸ク政治區域ヲ爲シタルニ出ルモ
 ノトス之ヲ彼ノ町村ニ比スレハ其ノ區域ノ廣大ナル初ヨリ相等シカラザリシナリ夫レ町村
 ノ一變シテ國家ノ組織ヲ爲スニ至ラサル所以ノモノハ特ニ其ノ區域ノ狹隘ナルニ原因スル
 ノミナラス其ノ初ヨリ國家ヲ組織スヘキ原素ヲ有セス且ツ統御命令ニ任スヘキ性質ヲ有セ
 サルニ因レリ

(第三) 中古ノ都府ハ町村ノ沿革ト其ノ運命ヲ同シクセス當時歐洲ニ於テ無數ノ都府ノ再興
 創立シタルモノ漸ク強盛ニ至リ是ニ於テ自町村ト市區トノ別ヲ生シタリ最初市區ノ組織ハ
 零ホ町村ノ組織ニ齊シカリシモ其ノ基礎ニ於テ已ニ兩者ノ性質ノ相同シカラサルヲ見ルモ
 ノアリ當時都府ノ漸ク發達スルヤ伊太利ニ於テハ古代ニ行ハレタル羅馬都府組織ノ主義已
 ニ久ク廢絶シ專ラ日耳曼風ノ自由ト組合風ノ權利組織トニ依テ生育シタリト雖其ノ制度中
 往々古代羅馬都府ノ制度ト其ノ種類ヲ同シセルモノ少カラサルヲ見ルナリ是ニ於テ世人
 ハ再ヒ羅馬古代ノ文化ト盛大トヲ回瞻シテ之ヲ歎羨スルノ念ヲ生シタリ其ノ都府ニ置ク所
 ノ市長ノ如キモ羅馬ノ「コンソル」ト其ノ性質ヲ異ニスレトモ亦當時人民ノ古テ慕フノ深キ
 ヲ徴スルニ足レリ

都府ノ人民モ其ノ初ハ町村ノ如ク專ラ耕作ヲ業トセシカ今ハ全ク此ノ業ヲ事トスル者アラ
 ス隨テ都府ノ組織ヲ立ルニ農事上ノ制度ニ依ルコト能ハサルニ至レリ「ヒシヨーフ」アプト
 共ニノ居宅ハ寺院ニ奉仕セル僧侶其ノ周圍ニ集合シ國王其ノ他大族ノ宮殿ハ歲入ヲ管理ス
 ル官吏及ヒ扈從ノ貴族之ヲ環リ各處ノ堡塞ニハ多數ノ兵士之ニ衛戍シ而シテ都府ノ中ニハ
 其ノ保護ニ依リテ商業ヲ營ム者多ク之ニ住シ其ノ他各種ノ營業モ皆此ノ中ニ在リテ其ノ利
 ヲ享ケ各々其ノ繁榮ヲ致セリ故ニ都府ニ在リテ希望スル所ハ公共ノ安全ト教育及ヒ製造ノ
 事ヲ養成スルニ在リテ其ノ人民ノ利益トスル所ノモノハ初ヨリシテ農民ノ利益ト其ノ性質
 ヲ異ニセリ是ヲ以テ都府ニ於テハ土地所有ニ由ラスシテ身体上ニ成レル獨立ノ市民權ヲ定
 ム町村ノ組合主義ニ反對シテ完全惟一ノ法人主義ヲ再興シタリ但シ其ノ初時ニ在テハ此ノ
 法人主義モ羅馬ノ法律ニ於テ定メタルカ如キ單純理論的ノモノニ非ザリシナリ

是ノ如キ事勢ナルヲ以テ都府ハ古羅馬ノ時ニ於ケルカ如ク單純ナル町村ノ範圍ヲ脱シテ獨立ナル一個ノ政治体トナリ一ノ共和政ヲ組織センコトヲ欲シ都府ト國家トノ定義是ニ至リテ再ヒ混同シタリ然レトモ之ヲ古羅馬ノ時ニ行ハレタルモノニ比スレハ其ノ性質一種ニ非スシテ其ノ方向モ亦稍異ナリ彼ノ羅馬ノ如ク一ノ大都府アリテ他ノ衆都府ヲ指揮統率シ全体ノ合一ヲ維持スルコトナク又其ノ政治上ノ性質ニ於テモ羅馬ノ固有ナル命令ノ性質ヲ帶ヒス唯タ己ノ有スル所ノ自由ヲ保護シテ國王ノ專政ト封建制度ノ壓制トヲ防キ且ツ己ノ獨立權ヲ維持シテ他人ノ市政ニ干與スルヲ禦カントスルニ在リ故ニ其ノ周邊ノ地ヲ攻畧シテ其ノ管轄區域ヲ開張セント欲シタル進取主義ハ固ヨリ當初ノ翼望ニ非ス其ノ後年沿革ノ餘勢ニ出テタルモノニシテ己ニ自治ノ政權ヲ得タルノ後ニ及ヒテ専ラ小侯伯ノ土地攻畧主義ニ倣ヒ始メテ此ノ望ヲ起シタルモノトス蓋シ是ノ時ニ於テ其ノ勢力ハ己ニ小侯伯ト相角争スルヲ得タリシナリ

(第四) 都府ハ年ヲ經ル漸ク久シク其ノ區域漸ク大ナルニ及ヒ終ニ一ノ國家ヲ爲スモノアリ其ノ最モ盛ナルヲ伊太利トス然レトモ此ノ如キノ類ハ其ノ數甚タ多カラス且ツ其ノ共和政ヲ以テ獨立セルモノト首政ヲ以テ政府ノ地位ヲ有シ其ノ近傍地方ヲ統轄シタルモノトヲ分タス凡ソ是ノ時ニ於テ組織シタル所ハ終ニ替廢ニ歸シ復タ今日ニ存スルモノナク或ハ前世記ノ間ニ隆興シタル諸大王國ノ爲ニ征服セラレ或ハ近世國家組織ノ變更ノ爲ニ其ノ政治上ノ主權ヲ奪ハレタリ而シテ此ノ變更ハ和蘭又ハ瑞西ノ如キ自由國ニ於テモ亦免ルコトヲ得ス實ニ現今世間一般ノ風潮ナリ夫ノ上古及ヒ中古ニ行ハレタル都府ト國家トノ混同ハ國家組織ノ主義ニ於テ復タ之ヲ許サス都府ハ政治上ニ於テ當ニ國家ニ服屬スヘキコトハ此ノ變更ヲ以テ之ヲ證スルニ足レリ之ヲ要スルニ國家政治ノ權利利益ハ之ヲ都府ノ權利利益ニ區別セサルヘカラサルハ方今立國ノ結果ナリ

(第五) 前世記ニ及ヒ專制政治ノ其ノ勢力ヲ得ルヤ歐洲諸國殊ニ佛國ノ都府ハ其ノ政權ヲ失ヒシノミナラス全ク其ノ獨立ヲモ失フニ至リタリ當時專政國家ノ其ノ合一ノ威力ヲ振フニ當リテ唯タ都府ヲシテ其ノ政權ニ服從セシムルヲ以テ足レリトセス更ニ進テ都府固有ノ權利ナル自治ノ權ト雖盡ク之ヲ奪ハントセリ而シテ彼ノ佛國ニ起リテ終ニ歐洲全土ヲ陷レタル革命ノ亂ハ愈々熱心ニ此ノ方向ヲ取レリ是ニ於テカ曩ニ中古ノ時自ラ國家ヲ組織セント欲シタル都府モ今ハ團體タルノ自由ヲモ保ツコト能ハス都府及ヒ町村ヲ認メテ國家ノ設置ト爲シ復タ怪マサルニ至レリ是ニ於テ舊來ノ町村公民權ハ新ニ興レル國民權ニ并吞セラレ僅ニ餘喘ヲ保チタル町村ノ獨立ハ今ハ一切ヲ總攬シ命令スル中央集權ノ爲メニ奪去ラレタリ之ヲ要スルニ都府ノ前時政治上ニ有シタル勢力ハ今ハ却テ縮退シテ振ハス皆抑壓ヲ被ム

ルノ極ニ達シタリ

(第六) 現今ノ世紀ニ至リ數多ノ變遷ヲ經ルノ後世運漸ク熟シテ國家ト町村トノ平均ヲ定メタルヲ見ル即チ町村ハ其ノ自個固有ノ區域内ニ在リテハ獨立ノ團體タリ其ノ政治上ノ範圍ニ在リテハ則チ國家ニ服屬スルヲ要ス此ノ進歩ハ主トシテ千八百八年學國ノ宰相「スタイン」ノ制定シタル都府制度ノ之カ基礎ヲ爲セシニ由レリ

第二款

町村權利的ノ性質

古來各國ニ於テ町村ノ經歷セル運命ノ跡ヲ原メレハ以テ能ク町村ノ眞性ヲ發見スルヲ得ヘシ此ノ眞性ハ則チ方今ノ國法ニ於テ漸次認許ヲ得タル所ナリ

(第一) 凡ソ其ノ國ノ版圖内ニ屬スル町村ハ皆必ス其ノ國憲ヲ遵守シテ相背反セス其ノ政治上ノ關係ニ就キテハ常ニ國權ニ服從セサルヘカラサルハ方今國家ノ組織ニ在リテ最モ切要トスル所ナリ方今ノ國家ハ彼ノ中古ノ免稅權ノ如ク其ノ版圖内ニ在リテ自個固有ノ政權ヲ有シ國憲ノ外ニ立チテ自ラ國家ト共同ナル權域ヲ有スルカ如キモノナルヲ許サス何トナレ

ハ國家ハ其ノ國民及ヒ各社會ノ政治上ニ係ル生活ヲ總括シ經理スルモノナレハナリ右ノ原則ヨリ生スル結果ニ由リ左ノ細目ヲ定ムルヲ得ヘシ

(甲) 新ニ町村ヲ組織ストルキハ必ス國家ノ認可ヲ得ルヲ要ス蓋シ町村ヲ組織スルハ其ノ公共ノ政務ニ屬ス則チ國家ハ其ノ身体ノ一部ヲ組織スルニ當リテ之ニ關與シ以テ全体ノ權利ト利益トヲ保護スヘキ權アレハナリ

(乙) 國家ハ其ノ法律ヲ以テ町村ノ制度ヲ定ムヘキ原則ヲ發シ且ツ時ノ需要ニ從ヒテ之ヲ變更スルノ權ヲ有ス而シテ此ノ權ヲ施行スルニハ他ノ私權上ノ件ニ對スルヨリモ更ニ寛大ナル範圍ヲ有ス

(丙) 國家ハ町村ニ對シテ後見權ヲ有スルヲ要セスト雖其ノ監督權ノ如キハ如何ノ場合タリトモ必ス之ヲ欠クヘカラス此ノ權アリテ然ル後始メテ國家ト町村トノ調和ヲ保チ町村ノ服從ヲ失ハス且ツ以テ其ノ腐敗ヲ防キ其ノ權利ノ妄用ヲ抑フルコトヲ得ヘシ

(丁) 國家ノ憲法ニ於テ町村ヲシテ國會代議士又ハ其ノ他重任ノ議員ヲ選舉セシメ又ハ町村ニ官吏ヲ置キテ國務ニ屬スル事件ヲ辨理セシムル等ノ如キ町村ノ組織ニ關シテ規定スル所アルモ是レ國身ノ一部タル町村ノ性質ニ對シテ當ニ失當ニ非サルノミナラス之ニ依リテ國家ト町村トノ脈絡ヲ貫通セシメ常ニ壅滯スルコトナク國家ハ町村ヨリ新鮮ノ養液ヲ吸收シ

再ヒ其ノ神氣ヲ以テ之ニ充塞スルヲ得

是ノ故ニ方今國土ヲ總テ之ヲ町村ニ分畫シ中古ノ際町村ノ範圍外タリシ私領地等ヲ擧ケテ盡ク町村ニ屬セシメタルハ實ニ適當ノ處置ト謂フヘシ

(第二)然レトモ町村ヲ以テ唯タ國家ノ設營スル所ト爲シ國身ノ一支部ニ止マルト爲スニ至リテハ是レ一ノ偏見ト謂ハサルヲ得ス抑、町村ノ沿革ニ由リテ之ヲ觀ルニ其ノ起立往々其ノ本國ヨリモ舊キモノアリ且ツ起立ノ因由ヲ察スレハ多クハ上ニ在ラスシテ下ニ在リ國家自ラ之ヲ創立セルニ非スシテ文化漸ク隆興スル地ニ於ケル民族ノ相聚集シタルト近傍土地所有者ノ漸ク結合シテ自ラ組合ヲ爲セルトニ由リテ成立シタルモノナリ蓋シ町村ノ職掌ハ國家ノ政務ニ在ラスシテ主トシテ文化ト經濟トニ在リ故ニ其ノ地位ハ一個人ト國家トノ間ニ在リ一家ノ生活ト公共ノ生活トノ間ニ在リ是ヲ以テ町村ハ其ノ地方ニ於ケル文化上及ヒ經濟上ノ關係ニ就キ一般ノ公益ト各個住民ノ私益トヲ管理スルヲ以テ本分トシ兼テ其ノ地方及ヒ住民ト國家トノ間ニ立テテ相互ノ關係ヲ紹介ス

夫レ町村ハ既ニ自個固有ノ職掌ト生活トヲ有スルトキハ是レ國家ト異ナル一己ノ身体ヲ有シ自個固有ノ權利及ヒ財產ト職務トヲ有スルモノナリ故ニ町村ハ此ノ範圍内ニ在リテ其ノ自由ヲ保チ自ラ其ノ事務ヲ處理シ得ヘキハ勿論ナリ後見權ハ被後見者ノ自ラ事ヲ治ムルニ

堪ユヘキ能力ナキトキニ當リテ始メテ之ヲ行フ理由ヲ生ス即チ被後見者ノ補助ヲ仰クアリテ然ル後始メテ後見者ノ權利アリ今町村ヲ組織スルニ於テ苟モ其ノ民籍ニ屬シ其ノ事務ヲ管理スル成丁ニ對シ各自ノ利害ト近接ノ關係ヲ有スル共同ノ事ヲ任意ニ處理シ得ヘキノ權利ヲ與ヘサラントスルヤ抑、又何ヲ以テ町村ハ國家ノ後見ヲ要スト爲スヤ夫ノ文化未タ開ケス或ハ人民未タ公共ノ事務ニ慣熟セス又ハ遊惰ニ流レ思想腐敗セルモノニ在リテハ國家ノ後見ヲ要スルコトアルヘシト雖苟モ町村ノ身心ニシテ其ノ常度ヲ失ハサレハ之ヲシテ獨立ヲ得セシムルハ一般ノ通規ナリ但タ其ノ獨立ハ固ヨリ制限ナキ能ハス何トナレハ町村ハ單獨固有ノ身體ニ非サルヲ以テ法律ト行政上ノ監督トニ由リテ其ノ制限ヲ受クヘキモノナレハナリ

(第三)中古士農工商ノ區別ハ今仍ホ人民各自ノ生活及ヒ職業ノ差異ニ於テ明白ニ遺存セリト雖近世ハ務メテ其ノ間ニ存スル差異ヲ除去シ或ハ市ト村トノ區別ヲ爲サル國アルニ至リタリ蓋シ村ニシテ已ニ市ノ文化ト風俗トヲ移植スルモノアリ市殊ニ小市ノ中ニハ唯タ其ノ古來歷史上ノ舊稱ニ由リ且ツ周圍ニ牆壁ヲ築ケルカ故ニ仍ホ市ノ名ヲ稱スルモ其ノ生活風俗ノ狀況ヨリ之ヲ言ヘハ村ニシテ可ナルモノナキニ非ス然レトモ之ヲ通觀スルトキハ市ト村トハ各種ノ關係ニ於テ自ラ殊異ノ性質ヲ有シ今ニ至ルマテ連綿トシテ猶ホ絶エサルナ

村ハ其ノ村民ノ耕作スル土地ト密接ノ關係ヲ有シ其ノ要務ハ地理氣候ヲ熟察シ之ヲ利用シテ漸ク廣ク開拓ヲ謀ルニ在リ而シテ文化ヲ開クノ利益モ亦之ヲ知ラサルニ非ス寺院アリテ專ラ訓戒ニ任シ小學校アリテ兒女ヲ教育ス然レトモ其ノ固有ノ目的ハ共同ノ森林牧場ヲ管理シ道路ヲ修築シ井泉ヲ蓄ヘ防火器ヲ設ケ村内ノ清潔及ヒ秩序ニ注意シ一般ノ財産ヲ保護スル等共同ノ經濟ヲ營ムニ在リ故ニ總テ便益ヲ謀リ結果ヲ收ムルヲ以テ其ノ主意トス是ヲ以テ常ニ其ノ地位ニ安ニスルヲ以テ足レリトシ高尚ナル學術技藝ノ疆域ニ進マンコトヲ冀望セス其ノ平生生活ノ種類ハ四方ニ通商シ百貨ヲ販賣スルノ業務ニ在ラスシテ一様不變ノ耕作ニ在リ

市ハ村ヨリ狭小ナル區域ニ於テ富裕且ツ高尚ナル生活ヲ營ミ其ノ漸ク進歩スルニ從ヒテ土地トノ關係ヲ解離シ各人身体ヲ以テ相團結スルニ至ル而シテ其ノ團結ハ村ニ比スレハ統一ニシテ強盛ナリ村ノ團結ハ組合ノ主義ニ適スト雖市ノ團結ハ純粹ナル法人ノ原則ニ合ス初メ市ノ漸ク隆興スルニ當リテヤ農業ハ漸ク郊外ニ驅逐セラレ市ニ在リテ其ノ繁盛ヲ致スヲ得ス獨リ其ノ遺留シテ盛昌ナルモノハ唯タ園藝ノ業アルノミ而シテ市區ノ中ニ在ル千百ノ職業ハ各個人民ノ之ヲ營ムリミナラス又集合シテ社會ヲ爲シ小商ハ其ノ貨物ヲ販賣シテ市

内外ノ需求ヲ補給シ大賈ハ此ニ居テ廣ク天下ニ通商シ學術技藝隆興シテ民ノ生活ヲ善美ニシ高等ノ學校モ亦此ニ營築シ政府ノ高麗大衙モ亦此ニ造設ス凡ソ此等ハ皆市民ノ生活ト市ノ性質トヲ定ムル原素ナリ市ノ目的ハ經濟ヲ後ニシテ文化ヲ先ニシ之ヲ村ニ比スレハ國家ニ接スルコト稍、近密トス然レトモ他ノ關係ニ於テハ市村兩ナカラ相同キ所アリ即チ國家ニ對レテ其ノ當ニ有スヘキ獨立ト其ノ境内ニ有スル立法權ト其ノ機關ノ有スル自治權トヲ以テ表示スル所ノ自由是ナリ

第三款

町村ノ組織

(第一) 町村ノ生活ハ簡單ニシテ天然ニ近ク且ツ各地ニ様ニシテ其ノ風又質朴ナリ故ニ之カ組織ヲ定ムヘキ元法モ亦此ノ性質ニ違反セザラシコトヲ要ス凡ソ町村ノ組織ヲ觀ルニ其健全ナル治安ノ時ニ於テモ常ニ庶民政治ノ狀アル所以ハ則チ是ノ故ナリ古ヘ獨逸ノ町村中其ノ自由所有權ヲ有スル各所ニ於テハ會議ヲ要スルコトアル毎ニ自由ノ所有權ヲ有セル地主等相集リ「デカーション」「ドルフグラーフ」「ハウエル」「マイステル」「シニートル」等ノ如キ各其ノ地

方ニ隨ヒテ稱呼ヲ異ニスルニ拘ラス皆町村長ヲ會長トシ以テ其ノ議事ヲ決シタリ又貴族ノ所領ニ係ル町村ニ於テモ當時ノ政廳ノ制ニ倣ヒ所領附屬ノ地主等相集會シ領主又ハ「マイエル」又ハ「ケルレル」ト稱スル代理人ヲ以テ議長トシタリ此ノ町村人民ノ集會ト町村長ノ設トハ町村ニ在リテ欠クヘカラサルノ機關ニシテ又其ノ需求ヲ充スニ足ルヘキ組織ナルコトハ今日ニ於テモ亦然リトスル所ナリ然ルニ前世紀ニ於テ此ノ組織ヲ解廢シタルモノハ是レ其ノ自然ノ需用ニ出テタルモノニ非スシテ凡テ自由ノ生活ヲ滅絶セントシタル當時ノ制服主義ニ偏傾シタル結果ニシテ此ノ害ヤ終ニ町村ノ自由ヲ壞廢シ全國家ノ分離ト革命トヲ誘發セシメタル禍源ト爲レリ但シ現今ニ於テ町村委員ヲ設ケ以テ町村長ニ副セシムルハ開明ノ需求ニ應シタル新組織ニシテ町村ノ機關ノ自然ニ沿革セル結果ナルノミ

(第二) 町村ノ集會ハ專ラ一定ノ土地ニ居住スル者ヲ以テ組織シ即チ專ラ町村内ニ在リテ土地ヲ所有スル者ノミヲシテ町村住民タルノ權利ヲ施行セシムルハ是レ甚タ當然ノ事ナリトス現今歐洲諸國中ニ於テ此ノ制ノ行ハルハ獨國及英國ヲ以テ最トス而シテ其ノ一半ハ古來ノ因襲ニ出テ一半ハ後來ノ酌定ニ成レルモノナリ其ノ酌定ノ制ニ就キテ殊ニ著シキ者ハ工商ノ獨立シテ其ノ業ヲ營ム者又ハ土地小作人(無期及ヒ長期ノ小作)又ハ製造所ノ役夫日雇人等ヲ町村住民ノ籍ニ加ヘタルコト是レナリ

町村ニ在リテ農ヲ以テ住民ノ根本ト爲スハ固ヨリ至當ナリト雖現今營業及ヒ文化ノ隆盛ナル時ニ當リテ尙ホ舊套ヲ墨守シ特ニ農ノ一社會ヲ以テ町村ヲ限局スルハ亦行ハル可カラサル所ナリ

(第三) 佛國町村ノ制度ハ正ニ上ニ言ヘル方向ノ反對ニ於テ進ミタリ即チ町村ニ於ケル住民權ハ全ク之レヲ土地所有ノ權ヨリ分離シテ之レヲ國民權ノ附屬權ト爲シ町村屬民ヲレテ更ニ獨立ノ集會權ヲ有セサラシメタリ是ニ至リテ町村并ニ市ハ唯タ地方ニ附屬シタル法人タルニ止マリ町村組合ノ精神ハ全ク消滅ニ屬シタリ故ニ是ノ如キ町村ノ制度ハ適ニ町村ヲ破壞離析シタルモノニシテ一ノ獨立團體タル組織ヲ爲スモノト謂フヲ得サルナリ

(第四) 又普國ニ於テ行ハレタル町村組織ノ趣意ハ舊來ノ地主町村ヲ變シテ住民町村ト爲サントスルニ在リ町村ノ會議并ニ事務ニ參與スルノ權ヲ以テ專ラ居住地ニ繫屬シ永ク一定ノ土地ト相聯絡セシメントスルニ在リ其ノ他尙ホ議會ヲ參與權ヲ有スヘキ要件トシテ年齡税額一身ノ獨立等ノ事ヲ定ムト雖是レ蓋シ第二段ノ制限ニ屬スルノミ又此ノ如キ住民町村ハ多少庶民政治ノ精神ヲ以テ之ヲ組織シ得ヘシト雖若シ其ノ住民ヲシテ總テ平等ニ議權ヲ有セシメ家長ト家屬ト地主ト耕夫ト工業主ト其ノ職人ト製造所主ト其ノ役夫トノ間ニ於テ更

ニ區別スル所ナク或ハ町村盛衰ノ利害ニ感スル所淺小ニシテ且ツ永久ニ及ホサス或ハ町村課税ノ輕重ニ對シテモ痛痒相關セサル者ニ至ルマテ悉ク義權ヲ有スル如キアラハ町村及ヒ其ノ家主ハ甚シキ危害ヲ受クルニ至ラントス而シテ是等ノ危害ハ政府其ノ監督ヲ嚴ニセザレハ之ヲ避ケシムルニ路ナカルヘシ之ヲ要スルニ町村住民チシテ均シク議事ノ自由ヲ有セシムルハ誠ニ希望スヘキ所ナリト雖亦議權所有者ヲ制限シテ其ノ漫然際涯ナキニ至ラサラシコトヲ要ス

(第五) 瑞西國并ニ南方獨逸ノ多邦ニ於テハ町村ノ制度ヲ以テ一身上ノ權ニ屬スルモノアリ此ノ制度ハ町村屬民タルノ權利ヲ土地所有又ハ居住ノ要件ニ連結シタル古來ノ土地主義ヲ變シテ身体上ノ權利ニ歸シタルモノナリ此ノ制ハ其ノ町村ニ屬スル人民ニシテ貧困者アレハ組合全体ニ於テ之レカ給育ヲ負擔シ又新ニ町村ノ民籍ヲ加入セシト欲スル者アレハ其ノ共同財産及ヒ民籍加入ノ爲ニ一定ノ金額ヲ出シテ此ノ權利ヲ買ハシムルヲ法トナセリ故ニ其ノ町村民ノ子孫ニ係ル者ハ土地ヲ所有スルト否トニ關セズ其ノ町村屬民權ヲ以テ一身ニ附屬シタル世襲ノ權利ト爲セリ是ニ於テ町村ハ畧一大家族ノ如ク子孫相續シテ連綿生活スルノ狀ヲ爲シ人民互ニ給育ノ繩索ヲ以テ連結セシレ縱令ヒ各人生活ノ爲ニ他郷ニ散居スルモ此ノ連結ハ固クシテ解散スルヲ許サス故ニ町村屬民權ハ子孫相傳ノ遺物ト成リ是ヲ以テ屬民交互ノ利益ヲ連結スルノミナラス血統上ノ相續ト自家尊崇ノ妙訣トニ由リ遂ニ數百

世ニ亘リテ之レヲ繼續スルヲ自己ノ榮譽ト爲スノ精神ヲ發セシメタリ是ノ故ニ此ノ制度ヲ奉スル人民ハ町村屬民權ノ意義ニ於テ兩種ノ感想ヲ有シ其ノ現住スル町村ニ對シテ住民權ヲ有スル者ハ專ラ土地ノ義ニ基キ其ノ血統ニ由リテ屬民權ヲ有スル者ハ專ラ一身上ノ義ニ基ツケリ今若シ其ノ愛郷心ノ淺深ニ就キテ之ヲ論スルトキハ其ノ一身上ノ義ニ基クモノハ却テ土地ノ義ニ基クモノヨリモ較々其ノ深キヲ覺ユヘシ然レトモ此ノ一身上ノ義ニ基ク制度ニシテ更ニ土地及ヒ居住ニ關係スル所ナク其ノ權利ヲ以テ專ラ血統ニ歸スルトキハ町村組織ノ原來一定地方ニ屬スヘキ自然ノ意義ヲ失フヘシ且ツ舊來屬民權ヲ有セル家族ノ漸ク減少シ亡絶シ新入ノ住民漸ク多キニ及ハ、町村ノ利害ヲ計ルカ爲ニ雙方終ニ爭論ヲ生スルニ至ラシ抑々町村ハ一定ノ地方ニ住居スル人民ノ組織ニシテ其ノ人民ノ本務ハ其ノ地方ノ利益ヲ謀ルニ在リ故ニ久シク此ニ移住セル人民ハ其ノ利害ノ計議ニ參スル能ハサルヲ不當ナリトシ彼ノ議權アル舊家族ノ人民ヲ目シテ擅恣ナル特權者ト爲シ之ヲ羨ミ之ヲ嫉ムノ念慮ヲ生スヘシ而シテ又舊家族ノ權利者ハ狹隘固陋私欲驕慢ノ心ヲ生シ猶ホ藤葛ノ繫纏シテ離レサルカコトク復々此ノ魔境ヲ脫離スルノ期無キニ至ルヘシ

近世人民生業ノ變更益々多クシテ其ノ移轉定リナシ故ニ町村ニ於ケル人民ノ變更モ亦必ス

多カラサルヲ得ス舊民去リテ新民來リ人生一二代ヲ經ルノ中ニハ新民全ク舊民ニ代ルカ否
 ラサレハ新民ノ數舊民ニ超ユルニ至ラン故ニ血統屬民權ノ主義ヲ永遠ニ確守スルハ頗ル難
 クシテ竟ニ居住屬民權ノ主義ニ換ヘサルヲ得サルコトハ亦避クヘカラサルノ數ナリ

(第六) 近世ノ町村法ニ於テハ多ク身体上ニ屬スル屬民權ヲ以テ總テ町村屬民タルヲ得ヘキ
 資格アル者ニ與フルコト、爲シ及ヒ町村民ノ子孫ハ其ノ資格ノ有無ヲ問ハス相統權ニ由リ
 テ之レヲ得ルモノト爲シ又土地ニ屬スル屬民權ニ就テハ所有財產職業住居ニ由リテ其ノ町
 村ト永續ノ關係ヲ有スルモノハ皆總テ屬民權ヲ有シ若クハ屬民タルヘキ義務ヲ有スルコト
 ト爲セリ

(第七) 苟モ完全ナル町村屬民權ヲ有スル者ハ町村會ニ於テ共ニ同一ノ權利ヲ有スヘキハ通
 常一定ノ規程ニシテ其ノ多數ノ決議ヲ以テ人民ノ意思ヲ代表スルハ勿論ナリ然レトモ此ノ
 規則モ亦敢テ絶對的ノモノト謂フヲ得ス例セハ貴族ノ舊所領地タリシ町村ニ於テ舊領主一
 個ノ村民トシテ其ノ舊時ノ臣民タリシ農民ト共ニ議會ニ立テ又ハ數百ノ役夫ヲ使役スル製
 造所主ノ此ノ地方ニ於テ之レト同シク一町村ノ居住民タル等ノ場合ノ如キ其ノ財產及ヒ位
 望ニ於テ大ニ他ノ集民ニ超絶スル者アルトキハ此ノ不平均ノ關係ニ對シ己ヲ得スシテ議
 決權上ノ差異ヲ設ケサルコトヲ得ス而シテ此ノ差異ヲ設ケルノ必要ナルハ殊ニ町村費ノ收

入支出ヲ決スルノ時ニ在リ是レ衆民ヲシテ安ニ一二ノ富者ノミニ損害ヲ與ヘテ恣ニ利己ノ
 決議ヲ爲サシメサラシテ欲スルニ在リ古日耳曼ノ町村法ハ此ノ如キ財產及ヒ位望上ノ差異
 ノ爲ニ其ノ町村ノ憲法トスヘキ定則ヲ設クル完善ナル精神ヲ有シ貴族ヲシテ町村會ノ決議
 及ヒ施行ニ於テ他ノ衆民ニ超エタル勢力ヲ有セシメタリシカ現今ノ立法ニ於テモ亦宜シク
 取リテ以テ法トスヘキ所ナリ

(第八) 次ニ町村ノ制ニ在テ必要ナル機關ハ町村長是ナリ町村長ハ町村内一定ノ事務ヲ治メ
 テ其ノ利益ヲ謀リ及ヒ町村ニ關スル百般ノ事務ヲ總理ス而シテ町村長ヲ任スルノ制度ハ各
 國相異ナレトモ其ノ性質及ヒ國家ニ對スル關係ヨリシテ之レヲ言フトキハ其ノ議會又ハ總
 代ニ於テ之ヲ選任スルヲ以テ至當ナリトス何トナレハ町村ナルモノハ其ノ性質ニ於テ元ト
 庶民共治ノ組織ニ屬スルヲ以テ自ラ其ノ長ヲ選任スルトキハ財產經營ノ獨立即チ其ノ固有
 ノ職分ヲ表示シ及ヒ執行スルノ實アレハナリ而シテ佛國ノ主義ハ全ク是ト反シ政府ニ於テ
 町村長(マイル)ト稱ス)ヲ選ミ且ツ總テ政府ノ權下ニ屬セシムルノ制度ナリ今諸制度ニ就
 キテ最モ適當ナルモノヲ取ラハ人民ヲシテ町村長ヲ選マシメ政府之レヲ認可スルヨリ善キ
 ハ莫シ政府既ニ其ノ人ニ對シテ異議ナキトキハ初メテ町村長ノ職ヲ執リ初メテ國家ニ對シ
 町村ヲ代表スルコトヲ得ヘシ

(第九) 此ノ他町村ニ於テハ町村參事員又ハ町村總代ナル合議体ノ機關ヲ置キ町村長ヲ助ケテ事務ヲ經理シ且ツ町村長ヲ監視セシムルヲ常トス此ノ合議体ノ機關ハ町村ノ利益ヲ謀ラシムル爲ニ通常町村人民自ラ其ノ中ヨリ選舉シテ以テ人民ノ委員トスル所ニシテ頗ル町村固有ノ組織ニ適當スルモノナリ但シ此ノ被選舉權ニ就キテハ或ハ制限ヲ設クルノ國アリ或ハ制限ヲ設ケスシテ町村人民ヲシテ皆一樣ニ被選舉權ヲ有セシムルノ國アリ

第四款

市ノ組織

(第一) 市ハ衆民群集ノ地ナリ其ノ生活タル種々多様ニシテ而シテ又相結合ス其ノ行政ハ市民ノ營業及ヒ文化ノ關係ニ由リテ自ラ町村ト異ナルヲ要シ且ツ其ノ人民中教育職業財産ノ關係ニ於テ各々互ニ大差アルニ注意スルヲ要ス但シ小市ハ往々町村ト大ニ相等シキ所アリテ單純ナル庶民制ノ憲法ニ據リテ之ヲ治ムルヲ得ヘシト雖夫ノ大市ノ如キ純然タル市ノ性質ヲ具フルモノニ至リテハ複雑ナル法律ト稍々高尚ナル教育トヲ必要トス蓋シ市參事會(市長市參事員)ハ今日ノ法律ノ精神ニ在テハ市務ニ從事スル長吏即チ市區ノ官吏ニシテ昔

時嘗テ市ヲ以テ一ノ邦國ト爲シタル時ノ如ク國家ノ官吏ニ非サルナリ又市ノ官吏ハ町村ニ比スレハ實ニ高尚ナル事務ノ才識ヲ要シ又教育アルヲ要ス

市ノ公民及ヒ住民ハ其ノ數夥多ニシテ且ツ各人皆其ノ業務ニ營々トシ自ラ繁多ナル市ノ事務ニ當ルノ暇アラス故ニ市總代市會等ノ代理者ヲ置キ市參事會ト市民トノ間ニ在リテ紹介ヲナサシムルノ必要ヲ生ス是ヲ以テ市制ノ組織ハ元ト庶民制ニ成ルト雖又代議ノ制ヲ設ケテ以テ貴族制ヲ雜ヘタリ凡ソ市制ハ古羅馬ノ時ニ於テハ全ク貴族制ニ成リ中古ニ於テハ大半貴族制ヲ用ヒ現今ハ則チ庶民制ヲ以テ基礎トシ之ニ加フルニ此ノ如キ市ノ性質ニ適當スヘキ代議制ヲ以テシ兩元素ヲ調和セリ

市民ハ通常多數ニシテ繁類ナルヲ以テ財産ニ由リテ之ヲ等級ニ別チ又ハ居住ノ地ニ從ヒテ之ヲ區畫ニ別チ又ハ職業ニ從ヒテ之ヲ組合ニ別ツコト少カラス故ニ市民公權ノ性質ハ亦其ノ組織ヲシテ各様ナラシム

(第二) 之ヲ中古ノ時世ニ徵スルニ凡ソ市ノ繁盛ヲ致セル者ハ王侯又ハ僧徒ノ管領ヲ受ケス又ハ其ノ派遣スル所ノ太守ノ管ヲ檢受ケスシテ市民自ラ議會ヲ組織シ此ニ於テ市長ヲ選任シ之ニ市ノ統率ヲ委ネタル者ニ在テノミ之ヲ見ル此等ノ市制ハ外ヨリ制御ヲ受ケスシテ全ク市ノ自治タリシモノナリ

佛國ニ於テハ此ノ如キ自由ノ制度ハ全ク專政君主ノ爲ニ剪滅セラレ其ノ後革命ノ時ニ至リテモ猶ホ政權ノ集合ヲ擴張シタルニ過キサリシヲ以テ遂ニ此ノ自由ヲ回復スルニ至ラス故ニ佛國ノ市ニハ市長ノ設アリト雖亦猶ホ郡長ノ小ナル者ニ異ナラス固ヨリ政府ノ選任ニ出テ、國權ヲ代表スル一機關タルニ過キス故ニ町村ノ官吏ニ非スシテ町村ニ在ル國家ノ官吏ナリ是ヲ以テ町村ノ管理ハ町村ニ於ケル政令ニ變シタリ但々市會ノ設アリテ市ノ財産ノ管理上ニ於テ其ノ意見ヲ陳述シ之ヲ施行スルヲ得以テ僅ニ市ノ自治ヲ爲スノミ

之ニ反シテ獨逸瑞西英蘭北米合衆國即チ殊ニ日耳曼民族ノ諸國ニ在テハ今日ニ至ルマテ猶ホ古來獨立ノ市廳ヲ存置シ又ハ市廳ノ制ヲ再興シタルモノ少カラス獨逸ノ各市ノ如キハ前世紀ノ時ニ在リテハ其ノ未タ全ク君主ノ羈絆ヲ受ケサルモノト雖亦衰微ニシテ振ハス市會ハ一ノ小數ナル共議員ノ狀ニ變シ其ノ市民ト情意通セス闕員アレハ議員自ラ之ヲ選補シテ復々人民ノ選舉ニ依ラス議員又自ラ己ヲ制限シ狹隘ナル精神ヲ以テ都府ノ利益ヲ謀リ遂ニ内部ノ微弱ニ由リテ國權ノ奴隸トナルニ至レリ國權ノ制抑ヲ受クルコト此ニ至レル市民ニシテ豈ニ能ク公義ヲ思ヒ公益ヲ謀ルヲ得ンヤ

千八百八年學國ニ於テ新ニ市制ヲ發布セリ當時國權萎靡ノ際ニ於テ大ニ將來民心ヲ鼓舞振興シテ國ノ信用ヲ回復スヘキ基ヲ立テ能ク獨逸全國ニ對シテ改良ノ方針ヲ定メ人民ト市廳トノ氣脈ヲ開通シ是ニ由リテ市ノ獨立ト榮譽トヲ喚起シ市ヲシテ自己ノ勞力ニ依リテ以テ其ノ公益安寧ヲ謀ラント欲スルノ精神ヲ發セシメタリ是ヨリノ後獨逸諸國爭フテ之ニ倣ヒ以テ市ノ改良ヲ誘導セリ是ニ於テ市民總代又ハ全市民直接ニ市廳ノ吏員ヲ選舉スルノ古制ニ復セリ爾後千八百二十年并ニ千八百四十八年ノ動亂ハ適々市制ノ發達ヲ助ケ遂ニ千八百四十八年獨逸帝國憲法ニ於テ下ノ如キ一般ノ原則ヲ建テタリ曰ク各市町村ハ其ノ制度ノ原則ニ於テ第一ニ其ノ長及ヒ代議員ヲ選ミ第二ニ法律ニ據テ定メラレタル國家ノ監督ヲ受ケ以テ自由ニ其ノ事務并ニ地方警察ノ管理ヲ爲スコトヲ得ヘント其ノ後奧國ニ於テ(千八百四十九年三月十七日)及ヒ學國ニ於テ(千八百五十年三月十一日)右ノ原則ヲ實行シタリシカ後々兩國反動ノ時ニ及ヒテ再ヒ之ヲ變改シタリ

(第三) 中古時代殊ニ「ロンバルダイ」ノ時ニ於ケル市制ハ或ハ「コンソル」ト稱スル若干ノ市長ヲ置キ或ハ「ボテスタ」ト稱スル一名ノ市長ヲ置キ全市ノ統率權ヲ舉ケテ威權盛大ナル一ノ市廳ニ委ネタリ此ノ制ヤ元ト是レ市ノ國家ニ對スル關係ニ由リテ來レル所ニシテ當時國帝自ラ市長ヲ任命シ此ノ威望ト勢力トニ藉リテ市民ヲ制服セント欲シ或ハ市民ノ選舉ニ出ツル市長ト雖亦通例市ニ對スル國家ノ主權ヲ代表スルヲ以テ其ノ職務トナシタルニ出テタリ抑々市ノ性質タル直ニ之レヲ以テ國家トナスヘキモノニ非サントモ姑ク現今國家ノ制度ヲ

以テ之ヲ論スルトキハ市廳吏員又ハ市會ノ中ニ就テ市長英ノ「メヂョール」ノ如キ獨任制ノ者ヲ選ミ以テ市政ノ統一ヲ維持スヘキ機關及ヒ代表者タラシムルヲ要スヘシ又市ノ不羈ヲ保ツカ爲メニ市長ハ純ラ市ノ官吏タルヘクシテ國家ノ官吏タルヘカラス常ニ市ノ選舉ニ由リ有シタル信憑ヲ其身ニ荷フヲ以テ主義トナスヘシ然リト雖又一方ヨリ之ヲ言ヘハ政府ニ於テ市長ノ選任上ニ就キテ一定ノ勢力ヲ有シ其ノ選舉ヲ認可シ又ハ市ヨリ選舉シタル數員中ニ就キテ其ノ一人ヲ選ムカ如キハ固ヨリ此ノ原則ニ妨ナキナリ此ノ如ク市長ノ選任ニ就キテ政府ノ之レニ干涉スル例規ハ獨逸諸國并ニ和蘭白耳義ニ於テ之ヲ見ル所トス蓋シ政府干涉ノ權利ヲ有スルハ市ヲシテ自個ノ事務ノ外ニ於テ國家ノ行政ニ任スル義務ヲ帶ハシムルノ國ニ在リテハ殊ニ其ノ理由アリト謂フヘシ

(第四)市ノ發達漸ク盛ニシテ事務漸ク繁ク市長獨リ之ヲ處辨スルニ堪ヘサルニ及ヒ更ニ吏員ヲ増設スルノ必要ヲ見ルニ至レリ中古ノ時ニ當リテ伊太利ノ市ニ設ケタル「サビエント」獨逸ノ市ニ設ケタル「ウヰッヂケン」ハ是等ノ需求ニ應シテ設ケタル者ノ如シ又爾後殆ント何レノ市ニ於テモ置カサル所ナキカ如キ市書記又ハ市會書記ト稱スル者ノ如キハ固ヨリ此ノ原因ニ出テタルモノナリ昔時ハ是等吏員ノ外ニ在リテ學術及ヒ法律ノ教育ヲ受ケタル者稀ナルヲ以テ此ノ吏員輩獨リ記録ノ秘術ト文書ノ妙技トヲ專ニシタリ今日ニ至リテハ復タ

是ノ如クナル能ハスト雖市政ヲ經理シ舊例ニ遵行スルハ猶ホ大半其ノ手ニ成レリ其ノ他英國ニ於ケル典簿獨逸及ヒ瑞西ノ市ニ於ケル法律顧問又ハ法律陪席員ノ如キモ皆是ノ類ナリ又今代ハ學術上又ハ技藝上ノ教育ヲ受ケタル吏員ヲ置キ之レヲシテ各々特別ノ市務ヲ司ラシメリ

(第五)市ニ於ケル市長ノ地位ハ猶ホ國ニ於ケル政府ノ地位ニ同シ市長ハ市ニ於ケル公共ノ事務ヲ主管シ且ツ日常及ヒ臨時ノ事務ヲ施行ス但シ政府ニ在リテ政令ノ主權(インペーリウム)ニ屬スルモノハ市ニ在テハ行政ト看護トニ過キス即チ議按及ヒ規則ヲ起草シ提出シ總代又ハ公民ノ集會ヲ主理シ市ノ權限及ヒ其ノ議會決議ノ範圍内ニ於テ政府ヨリ發布セラレタル法律ヲ施行シ市ノ財産ヲ管理シ其ノ教育ニ關スル營造物及ヒ窮民救濟ノ事ヲ看護シ政府裁判所若クハ第三者ニ對シテ其ノ市ノ代表ヲ爲ス等是レ市ノ常務ナリ又往々市長及ヒ町村ヲシテ其ノ區内ノ後見事務監督ノ任ニ當ラシムルノ國アリ是レ事理ニ於テ最モ適當ナルノ制ト謂フヘシ何トナレハ市及ヒ町村長ハ常ニ市民ニ直接スルヲ以テ最モ此ノ任ニ當ルニ適シ隨テ後見事務ノ利益タルヘキト且ツ其ノ行政官ナルヲ以テ之ヲ裁判所ニ委任スルニ比スレハ後見事務ノ必要ヲ鑒察シテ之ヲ施爲スルニ於テ最モ便益アルヘキヲ以テナリ又警察事務ノ範圍ニ在リテ政府ト市トノ權限及ヒ需求ノ互ニ相交渉スルモノアリ政府ノ警察事

務ノ市及ヒ町村ニ交渉スヘキ種類ヲ言ハ彼ノ國家ノ法律ニ對セル犯罪者ノ追捕國家ノ安寧幸福ニ對スル看護ノ事務等ニシテ其ノ區域内ニ之ヲ行ハサルヘカラス而シテ市ハ又其ノ區域内ニ於テ國家ニ對シテ間接ノ交渉ヲ有スル公共ノ秩序及ヒ安寧幸福ヲ看護スヘキ自個ノ需求ヲ有セリ各國中或ハ市及ヒ町村警察ノ事務ヲ兩種ニ區別シ其ノ國家ニ屬スルモノハ特ニ政府ノ官吏ヲ置キテ之ヲ行ハシメ其ノ市及ヒ町村ニ屬スルモノハ之ヲ市及ヒ町村ノ施行ニ委任スルモノアリ然レトモ多クハ此ノ兩種ヲ併セテ市長ニ依托シ而シテ其ノ國家ノ警察事務ニ就キテハ市長ヲシテ國家警察權ノ統御ニ屬セシムルノ簡便ナルニ從ヘリ但シ各市ノ中其ノ國家ニ在テ切要ノ地位ヲ有スルモノ即チ首府及ヒ政府所在ノ都府ノ如キハ警察權ヲ市廳ニ委任セシメテ政府ニ於テ特ニ警察廳署ヲ設クルノ必要アリ又國家ノ市吏員ヲ利用シテ其ノ區域内ノ國稅ヲ徵收セシムルカ如キハ是レ當然ノ事ニシテ更ニ疑惑スヘキ所ニ非ラサルナリ

(第六) 市長ハ市制ノ冠冕ニシテ其ノ職業ノ煩雜多端ナルコト復ニ町村長ノ比ニ非ス而シテ市民ハ則チ市制ノ根幹ニシテ其ノ權利ノ繁ル所モ亦隨テ多端ナリトス蓋シ市民ノ組織ハ市内ニ住居スル各社會ノ人民ノ和合團結スルニ由ル所ニシテ中古以來市ノ組織漸々ニシテ成立シ時ヲ經ルノ久シキ人民益々共同心ヲ養成シ竟ニ相團結スルニ至レル次第ハ之ヲ歴史ニ

觀テ見ルヘシ但シ凡テ物體ノ合一スルハ其ノ各種ノ分子ノ一旦溶解シテ然ル後チ互ニ相結合スルヲ要セス故ニ一ノ機體ヲ造ルニモ其ノ全体ヲ溶液トシ模型ニ注入シテ以テ之ヲ鑄造センヨリハ寧ろ其ノ各種ノ分子ノ性質ニ從ヒテ先ツ之ヲ分析シ然ル後之チ一個ノ形体ニ結合スルノ堅牢ナルニ若カサルナリ殊ニ大市ノ如キ其ノ各區部毎ニ獨立固有ノ關係ヲ有スルモノニ在テハ殊ニ此ノ結合合法ニ依ルヲ善トス昔時都府ノ漸ク隆盛ヲ致セル歴史ヲ觀ルトキハ屢々此ノ類ノ例證ヲ見ルヘシ現時ノ專ラ慣習ニ依リテ組成シタル市制ノ宜ク模範トスヘキ所ナリ今日ノ市ハ之ヲ昔時ノ市ニ比スレハ學藝技術及ヒ商工社會ノ生産其ノ他一般ノ文化ヲ勸奨シテ之ヲ發達セシメタル効アレトモ又一方ヨリ之ヲ察スレハ大市ノ地位國身ノ一支節タルモノニ於テ社會ノ惡弊ヲ醸生シ増進シ政治上ノ騷擾ヲ致スヘキ諸原因ヲ集聚シテ之ヲ熱熾スルヲ以テ市ノ身体先ツ自ラ燒熱シ遂ニ此ノ毒ヲ播キテ全國家ニ及ボシ普ク病熱ニ困マシムルニ至ルノ弊アリ是ノ如キ害毒ヲ全消スルハ固ヨリ市ノ制度ノ能スヘキ所ニ非スト雖若シ制度ニシテ其ノ宜キヲ得ハ亦能ク是等ノ害毒ヲ薄クスルニ足ルヘシ且ツ市民ノ德義ト良心トヲ養成セハ又竟ニ此ニ頼リテ害毒ヲ芟鋤スルノ功ヲ見ルヲ得ントス夫レ市民ノ大半ハ國家ノ公益ヲ念フヨリハ市及ヒ市内營造物ノ安全盛昌ヲ謀ルカ爲ニ直接ノ熱望ヲ有スルヲ常トシ而シテ又國家ノ需求ニ應シテ供給ノ路ヲ謀ルヨリハ市ノ爲ニ其ノ必要ニ應

スヘキ方法ヲ講スルニ慣熟スルモノトス蓋シ市民ヲシテ其ノ公共ノ事務ニ與ラシムルトキハ其ノ共同心ヲ獎勵シ公事ノ爲ニ時間ト勞力ト財産トヲ供費シテ敢テ吝マス自ラ錯雜ナル要務ヲ執ルニ慣レ終ニハ更ニ範圍ノ廣大ナル政府ノ事務ニ對シテ其ノ敏達ナル材能ヲ效スコトヲ得ヘシ故ニ市民ノ共有財産ヲ管理スルニ敏達ナルヘキ材能ヲ有シ秩序整然トシテ觀ルヘキアルモノハ國家ノ爲ニモ亦常ニ鞏固ナル柱礎タルヘキモノトス

市ノ住民ノ職業ハ町村民ノ概シテ農工ヲ業トスルニ同シカラス故ニ各國中市民權ヲ定ムルニ專ラ身分上及ヒ社會上ノ關係ニ依リテ土地所有ノ關係ニ依ラサルモノ多ク立制ノ當初ヨリシテ然ルモノアリ或ハ中コロヨリシテ之ニ改メタルモノアリ然レトモ亦土地ノ所有若クハ家屋ノ所有ニ依リテ之ヲ定メタルノ國ナキニアラス蓋シ家屋所有ノ關係ハ市民ノ組織ヲ定ムルニ必要ナルモノアリ何トナレハ苟モ市内ニ家屋ヲ有スレハ其ノ市ノ繁榮ト諸設備ノ完備トノ爲ニ永遠ナル思望ヲ屬セサルモノナク且ツ家屋所有者ハ都府住民ノ中ニ於テ重要確固ナル社會ニ屬スレハナリ故ニ若シ市民權ヲシテ家屋ノ所有ト關係セサラシメ市内ニ多數ノ家屋所有者アルモ總テ市民權ヲ有セスシテ他ノ家屋ヲ有セサル貧困市民ニ壓倒セラル、如キコトアラハ是レ獨リ家屋所有者ノ正當ノ權利ヲ奪フノミナラス併セテ都府ノ利益ヲ害スルモノナリ然リト雖家屋所有主ノ外ハ市民ノ權利ヲ有セシムヘキ社會ナシト謂フニア

ラス英國法ハ預メ此ノ類ノ社會ニ注意シ市民權ヲ定ムルニ土地所有ヲ要件トシテ確守スルノ外猶ホ之ヲ擴張シテ房室ヲ貸シ及ヒ倉庫店舖ヲ貸ス者モ皆市民權ヲ有スルコト、爲セリ是レ獨逸法律ノ現有主義ニ出テタルモノナリ現有主義トハ現ニ物件ニ就キテ有スル所ノ管理ノ關係ヲ現有權トシテ承認シ保護シタルモノニシテ羅馬法ノ旨義ニ比スレハ大ニ其ノ當ヲ得タリトス巴華里又ハ埃斯太利ニ於テハ家屋所有ノ外有稅營業ヲ加ヘテ商工ヲ市民中ニ入レタリ然レトモ官吏學者技術家資本家ノ家屋ヲ有セス營業ヲ爲サ、ル者ハ市内ニ永住シ市ノ公共ノ事務ニ於テ自ラ利害ノ關係ヲ有スルモノモ皆之ヲ市民ノ外ト爲セリ是レ正ニ市内住民ノ上流ニ居リ才識ニ富ミ位望ヲ有スル人民ヲ推シテ盡ク市民權ノ域外ニ出セルモノニシテ市ノ大不利ト謂ハサルヘカラス

獨逸諸國及ヒ瑞西ノ市ニ於テ或ハ古來ノ舊習ニ依リ營業組合ヲ以テ一ノ團體トナシ且ツ市民ノ一部トシテ之ヲ保存スルモノアリ然レトモ其ノ他ノ市ハ大半營業上ノ權利ノ變更ト國憲ノ改正トノ爲ニ此ノ營業組合ヲ解散シタリ

學國ノ市制ハ重ヲ住所ニ置キ苟モ學漏士國民ニシテ一市内ニ住居シ殊ニ獨立權ヲ有スル者即チ二十五歳ニ至リ自ラ一家ヲ營ム者(住居ヲ有シ又ハ二人以上ノ徒弟ト共ニ營業ヲ爲シ又ハ等級所得稅ヲ納メ又ハ一ターレル以上ノ直稅ヲ納ムル者)ハ法律上市民タルノ權ヲ生

ス此ノ住民市制ノ利益ハ總テ市民中獨立ニシテ財產アル社會ヲ包括スルニアリ
 和蘭及ヒ白耳義ノ市制モ亦稍々同様ナル制ヲ取レリ苟モ國民權ヲ有スル者ハ皆直ニ市民權
 ヲ有シ更ニ區別ヲ其ノ間ニ設ケス唯タ市民ノ選舉權ニ附スルニ納税ノ要件ヲ以テシ其ノ金
 額ハ舊制ヨリ多キノミ而シテ佛國ノ如キハ夙ニ此ノ主義ヲ執リタルモ更ニ進ンテ市ノ自治
 政ヲ全廢セリ蓋シ國民權ノ外別ニ市民權アラサルトキハ其ノ極國家ハ何事ヲ論セス市ヲ後
 見スルノ弊ヲ生スヘキハ甚タ陷リ易キノ勢ナリ若シ固有ナル市民權ナキトキハ市民ヲシテ
 其ノ市ヲ以テ獨立自由トナスノ精神ヲ養成セシムルニ難キノミナラス又國家ニ在テハ其ノ
 臣民タルヘク市ニ在テハ其ノ市民タルヘキ兩様ノ地位アルコトヲ判別スルニ難カラシムヘ
 シ而シテ其ノ終ニハ總テ國民權上ヨリ觀察シテ以テ市民上ノ權限ヲ定ムルノ錯誤ヲ致スヲ
 免カレス

前章町村ノ部ニ於テ瑞西ニ行ハル、世襲町村公民權ノ事ヲ論シタリシカ今又都府ニ就キテ
 モ同一ノ定義ヲ以テ之ヲ論セサルヘカラス蓋シ此ノ族家制ノ團結ハ其ノ町村ニ適スルヨリ
 モ更ニ其ノ市ニ適スヘキハ親易キノ理ニシテ瑞西ニ於テ此ノ制ノ最初ニ市ニ行ハレタリシ
 所以ヲ知ルニ足ルヘシ今ヤ變換極ナキ世ニ在リテ此ノ制度ノ永久ニ存續スヘカラサルハ固
 ヨリナリ況ヤ住居ノ關係ハ復タ舊來ノ如ク市民權ニ對シテ輕重セサルニ於テヲヤ

(第七) 近代ノ國家ニ於テハ多クハ市ノ人民ニ與フルニ選舉權ヲ以テシ以テ市長ヲ選マシム
 ルアリ又ハ其ノ利益ヲ代表スヘキ參事員ヲ選マシムルアリ古ハ市會ヲ開キ盡ク市民ヲ集メ
 テ市政ノ要務ヲ議シ可否ヲ決セシメタルコト跡カラシテ「ロンバルダイ」中ノ大市ノ如キ
 ハ第十二世紀ニ於テ已ニ「パーラメント」ト稱スル市會ヲ設ケタルコトアリ此ノ會ヲ開クト
 キニハ先ツ鐘ヲ鳴ラシテ市民ヲ集會シ市長之ニ對シテ其ノ執行シタル市政ノ成績ヲ報告シ
 タリ此ノ制移リテ佛國ニ行ハレ又瑞西ノ如キハ今ニ至ルマテ猶ホ市政ノ要件ヲ決スルニ市
 民ヲ會シ可否ヲ決セシムルテ例トセリ

(第八) 市長ト市民又ハ市會トノ中間ニ於テ市民ノ代表者紹介者タルヘキ機關ヲ置キ以テ市
 長ノ藩籬ヲラシムルハ其ノ町村ヨリ高尚ナル組織ニ於テ最モ適セリトス而シテ斯ノ如キ機
 關ハ各國其ノ名ヲ異ニスレトモ何ノ地何ノ時ヲ問ハス必ス其ノ設アルヲ見サルコトナキハ
 是レ自然必需ノ理由アル明證ナルヘシ「ロンバルダイ」ニ於テハ位望知識アル市民ノ會合ニ
 係ル「クレデントツ」アリテ市政ノ要務ニ當リ常ニ市長ノ顧問トナリ佛國ノ南部ニ於テハ參事
 「コンシリアリー」アリテ市長ヲ輔佐シ古キュルン「市制ニ於テハ位望アリテ資産アル市民
 ヲ集メテ「ライセルチェヒ」ト稱シ獨逸ニ於テハ第十三世紀ノ後各市ニ大參事會ノ設ア
 リ又今日ニ在リテハ市會市總代アリ瑞西ニ大市參事會アリ英國ニ市參事會アリ「ザルジニ

一、特別市參事會アリ、白耳義ニ參事會アリ、是レ皆多數ノ合議体ニシテ、市長ノ藩籬タルモノナリ。

市參事會ノ制ハ、零々國家ノ議會ト相似タリ、唯タ其ノ一市ノ機關ニ過キササルヲ以テ、組織稍々簡單ナルノミ故ニ、此ノ會ハ眞ニ全市民ノ代表者トシテ、何ノ社會ニ對シテモ其ノ利益ヲ代表スルノ實アルヘキヲ要ス、其ノ職掌ハ市長ノ行政ト市ノ計算トヲ檢査シテ以テ監督ヲ爲シ、市政ノ要件ニ參議シテ以テ其ノ行政ヲ助ケ、市長ノ起草セル市ノ規則案ヲ整理シ及ヒ市會ニ先チテ之ヲ調査シ意見ヲ陳述シテ以テ立法ノ事ヲ行フモノトス。

第五款

町村ノ政權及ヒ財產

(第一) 町村ノ其ノ境域内ニ於テ公權ヲ有スルハ、猶ホ國家ノ其ノ版圖内ニ於テ國土統率權ヲ有スルカコトシ、但タ其ノ關スル所狹小ナルノミ、此ノ所謂ル公權トハ所有權ヲ言フニ非ス、又土地管理ノ權ヲ言フニモ非ス、乃チ町村境域内ノ人民及ヒ土地ニ係ル公權ノ組織ナリ、蓋シ町村内ノ人民及ヒ土地ハ其ノ町村一般ノ經濟及ヒ教育ノ管理ニ屬セサルコトヲ得サルカ故ニ

自ラ其ノ町村ノ統治權内ニ屬セサルヲ得ス、是ヲ以テ町村ハ此ノ權利ノ範圍内ニ於テ監督警察其ノ他ノ管理及ヒ課稅ノ權ヲ有スルコトヲ得ヘシ。

(第二) 町村ハ又國家ノ如ク一個ノ法人ナルヲ以テ其ノ財產上ニ於テ自己固有ノ權利ヲ有ス、而シテ此ノ財產權ニ於テ公權ト私權ト相抵觸ス、町村ハ所有權要求權ヲ有シ、又ハ負債ヲ爲スヲ得ルコト更ニ一人ニ異ナルコトナシ、故ニ動產不動產ニ就キテ物上權ヲ有シ、又他人ト契約ヲ結ビ凡テ私法上ノ權利ヲ有スルヲ得ヘシ、而シテ此ノ點ニ就キテハ國家ニ對シテ全ク不羈獨立ノ地位ヲ有スルコト他ノ一個ノ所有主ニ異ナラサルナリ、夫ノ前世紀ニ於テ專制ノ君主又ハ革命派ノ議院ノ町村所有物ヲ視テ官有物トシ、擅ニ之レヲ處分シタルカ如キハ實ニ失當ノ極ト謂フヘシ、町村所有地ハ即チ町村所有ノ土地ナルコト固ヨリ其ノ字面ノ如シ、直接ト間接トチ問ハス決シテ國家ノ所有地ニ非サルナリ。

然レトモ町村ノ公体ナルト町村所有ノ土地ハ公共ノ目的ニ於テ之ヲ使用スヘキモノナルトノ原則ニ由リ、其ノ管理上ニ於テモ亦自ラ一定ノ區別ヲ生シ、他ノ一個人ノ使用ニ供スル財產トハ其ノ處分ヲ殊ニセサルヲ得サルノ事情アリ。

故ニ町村ノ土地ハ固ヨリ町村ノ私有財產タルニ論ナシト雖、是ノ關係ニ於テハ公有地トシテ之ヲ視サルヲ得ス、故ニ其ノ管理及ヒ使用モ亦公權ノ干與ヲ受ケサルヲ得ス、而シテ此ノ公權

上ノ性質ヲ代表スルモノハ即チ其ノ町村ナリ町村ノ土地管理ニ於ケルハ細ニ制限ヲ立定シ且ツ其ノ住民ノ經濟上及ヒ農事上ノ公益ヲ目的トスヘキモノニシテ固ヨリ國家政略ノ運動ニ屬スル普通性質ヲ有スヘキニ非サルナリ然レトモ國家ハ全國ヲ統括シ其ノ内部ニ於テ常ニ町村ト相聯絡スルヲ以テ平時ニ町村ヲ監督シ其ノ所有地ヲシテ公共ノ性質ヲ保有シ敢テ失墜セサラシムルニ注意スルハ之レヲ國家固有ノ權利トシテ可ナリ

町村ノ其ノ土地ヲ管理シ及ヒ之ヲ使用スルニ他ノ制限ヲ受ケサルハ私法上ヨリスルモ公法上ヨリスルモノ之ヲ常規ト認メテ可ナリト雖之ニ益スニ國家ノ監督權(後見權ニ非ス)ヲ以テシテ始メテ完全無缺ノ制ト謂フヲ得ヘシ此ノ原則ハ未タ各國一般ノ成法ニ採用セラル、ニ至ラスト雖現今各國ノ立法ハ漸ク之ヲ實際ニ施行シテ以テ自由ナル町村制度ヲ組織セントスルノ傾向アルハ余ノ已ニ目撃スル所ナリ

(第三) 今町村ノ獨立ナルヘキ主義ニ基キテ其ノ結果ヲ擧グルトキハ町村ハ其ノ各機關ノ權限ニ隨ヒテ共有營造物ノ使用ヲ規定シ其ノ利益アリトスル所ノ目的ニ隨ヒテ財産ヲ使用スルコトヲ得ヘシ而シテ國家ハ町村ノ財産ニ於テ或ハ餘裕アリトモ自ラ之ヲ收用スルヲ得ス又町村ノ意ニ反シ及ヒ法律ノ規定ヲ以テ義務ヲ負ハシムルモノ、外ニ於テ費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ス但タ國家ハ一般ノ規定ヲ以テ防火ノ設置小學校ノ建設道路橋梁ノ造修等ヲ

町村ノ負擔ニ屬セシムルコトヲ得ヘシト雖苟モ一般ノ規定ニ於テ其ノ義務ヲ負ハシメサルモノハ其ノ事ノ利益アルト善美ナルトニ關セス町村ヲ強テ之ヲ爲サシムルコトヲ得ス且ツ國家ニ於テ其ノ設營チ町村ニ命シ得ルモノト雖之カ設計ヲ定メ營造ニ係ル契約ヲ結ぶカ如キハ一ニ町村ノ權利ニ屬スヘキモノニシテ國家ハ只タ必要ナル一般ノ規定ニ對シ其ノ營造上ニ缺ク所アルヤ否ヤヲ監督スルニ止ルヘシ

(第四) 國家ノ監督ハ之ヲ要スルニ二個ノ目的ニ歸ス(甲) 町村財産ノ管理方法ハ果シテ永遠ノ利益ヲ收メ其ノ公共ノ需求ヲ充シ得ヘキヤ否ヤ(乙) 町村財産ノ使用ヲ妄用シ其ノ利益ヲシテ自己ノ經濟ニ關係ナキ他人ニ歸セシムルカ如キ失計ナキヤ否ヤヲ察スルニ在リ而シテ此ノ監督ヲ實施センカ爲年々ノ決算ヲ政府ニ報告セシメ又ハ特ニ規則ヲ設ケ以テ町村ノ支出多キニ過キテ爲ニ基本財産ヲ蝕削シ若クハ之ヲ賣却スル等ノ事ヲ豫防シ及ヒ禁止シ又ハ是ノ如キ收支償ハサルノ事アルトキハ特ニ租稅ヲ課收シテ之ヲ填補セシムル等ノ方法ヲ取レリ

町村ハ大半元ト私法ニ係ル農民組合ヨリ進化シタルモノナルカ故ニ其ノ公共財産タル土地ノ一部ハ一個人ノ使用ニ供用シ來レルモノ甚タ多シ其ノ他町村ニ在リテ歴史上ノ沿革ニ起因シ公用ト私用ト相混シテ分別セサルモノ往々ニシテ之アリ今全ク私用ヲ禁シテ單ニ公用

ニ屬セシムルハ是レ條理ニ非サルナリ今日ノ輿論ハ是ノ如キ土地ヲ二種ニ區別シ公私共ニ其ノ用テ欠カサルヲ以テ至當ノ處置ト爲セリ則チ舊來ノ土地ハ分チテ二類トナシ一ハ公用ニ供スル純然タル町村共有地トナシ一ハ私用ニ供スル私法的ノ使用地(組合地)トナスニ至ルヘシ

(第五) 町村ハ又其ノ需求ニ充ツルカ爲ニ租稅ヲ町村住民ヨリ徵收スルコトヲ得其ノ理タル猶ホ國家ノ其ノ需求ニ充ツルカ爲ニ租稅ヲ町村住民ヨリ徵收スルコトヲ得其ノ理タル猶ホ國家ノ需求ニ充ツルカ爲ニ全國人民ニ課稅スルニ異ナラス凡ソ町村ノ住民ハ悉ク皆町村ナル公共ノ組織ノ下ニ服屬セルカ故ニ自ラ之カ租稅ヲ負擔セサルヘカラサル義務ヲ生ス而シテ此ノ負擔ハ固ヨリ普通ノ性質ニシテ各個的ノモノニ非スト雖其ノ町村ノ狀況ニ由リテ或ハ密接ノ關係ヲ有スル一社會ノミニ賦課スルノ稅アリ即チ特ニ其ノ社會ノ使用ニ限ル營造物ノ保存ヲ負擔スル場合ノ如シ或ハ一般ニ町村住民ニ賦課スルノ稅アリ即チ其ノ地方全部ニ係ル公務ノ費用ヲ賦課スル場合ノ如シ

町村ノ租稅ニ就キ國家ノ最モ注意スヘキ所ハ多數者小數者ヲ壓制シテ一個人又ハ一社會(富民又ハ貧民)ニ重課スルノ弊ニ在リ此ノ如キノ弊ハ務メテ之ヲ制止シテ其ノ公平ヲ得セシメサルヘカラス

國法汎論卷之十二

自由權

第一款

法律上ノ自由

夫レ自由ノ理ヲ探求シテ之ヲ檢出スルハ國法ノ職トスル所ニ非ス國法ノ範圍内ニ於テ宜シク論定スヘキ所ハ法律上其ノ權ヲ認許シテ之カ保護ヲ爲スヘキモノニ限ルノミ凡ソ自由ハ法律上ノ組織ニ於テ之レヲ區別スレハ分チテ三類ト爲ス曰ク法律上ノ自由曰ク天然ノ自由曰ク德義ノ自由及ヒ精神ノ自由是レナリ天然ノ自由ハ德義及ヒ精神ノ自由ニ比ズレハ其ノ範圍迥ニ狹隘ナリ蓋シ法律上ノ自由ハ天然及ヒ德義ニ背戻スヘカラサルハ勿論ナレトモ天然ノ自由ヲ以テ直ニ法律上ノ自由トナス能ハス法律上ノ自由ハ彼ノ禽獸ノ有スル如キ專ラ其ノ天性ニ由ル所ノ陋野ナル自由ニ非スシテ德義ニ基キ法律ノ性質ヲ有スル純白ナル人類ノ自由ナリ而シテ德義及ヒ精神ノ自由ハ皆法律ヲ以テ之ヲ總括シ及ヒ之ヲ限定シ得ヘキモノニ非ス此ノ自由ノ原子ハ各個人ノ思想中ニ棲息スル幽冥不死ノ自由ニシテ元

ト是レ上天ノ神聖ナル自由ヨリ放チ來レル一光線ニ外ナラサレハ國家ノ威力モ人間ノ法律モ之レニ加フルコトヲ得ヘカラス之ヲ要スルニ自由ノ法律トナルハ其ノ顯界ニ出テ、一定ノ形体ヲ有スルトキ又ハ幽冥ナル情感及ヒ心思ノ自由ノ外部ノ法規ニ抑制セラレテ伸張スル能ハサルトキニ在リ而シテ法律ハ此ノ時ニ當リテ始メテ自由ノ現体ヲ保護シ又ハ其ノ伸張ヲ妨クル障礙ヲ除クヘキナリ

天然ノ自由ハ各人所有ノ財産ナリ德義ノ自由ハ其ノ天性ニ戻ラス人道ニ違ハスシテ自己ノ意思及ヒ動作ヲ行フノ謂ナリ法律ノ自由ハ元ト是レ法律ノ一部ニ過キサカ故ニ法律アリテ後チ始メテ存スルモノトス即チ法律ノ認許ト保護トニ由リテ其ノ意思ヲ行フヲ得ルノ權利ヲ謂フナリ

凡ソ自由ハ何ノ種類ヲ問ハス必ス一種ノ神氣其ノ中ニ舍ルテ要ス若シ此ノ神氣ナケレハ亦自由アルコトナシ即チ法律ノ自由ノ法律ニ據リテ其ノ生ヲ資スルカ如シ而シテ自由ハ又必ス人ニ依リテ立ツモノニシテ獨リ自ラ存スル能ハサルコト猶ホ權利ノ人ヲ離レテ獨リ自ラ存スル能ハサルカ如シ自由ト云ヒ權利ト云フモ皆是レ人ノ身体ト生活トノ外ニ在ルニ非ス蓋シ自由中ニハ單ニ思想上ノミニ止マルノ自由アリ亦猶ホ思想上ノ權利思想上ノ國家アルカ如シ然レトモ眞ノ自由權ハ唯タ眞ノ國家ニ在リテ存スルヲ得ヘクシテ其ノ憲法ト法律ト

ニ據リテ始メテ生スルモノトス又自由中ニハ單純ナル政治上ノ自由アリテ國家ノ法律ノ外ニ立チ其ノ目的トスル所ハ從來ノ法律ヲ改良スルニ在ルモノアリ然レトモ自由ノ法律上ニ有スル意義ハ法律ヲ以テ其ノ柱礎ト爲スカ故ニ竟ニ法律ヲ離レテ獨リ立ツコトヲ得ス國家ノ其ノ臣民ニ與フル法律ノ保護愈々完全ナルトキハ臣民ノ享クル所ノ自由モ亦愈々完全ニシテ且ツ寬裕ナリ若シ保護愈々完全ナラス且ツ其ノ力薄弱ナルトキハ自由モ亦愈々抑制セラレ若クハ濫ニ自由ヲ逞クスルニ至ルヘシ彼ノ「ロルド、ジョン、ルッセル」英國ノ是ノ原則ニ反對シ若シ自由ハ唯タ法律ノ許ス所ニ在リテ存スト爲サハ法律ニ據リテ暴政ヲ行フ所ノ政府モ亦之ヲ自由政府ト謂ハサルヲ得スト論シタルカ如キハ是レ國法上ニ於ケル自由ノ意義ヲ誤解シテ思想上及ヒ政治上ノ意義ト爲シタルモノナリ

自由ハ權利トシテ之ヲ論スルトキハ德義上又政治上ノ自由ニ比スレハ其ノ意義頗ル狹隘ナリ然レトモ法律ヲ柱礎トシテ之ニ依據スルカ故ニ其ノ明文ノ保護ニ由リテ廢滅ヲ免レ其ノ補助ノ力ニ頼リテ他ノ損害ヲ受ケス

精神上ノ自由ヲ世ニ發達セシメタル先進者トシテハ獨逸人ノカ榮譽ヲ受クヘキ權利アリ而シテ法律上自由ノ障壁ヲ發明シ之ヲ始設シタルノ功ハ首トシテ英人ヲ推サ、ルヲ得ス

(第二)自由ハ何ノ種類ヲ問ハス之ヲ分チテ消極的積極的ノ自由トナスコトヲ得ヘシ消極的

ノ自由トハ其ノ理由ナクシテ妄ニ他人ノ爲ニ檢束セラル、コトナキヲ謂ヒ積極的ノ自由トハ自己固有ノ意思ノ自由ヲ謂フ

夫レ人ハ權利ノ物体タルヲ以テ勢他ノ制限ヲ受ケサルコト能ハス是ヲ以テ其ノ固有ノ權利ナル自由モ亦他ノ制限ヲ免レス故ニ彼ノ專恣ノ獨立ト無限ノ不羈トヲ空想シ之ヲ以テ人間眞個ノ自由ト爲スカ如キハ世復タ之レヨリ大ナル誤謬アラサルナリ是ノ如ク自由ヲ理解スルニ消極ノ點ノミニ於テスルトキハ眞ニ無限ノモノトナルヲ以テ凡ソ現在ノ法規ハ皆之ニ牴觸スル損害物トナラサルヲ得ス且ツ此ノ空想ヨリシテ之ヲ觀ルトキハ法律ハ單ニ形式上ニ在リテノミ存スルモノニシテ其ノ究竟ヲ言ヘハ國家并ニ法律ヲ舉ケテ之ヲ廢滅セサルヲ得サルニ至ラン然レトモ此ノ廢滅ト共ニ彼ノ無限ノ自由權モ亦竟ニ獨リ存スルコト能ハサラントス時アリテ無限自由ノ暴力ヲ逞クシ公然眞誠ナル法律上ノ自由ニ反シ其ノ精神ト形体トヲ并セテ滅却スルニ至ルコト有リト雖多クハ常ニ曖昧ノ間ニ世人ヲ瞞着シテ其ノ隱謀ヲ遂ケンコトヲ圖ル

若シ果シテ服屬ヲ以テ總テ自由ニ非スト爲サンカ子ノ父ニ從ヒ雇夫ノ雇主ニ役セラレ負債主ノ債主ニ對シ原被兩造ノ裁判官ニ對シ被治者ノ主治者ニ對スルハ皆自由ニ非サルナリ而シテ司命者及ヒ主權者ト雖亦皆自由ニ非スト謂ハサルヲ得ス何トナレハ服屬者ニシテ命令ニ服從スルコトヲ拒マハ司命者及ヒ主權者ハ手ヲ拱シテ更ニ爲ス所アラサルヘキヲ以テナリ故ニ是ノ如ク論シ來ルトキハ世間復タ一人ノ自由ナル者アルヲ得サルヘシ是ヲ以テ服屬ハ自由ニ非スト曰フハ非ナリ但タ服屬ノ更ニ理由ナクシテ尋常ノ程度ヲ越ユル者ニ至リテ始メテ之ヲ自由ニ非スト曰フヲ得ルノミ故ニ被治者ノ主治者ニ於ケル關係ハ奴隸ノ主人ニ對スル子ノ父ニ對スルカ如クナル可ラス凡ソ被治者ノ服屬ハ其ノ參與ニ由リテ成ル所ノ法律ヲ以テ規定シ制限スルヲ要ス苟モ之ナキトキハ則チ其ノ國ヲ以テ之ヲ自由ノ國ニ非スト謂フモ可ナリ

(第二) 凡ソ法律ハ一個人ニ就キテ之ヲ定ムルト國民一般ニ就キテ之ヲ定ムルトノ二種ニ出テサルヲ以テ法律上ノ自由モ亦別チテ二種ト爲スヘシ即チ一ハ一個人ノ自由ニシテ一ハ國民ノ自由ナリ一個人ノ自由ハ其ノ根本トスル所私法ニ在リ國民ノ自由ハ國政參與ノ權ニ在リテ專ラ公法ノ性質ヲ有ス上古共和政治ノ國ハ國民ノ自由偏重ニシテ一個人ノ自由ノ力爲メニ損害ヲ受ケタリ其ノ後日耳曼人ニ至リテ始メテ一個人ノ自由ヲ重シシ今世ノ國家ニ於テハ又私權ヲ尊崇スルノ傾向アリ

若シ夫レ公權ノ自由ヲ重シシテ私權ヲ輕シ私權ヲ重シシテ公權ヲ輕ニスルカ如キハ皆大ナル誤ナリ古希臘人ハ最モ公權ノ自由ヲ偏重シテ私權ヲ毀損スルコトヲ顧ミス殊ニ斯巴達

ノ憲法ノ如キハ其ノ主權ノ下ニ立ツ所ノ一個人ハ全ク國家ノ奴隸ニ異ナラス今日ヨリ其ノ制度ヲ觀レハ往々徒法ニ類スルモノアリテ當時モ亦之ヲ實施シタルモノニ非サルヤノ疑ナキ能ハス又亞典ノ共和政ニ於テモ一個人ノ自由ヲ視ルコト甚ク輕クシテ其ノ法律及ヒ行政ノ爲ニ毀損セラレタルモノ甚ク少カラサルナリ

而シテ現今ハ則チ私權ヲ偏重スルノ傾向アリ爲ニ公權ヲ蔑如スルコト稀ナラス私權ノ自由ヲ尊崇スルコト已ニ程度ニ越エ其ノ極ヤ一個人ヲ視テ完全無欠ニシテ人世ノ中央ニ獨立スルコト猶ホ天神ノ世界萬物ヲ創造シテ其ノ命令ニ服從セサル者ナキカ如キモノアリ是ノ如クニシテ已マズンハ國家ノ主權ハ全ク地ニ落チ專恣ナル一個人ノ意思ニ由リテ國家ノ秩序ヲ解離セントスルノ恐アリ

故ニ眞誠ノ自由ニ在リテハ公權私權ノ自由ヲ并セテ共ニ之ヲ尊崇セサル可ラス國民ノ自由ハ共同ナル人種ニ基シ一個人ノ自由ハ一個人ノ精神ニ基シ共ニ人類ノ天性ニ連屬シテ相離レサルモノナリ然レトモ國民ノ自由ハ全ク法律上ノ自由ニシテ國家ノ内ニ在リテ始メテ存立シ一個人ノ自由ハ其ノ泉源ヲ國家ノ外ニ有シ國家ノ能ク統御スヘキニ非ス亦統御シ得ヘカラサル境界ニ在リテ始メテ存立スルモノナリ

(第四)國民ノ自由ト一個人ノ自由トハ其ノ國ノ政體ニ隨ヒ各々輕重スル所アリテ皆齊キコト能ハス

ト能ハス

智術政治ハ其ノ專制ノ主權ヲ以テ國民ノ自由ヲ壓セント欲シ庶民政治ハ多衆ノ希望ニ從ヒテ國民ノ自由ヲ擴張シ終ニ國民統御ノ勢ヲ成スニ至ル又庶民政治ハ一個人ノ自由ヲ拒マスト雖唯タ多衆ノ之レヲ認許スル範圍ニ在リテ存スルコトヲ許シ若シ一旦多衆ノ之ヲ認許セサルトキハ何時ヲ論セス立ロニ之ヲ破滅シテ更ニ願ル所ナシ要スルニ庶民政治ハ國民ノ自由ヲ愛重スルモ一個人ノ自由ヲ崇重スルコト甚ク少シ人若シ此ノ言ヲ信セスハ只タ應ニ亞典共和政ノ時ニ於ケル富人ノ地位ト佛國「ヤコツ」黨政府ノ時ニ於ケル貴族ト其ノ後「コンモニスト」黨ノ法案ニ於テ之レヲ追想スヘキノミ

貴族政治ハ一個人ノ當ニ領スヘキ境界内ニ在リテハ之レヲ容レテ其ノ自由ヲ保タシム故ニ此ノ政治ニ於テハ一個人ニ與フル自由常ニ乏シカラスシテ且ツ一旦之ヲ與フルトキハ亦能ク之ヲ保護シ多衆ノ攻撃ヲ防禦シテ更ニ屈スルコトナシ然レトモ國民ノ自由ニ對シテハ之ヲ制止シテ主權ヲ奪ハレサランコトヲ力ノ常ニ少數ノ社會ニ於テ專ラ政柄ヲ操持シ僅ニ其ノ一小部分ヲ割キテ多衆ノ參與ヲ容スニ過キス

專制君主政治ハ一個人ノ自由ト身体及ヒ所有ノ安全トヲ付與スルニ寛裕ナルモノ往々之レ有リ然レトモ國民ノ自由ニ至リテハ之ヲ嫌惡シ之レヲ仇視スルヲ以テ常トス

若シ夫レ立憲君主政治ヲ行フノ國ニシテ其ノ憲法ヲ確守スルモノニ在リテハ則チ然ラス能ク此ノ兩個ノ自由ヲ認許シテ寬ニ之ヲ付與スルモ亦能ク之ヲ制限シ國民ノ自由ヲシテ變シテ統御ノ權トナリ一個人ノ自由ヲシテ轉シテ擾乱ノ資トナラシムルカ如キコトアラス

(第五) 兩個ノ自由ハ公法ニ就キテ之レヲ言ヘハ其ノ地位相等シカラス國民ノ自由ハ直ニ公法ニ屬シ國家ノ機關トシテ養成セラレ人民一般ノ精神ヲ以テ充實ス一個人ノ自由ハ元ト一個人ノ身体生活ヨリ其ノ源ヲ發スルヲ以テ私法ノ一部ヲ爲シ但タ間接ニ於テ公法ノ範圍ニ入ルノミ即チ公法ニ於テ之カ保護ヲ約定スル場合又ハ其ノ社會及ヒ國家ニ對スル關係ニ就キテ細ニ之カ境界ヲ定メ制限ヲ設クル場合ニ於テ然リトス故ニ國家ハ國民ノ自由ニ對シテハ國家臨時ノ必用ト國民文化ノ度トニ隨ヒ法律ヲ以テ隨意ニ之カ程度ヲ定ムルヲ得ヘシト雖一己人ノ自由ニ對シテハ他ノ私法ノ如ク均シク之カ獨立ヲ認メ之ニ保護ヲ與ヘサルヘカラス然シテ國家ヲシテ實ニ私法ノ獨立ヲ崇重セシムルニ至ルハ將來法制ノ一大要務ナリ

第二款

第一 一個人ノ自由

(甲) 生命ノ保護

(第一) 凡ソ自由ノ認定及ヒ保護ハ先ツ生命ノ認定及ヒ保護有リテ而シテ後ニ生スルモノナリ抑モ生命保護ノ權ハ人ニ在リテ第一ノ權利トス此ノ權利ハ人生レナカラニシテ之ヲ有シ死亡ニ至リテ始メテ之レヲ失フ其ノ魂魄ノ身体ニ現在スル間ハ須臾モ得テ分離スヘカラス元來國家ハ一般人民ノ組織スル所ノ法体ニシテ一個人ノ組織スル所ニ非スト雖其ノ威力内ニ包羅スル各人民ノ爲ニ其ノ根元ノ權利ヲ保護スヘキノ義務アリ何トナレハ一個人ノ其ノ保護ヲ望ムニ當リテ之レヲ助ケルハ國民全体ノ負擔スヘキ一要務ナレハナリ

生命保護ノ權利ハ又進ンテ未生ノ胎兒ニ及フモノトス人ハ其ノ出生ト共ニ始メテ眞ノ身体ヲ有スト雖其ノ身体ノ保護ハ己ニ胎内ニ在ルノ時ニ生ス故ニ其ノ將來應ニ人ト成ル可キ實狀ニ據リテ其ノ將來應ニ有シ得可キ權利ノ保護ヲ受クルコトヲ得ヘシ

是ノ故ニ國家ハ生命保護ノ權ニ對シ無理ノ侵襲ニ遇フ者ヲ保護スルト又緊急ノ危厄ニ際シテ其ノ死亡ヲ救援スルトハ皆自然法ノ原則ニ出ルノ義務ナリトス然ルニ現今ノ各國ヲ察スルニ侵襲ニ對スル保護ハ各國多クハ之ヲ認定スト雖危厄ニ對スル救援ハ上ニ論セル原則ニ於テ其ノ必要更ニ相下ラサルモ猶ホ未タ一般ニ認許ヲ與フルニ至ラサルハ竊ニ憾ム所ナリ今一個人ニシテ困厄ニ陥リ死亡ヲ免レサルニ至ルモ自ラ救フノ力ナク助ヲ一般人民ニ仰ク

ニ方リテ若シ一般人民之レニ應スルノ方法ヲ有セハ其ノ困厄ノ天然ニ生スルト自己ノ過失ニ起ルト又ハ一時ノ災害ニ由ルトヲ論セス必ス之レヲ救助セサル可ラス是ノ如キ救助ハ國民ノ義務ニ非スシテ乃チ人類一般ノ義務ナリ故ニ此ノ非常ノ場合ニ於テ國家ノ與フル所ノ救助ハ之ヲ其ノ臣民ニ限ル可キニ非ス苟モ其ノ國內ニ在ル者ハ外國人ト雖亦均シク之ヲ與ヘサル可カラサルナリ而シテ國家ノ此ノ義務ハ其ノ一般ニ就キテ之ヲ言フトキハ其ノ眞ニ緊急ニシテ困厄ニ迫ル者ニ限ル可シト雖各個ノ場合ニ就キテ之レヲ言フトキハ其ノ當時ノ狀況ニ隨ヒ義務ノ範圍稍々寛大ナルヲ要シ且ツ一個人又ハ國家自己ノ慈善ニ依リテ其ノ足ラサルヲ補ヒ及ハサルヲ助ク可シ然レトモ若シ國家ノ慈善ニシテ甚々寛大ニ過キ且ツ法律ヲ以テ之ヲ規定スルニ至ラハ其ノ財產ヲ以テ窮民ヲ救助スルノ利益ヨリモ世間德義ノ勢力及ヒ功能ヲ腐敗セシムルノ損害多キコトアル可シ蓋シ今時世間ノ狀態ヲ以テ之ヲ昔時ニ比スレハ但ニ各種ノ救貧保育ノ組織ノ大ニ進ミタルノミナラス火災水害救助ノ組織モ亦頗ル其ノ數ヲ増シタリ是レ法律ノ德義ノ開進シタル明徴ニシテ國家ノ善ヲ樂ミ仁ヲ好ムノ風氣ヲ長シタルヲ想見スヘシ

(第二) 生命保護ノ權利ハ必シモ世上論者ノ往々説ヲ爲スカ如ク直ニ死刑廢止ノ理由ヲ生スルモノニ非ス然レトモ此ノ權利ハ其ノ國家ノ存在ト正理ノ保護トノ爲ニ必要ナル理由アルトキニ限リ方ニ死刑ヲ行フ可シト曰ヘル制限ノ原由トナル可キハ勿論ナリ彼ノ古羅馬ノ家父及ヒ主人ハ其ノ子女及ヒ奴隸ニ對シテ生殺ノ權ヲ有シタルカ如キハ野蠻ノ遺俗タルヲ免レヌ又古日耳曼ノ法ニ於テ重罪ヲ犯シタル者ハ安全ニ身ヲ保チ及ヒ一ノ權利ヲ有スルコトヲ得ヌ又放逐罪ヲ受ケタル者ハ野獸ニ等シク何人ト雖之ヲ殺シテ罪ナシト爲シタルカ如キハ全ク生命保護ノ天權ニ背クモノナリ但タ日耳曼法中己ニ仁愛ナル意思ノ往々伏在スルモノアリ近世ニ至リテ其ノ益々大ニ煥發スルヲ見ルナリ

(第三) 諸國ニ於テ重罪者ノ附加刑トシテ之ヲ民籍中ヨリ削除シ所謂ル民籍上ノ死亡者ト爲スハ是レ往昔ノ無權又ハ放逐ノ刑ノ今日ニ遺存スルモノニシテ大ニ人生自然ノ道理ニ背戻スルモノトス其ノ人ノ現ニ生活スルモノヲ以テ法律上獨リ之レヲ死亡ト認ムルハ豈天理ニ反セスト謂フヲ得ンヤ前ニ拿破翁ノ法律ヲ定ムルニ當リ有罪者ノ妻其ノ夫ヲ愛スルノ情ニ堪ヘス夫ニ從ヒテ獄ニ入ル者ハ法律上之ヲ妾トシテ正妻ト認メサルコトヲ論シテ是レ德義ニ背モノナリト爲セシニ獨リ此ノ民籍削除ノ惡法ヲ其ノ法律條中ニ存シタルハ惜ム可キ所ナリ然レトモ方今各國ノ憲法ハ實ニ此ノ法ヲ廢シテ復タ存スルモノナシ

(第四) 人其ノ身体ヲ全クスルハ天然固有ノ權利ナルヲ以テ近世文明各國ノ法律ハ概シテ皆身體斬傷ノ刑ヲ廢セリ是レ大ニ理ニ合フモノナリ夫レ法律ノ尊嚴ヲ確立シ社會ノ安寧ヲ保持

スルカ爲ニ斬死ノ刑ヲ設ケ當ニ其ノ一肢節ヲ毀傷スルノミナラス其ヲシテ身首處ヲ異ニセシムルコトアリト雖然レトモ是レ必シモ此ノ慘刑ヲ用フルヲ要セサルナリ加之ナラス今人ハ死刑ヲ認メテ德義ニ背キタル虐刑トスルニ至レリ自由ヲ愛重シ且ツ高等ノ文化ニ進メル國民ハ杖笞ノ刑ノ如キ單ニ痛苦ヲ感セシムルヲ目的トシ一モ身体ヲ毀傷セサルモノト雖猶ホ酸鼻シテ之ヲ賤シメリ往古ニ於テモ亦杖笞ノ刑ヲ以テ自由ノ權利ヲ有スル上級ノ社會ニ用テ可ラサルモノト認メタル國アリ

第三款

(乙) 動作ノ自由即チ職業ノ自由

(第一) 人ヲ以テ物トスル奴隸法ノ天理ニ背キ人道ニ悖レルハ己ニ上文ニ論スル所ニシテ今復タ之ヲ言フヲ要セス然シテ彼ノ羅馬ノ末世ニ於ケル小作人ノ組織ト中古ノ世ニ當リ殆ント各國ニ於テ見サル所ナカリシ所領農民ノ制度ハ奴隸法ト同シク論ス可キニ非ス此ノ制度ニ在リテハ小作人及ヒ所領農民ノ自由及ヒ權利モ其ノ必要ナル條件ハ之ヲ付與スルモノ多ク且ツ常ニ土地ト密著ナル關係ヲ有シ地主ハ妄リニ之ヲ放ツテ得ス農民モ亦擅ニ之ヲ去ル

ヲ得サルカ故ニ之ヲ以テ全ク天理ニ反スルモノト謂フヲ得サルナリ然レトモ今其ノ全体ニ就キテ之ヲ論セス其ノ各人ニ就キテ之ヲ察スルトキハ亦甚タ權利ヲ傷フモノタルチ免レス何トナレハ其ノ天性他ノ高尚ナル職業ニ長スルカ爲ニ農業ノ範圍ヲ脱セント欲スルモ竟ニ之ヲ爲ス能ハサレハナリ夫レ是ノ如キ者ヲ終身吠畝ノ間ニ禁錮スルハ其ノ天與ノ權利ト職分トヲ傷フモノニ非スシテ何ソヤ苟モ自由ヲ愛スル人民ハ(或ハ稀ニ一ニ)特例アリトモ)其ノ國民中ニ在リテ是ノ如キ束縛ヲ受クル社會ノ存スルヲ屑シトセサルナリ

故ニ中古ノ世ニ於テ自由移住ノ權利ヲ求メ之カ確定ヲ得タルトキハ之ヲ稱賛シテ自由權ノ一大進歩トシタリ今日ニ於テハ此ノ權ヲ視テ文明諸國ニ於ケル通常ノ權利トスルニ至リ或ハ之ニ多少ノ檢束ヲ加フルモノアルモ特ニ必要ノ事情アルトキニ於テスルノミ外國移住モ亦自由移轉ノ一種ニ屬セリ其ノ事己ニ前文ニ論スルヲ以テ今復タ之ヲ再論セス但タ移轉者一定ノ地ニ住居スルノ權利ニ至リテハ是レ唯タ一個人ノ自由トシテ論スルヲ得ス何トナレハ住居ハ其ノ一個人ノ關係ニ止ラス其ノ住居シタル地ノ一般共同ノ關係ニ於テ均シク利害ヲ有スヘキヲ以テナリ故ニ其ノ關係ハ單立的ニアラスシテ對立的ナリ故ニ移住地ノ町村ハ其ノ移住ヲ許スニ當リテ移住者ヲシテ之ニ要求スル所ノ約束ヲ遵守セシムヘキ權利ヲ有スルハ當然ナリ又移住ハ新ナル實力ヲ其ノ國ニ輸入シテ其ノ隆盛ヲ致スノ基ヲ助クト雖或ハ

其ノ移住ト共ニ陋悪ナル習慣ヲ輸入スルコトナシトセス是ノ時ニ際シテハ政府ニ於テ斷然移住ヲ制止スルヲ以テ必要ト爲ス可シ

第二 一個人ノ自由ニ動作シ得ヘキ權利(英語セパウル、オフ、ローコーモーション)ハ從來各國ニ於テ多少保護ヲ約スル所ナリ

(甲) 一個人ハ政府恣意ノ捕縛ヲ拒ミ且ツ犯罪ノ證據未タ全ク明瞭ナラサル場合ニ於テ特ニ政府ノ警察權ヲ濫用スル場合ニ於テ捕縛ヲ拒ムコトヲ得ルハ固ヨリ論ナシ曩昔彼ノ佛國ノ「ミラボー」ハ其ノ有名ナル著書(捕亡命令及ヒ囚獄)ニ於テ其ノ革命黨トシテ政府ニ反對セル熱心ナル怨怒ト佛國代議員ノ流暢ナル能辨トヲ以テ當時佛國ニ行ハレタル捕亡命令ノ無道ニ對シテ一大筆戰ヲ試ミタリ而シテ此ノ戰ヤ恰モ當時革命ノ風潮ニ乘シ非常ノ勝利ヲ獲タリ又英國人ハ古來此ノ自由ヲ得ンカ爲メニ屢々政府ト論争シ數百年ノ間能ク之レヲ守禦シ養成シテ以テ竟ニ大功ヲ成セリ英國ノ法律ハ政府ノ一般ニ捕亡命令ヲ發スルコトヲ禁シ又法律ニ違反シタル捕縛ハ力ヲ以テ之レヲ拒ムモ其ノ人ヲ罪セス而シテ「ハベアスコルブスアクト」ハ捕縛ヲ受ケタル者直ニ正當ノ裁判官ニ訴ヘ其ノ捕縛ノ法律ニ當ルヤ否ヤ及ヒ猶ホ之ヲ解放スヘカラサルノ必要アルヤ否ヤニ就キテ檢査ヲ請求シ得ルノ權ヲ有ス然リト雖警察上ノ捕縛ハ政治上全ク之ヲ闕クコトヲ得ス例セハ流行病ニ際シテ豫防命令ニ

然リト雖警察上ノ捕縛ハ政治上全ク之ヲ闕クコトヲ得ス例セハ流行病ニ際シテ豫防命令ニ應セザル者又ハ癡狂人ヲ禁閉シ無耻ノ貧民ヲ懲戒シ又ハ風俗ヲ矯正スルカ爲メニ捕縛ヲ要スルコトアリ但シ此ノ場合ニ於テモ捕縛ノ事由ト種類トヲ明ニシ濫用ニ陥ラザランコトニ注意スルハ則チ政府ノ義務ナリトス

(乙) 自由ノ民ハ妄ニ一定ノ地ヲ限リテ他出ヲ禁セラレ又ハ其ノ町村又ハ國土外ニ放逐ヲ命セラル、コトナシ斯ノ如キ制限ヲ受クルトキハ豫メ裁判所ノ宣告ナカル可カラス但シ法律上是等ノ自由ヲ認ムル國ニ在リテモ亦一定ノ法律ニ由リ制限ヲ定メテ警察權ニ許スニ退去命令ヲ以テシ一個人ノ自由ヲ強制スル場合ナシトセス

(丙) 往昔ノ政府ハ故ナクシテ其ノ人民ニ旅行免狀ヲ付與スルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ制限シタレトモ現今ハ皆隨意ニ國外旅行ノ自由ヲ與ヘタリ

(丁) 身體動作ノ自由及ヒ運用即チ職業ノ自由一タヒ明カナルヲ得ハ人生社會ノ高尚ナル境域始メテ開通スルニ至ルヲ得ヘシ蓋シ動作ノ自由ハ人ト禽獸ト等シク之ヲ有スル所ニシテ其ノ間更ニ區別アルヲ見スト雖禽獸ハ体力運用ノ妙ヲ有セス其ノ人ニ如カサル所以正ニ此ニ在リ而シテ人ハ其ノ天賦ニ於テ体力ノ運用及ヒ作工ノ靈妙ヲ有セリ是レ人ノ天地間ノ萬物ヲ御制スヘキ自然ノ明證ナリ故ニ國家ハ此ノ如キ一個人ノ有スル所ノ天權ニ對シテ命令

ス可キ職掌ヲ有セス又一個人ニ對シテ後見ヲ爲スヘキ權利ヲ有セス唯々其ノ運動ノ自由ヲ
 敬重シ及ヒ保護スヘキ職掌ヲ有スルノミ而シテ此ノ自由ハ今日一個人及ヒ家族ノ範圍ニ於
 テ最モ其ノ伸張ヲ得テ世復々疑惑ヲ生スルコトナシ故ニ新ニ明文ヲ掲ケテ之ヲ公認スルノ
 必要アルヲ見サルナリ

入生体力ノ運用作工ニシテ進ンテ公共ノ職業ト成リ終ニ營業ヲ形スルニ及ンテハ則チ其ノ
 關係又異ナラサルヲ得ス何トナレハ營業ノ關係ハ特ニ一個人ニ止ラスシテ社會町村若クハ
 國家ニ及フヘキモノアルヲ以テナリ故ニ其ノ事タル已ニ私法ノ範圍ヲ出テ、公法ノ範圍ニ
 涉リ營業自由ヲ定ムルニハ營業條例ヲ以テセサルヘカラサルニ至ル是ノ故ニ營業ノ自由ハ
 從來各國ニ於テ其ノ執ル所ノ主義各々相同シカラス前世紀ハ勿論多數ノ國ニ於テハ今世紀
 ノ半ニ至ルマテ猶ホ商工組合ノ法又ハ營業許可ノ法ヲ以テ狹隘ナル制限ヲ加ヘタリキ近年
 ニ至ルニ及ヒ斷然トシテ舊來組合首長ノ壓制ト政府ノ公權及ヒ監督トヲ解キ專ラ勞力自然
 ノ發達ニ任セテ之ヲ妨ケス之ヲ營業上交互ノ活潑ナル競争ニ委ネタリ故ニ現今ノ方向ハ專
 ラ營業ノ自由ヲ重シテ却テ之ニ伴フノ危害ナルヲ顧ミス而シテ自由ノ實効又頗ル大ニシ
 テ苟モ自由ヲ助ケ之レヲ進メタル國ハ自由ヲ惡ミ又ハ之ヲ恐ル、國ニ比スレハ其ノ勢力ノ
 大ニ超越スルヲ見ルナリ然レトモ又之レニ由リテ營業社會ノ秩序ヲ解亂セル原因トナリタ

ルヲ免レス思フニ後世再ヒ一ノ新組織ヲ起シ以テ自由ノ美果ヲ保護シ且ツ是ノ營業者チシ
 テ同業結合ノ要ヲ感セシムヘキ勞ヲ執ルニ至ルヘシ

第四款

(丙) 言論ノ自由出版ノ自由

信教ノ自由ハ已ニ前ニ詳論スル所ナリ而シテ之ト其ノ類ヲ同シクスルモノハ各人諸ノ事物
 ニ就キテ其ノ意見ヲ言論スル所ノ自由是レナリ夫レ人ノ思想ハ國家ノ威力及ヒ法律ノ下ニ
 屬セス其ノ自由ハ人ノ天ヨリ受クル所ニシテ隱レテ外ニ現ハレス以テ能ク外部ノ抑壓ヲ被
 ムルコトヲ免ル是ヲ以テ思想ノ自由ハ人間ノ法律ノ之ヲ命令シ理治スヘキモノニ非サルナ
 リ
 然リト雖其ノ思想ヲ發露シテ言語ト成リ文章ト成リ圖畫ト成ルニ及ヒテハ則チ已ニ幽界ヲ
 離レテ顯界ニ出テ其ノ意趣ノ能ク知見ス可キニ至ルヲ以テ法律統制ノ範圍ニ入ラサルヲ得
 ス

又思想ノ外ニ發表スルニ及ヒテヤ法律ノ保護ヲ要スル場合モ亦頗ル尠カラス且ツ現在ノ有

形事物ト交渉シ之レニ對シテ勢力ヲ及ホスヲ以テ他ノ一般ノ法制ヲ規定スル所ノ法律ノ統轄ヲ受ケサル可カラサルナリ國家ニ於テ一個人言論ノ自由ヲ人生天賦ノ權利トシテ之レヲ認定シ保護セサル可カラサルハ是レ天ヨリ人間ニ與ヘタル思想ノ自由ノ結果ニ外ナラス人ハ常ニ誠實ナルヘキ義務アルヲ以テ其ノ思考スル所ヲ言ヒ得ヘキ權利ヲ有ストノ古言ハ恰モ之ニ適中セリ而シテ言論ノ自由ハ何ノ世ト雖之ヲ許スヲ原則トシ人生自由中ノ最モ重要ナルモノトシテ敬崇スル所タリ

思想ノ發表ハ言語ト文章ト圖畫トヲ問ハス其ノ意義ニ於テハ毫モ差異アルコトナシ是レ智人ノ精神及ヒ情感ノ發シテ人ノ耳目ニ傳ハルモノナリ然レトモ出版ノ發明アリシ以來幾千萬ノ文章ヲ一時ニ印刷シ廣ク四方ノ公衆ニ頒布シ得ヘキ最便ノ方法アリ且ツ第十六世紀ノ宗教爭論アリテ大ニ世人ノ情感ヲ激昂セシメ又政黨論文ニ由リテ大ニ人心ノ動搖ヲ盛ナラシメタルアリ是ニ於テ出版檢閲ノ法ヲ設ケ苟モ政府ノ保護スル宗教ニ反對シ又ハ政府ノ利益ヲ害シ又ハ政界ニ反對セント欲スル者ヲ警戒シ防止スルノ必要ヲ感シタリ而シテ是ヨリ前羅馬法王「アレキサンデル」第四ノ總テ天下ノ著書ヲ檢閲シタルコトアリ後第十六世紀ノ上半ニ在リテ歐洲君主政治ノ諸國ハ概テ皆此ノ法ヲ行ヒ獨逸ニ於テハ當時ノ帝國法律ヲ以テ之ヲ施行シ瑞西共和國ニ於テモ亦其ノ加特力宗及ヒ改新宗ノ文書ニ之ヲ施シタリ

文書刊行ノ自由ハ元ト英國自由權ノ大樹ニ成熟シタル果實ナリ千六百九十四年「ウヰルヘルム、オラーニン」ノ朝ニ方リ議院ニ於テ從來政府ノ有セル刊行文書檢査ノ全權ヲ認可スルコトヲ拒ミタル以來刊行文書檢査ノ跡ヲ英國ニ絶ヤタリ又李國ニ於テハ「フリードリヒ」大王已ニ刊行ノ自由ヲ與ヘンコトヲ欲シタリシモ未タ之ヲ行フニ及ハスシテ殂セシカハ爾後此ノ檢査再ヒ行ハレ其ノ嚴苛ナル舊ノ如シ北米合衆國ハ千七百九十一年憲法制定ノ際ニ於テ自今刊行文書檢査ノ事ヲ廢止スヘキ明文ヲ掲ケ又佛國ハ其ノ革命ノ年ニ於テ刊行ノ自由ハ人生神聖ノ自由ナル事ヲ告示シタレトモ當時人心ノ激昂甚シクシテ實際之ヲ施行スルコトヲ得ス遂ニ革命第四年ニ於テ再ヒ嚴法ヲ發シテ其ノ濫用ヲ防グノ必要ヲ生シ且ツ第五年ニ至リテハ一時政治上ニ係ル新聞ノ檢査ヲ行フニ必要トスルニ至レリ而シテ千八百十四年王國再造ノトキニ及ヒテ始メテ再ヒ刊行ノ自由ヲ認定シ千八百十九年五月十七日ノ法律ヲ以テ之カ保護ノ規定ヲ發セリ抑々刊行ノ自由ハ今世紀歐米文明諸國ニ於テ一般普通ノ權利トナルニ至リタルモ獨リ露國ハ猶ホ舊來ノ後見權ヲ嚴守セリ思フニ露國ノ此ノ權ヲ放棄スルハ猶ホ多年ノ後ニ在ルヘシ

之ヲ實驗ニ徵スルニ陋惡ナル刊行文書ハ風俗ヲ紊亂シ社會ノ毒害ヲ誘起シ流布スルコト尠カラス且ツ未タ秩序アル自由ニ慣熟セサル人民ニ在リテハ刊行ノ自由モ更ニ其ノ實功ヲ收

メサルコトアリ又風俗ノ既ニ壞亂シタル人民ニ在リテハ縱ヒ刊行ノ自由ヲ許スモ之ヲ匡救シ易カラサルナリ然レトモ刊行文書ノ檢査ヲ以テ國家ノ動搖ヲ防キ公共ノ安寧ト幸福トヲ支持セント欲スルノ其ノ空權虛威ニ屬スルコトハ又常ニ實驗スル所ナリ概ネ革命ノ起ラントスル以前ニハ此ノ檢査ヲ施行スルヲ常トナセトモ是レ唯タ表面ニ於テ刊行ノ自由ニ抗抵スルニ過キスシテ却テ更ニ反對黨ノ勢力ヲ助クルニ足ルコトヲ知ルヘシ要スルニ刊行ノ自由ハ其ノ民自由ニシテ宗教及ヒ道德權利ヲ重ニスル國ニ在リテ始メテ其ノ位格ヲ保チ善良ナル効力ヲ有スルヲ得千金ノ寶珠始メテ其ノ固有ノ輝光ヲ放ツヲ得ヘキナリ故ニ文明ノ域ニ躋ルノ國ハ常ニ之ヲ愛重シ之レニ依リテ以テ國民一般ノ意思ト言論トヲ觀察ス

刊行ノ自由ヲ許スト雖固ヨリ無制限ナルニ非ス但タ檢査ハ此ノ制限ヲ加フルニ適當ナル方法ニ非サルノミ何トナレハ檢査ハ第一ニ刊行自由ノ主義ヲ滅却シ第二ニハ檢査ヲ行フ者必シモ寛大ニシテ且ツ明察ナルヲ得サレハナリ蓋シ著者編者ハ人世ノ生活ト事實トニ於テ之ヲ見ルノ博ク之ヲ知ルノ審ナルハ恐ラクハ檢査者ノ及フ所ニ非ス然ルニ檢査者ハ其ノ意ヲ以テ著者編者ノ意ヲ制シ猶ホ未丁年者ノ後見ヲ爲スカ如キノ權力ヲ有スルヲ以テナリ刊行自由ノ制限ヲ行フニ二様アリ一ハ文書ノ種類ノ如何ヲ論セス一般ニ之ヲ行フモノニシテ一ハ政治新聞雜誌及ヒ公告揭示等政治上ノ論說ニ涉ル刊行文書ニ限り之ヲ行フモノトス

政治ニ係ル刊行文書ハ國家ノ安寧幸福ニ關シ直接ニ國家ノ權利ニ關涉スルモノナリト雖其ノ他ノ文書ハ唯タ間接ノ關係ヲ有スルノミ政治ニ係ル刊行文書ハ他ノ單純ナル學術ニ屬スル論說ノ如ク眞理ノ發見ト廣布トヲ以テ其ノ職トスルニ非ス又美術ニ屬スル詩文ノ如ク人心ヲ娛樂シ優美ナラシムルノ目的及ヒ性質ヲ有セス其ノ任トスル所ハ政治上ノ變遷及ヒ鬪爭ニ就キテ一部ノ助力者タルニ在リ殊ニ當世紀ニ及ヒテハ專ラ政黨ノ機關トナリ無形ノ鋒刃ヲ揮ヒ一定ノ目的ト希望トヲ以テ相攻守シ日トシテ鬪爭ニ從事セサルハ無ク時アリテハ永遠ニ利害ヲ及ホス可キ無血ノ大戦ヲ爲スコトアリ故ニ政治ニ關スル文書ノ刊行ハ猶ホ師ヲ行リ干戈ヲ尋フルニ異ナラス其ノ國家ノ生活ニ影響アルヤ大ナリ國家豈之ニ注意セサルヲ得ンヤ

一切ノ刊行文書ハ其ノ種類ノ何タルヲ論セス一般法律ノ制限ニ服從セサル可ラス而シテ一個人ノ自由モ亦其ノ意見ヲ發露センカ爲ニ思想ノ境域ヲ離レテ外世ニ出テタルトキハ隨テ外世ノ法律ニ服從セサル可ラス故ニ其ノ論說ノ形式及ヒ事項ニ於テ國家又ハ一個人ノ權利ヲ損害スルハ宜シク認許スヘキ所ニ非ス國家ハ須ク法律ニ於テ其ノ應ニ守ルヘキ各種ノ規程ヲ定メ若シ國家ノ威嚴及ヒ安寧ヲ害シ又ハ公共ノ風俗ヲ亂シ他人ノ榮譽ヲ傷ケ一家ノ平安ヲ損フコトアルトキハ之ヲ罰シテ寬假スルコトナカル可シ

然シテ政治上ノ刊行文書ニ至リテハ更ニ深密ナル注意ヲ要ス政府ニ於テ其ノ言論ノ方向運動及ヒ勢力ヲ視察シ其ノ善ナル者ハ之ヲ利用シ其ノ惡ナル者ハ之ヲ制止スルヲ以テ最モ必要トス是ノ如ク監督ト指揮トヲ兼ネタル政治刊行文書ノ検査方法ハ近來廢止セラレタル著書検査ノ制ニ依ルヨリハ寧ロ古羅馬ニ行ハレタル検査方法ニ倣フテ可トス此ノ検査方法ニ依テ政府ヲシテ常ニ輿論ノ方向ト公衆ノ希望ノ在ル所トヲ知ラシメ又刊行文書ノ言論ニシテ之ヲ制止シ之ヲ辯解スルヲ必要ト爲ストキハ政府ノ爲ニ其ノ文案ヲ具フル等ノ如キ苟モ學術ニ秀テ且ツ政治上ノ意見アル人ニ非サレハ則チ此ノ任ニ當ルコト能ハス其ノ職任タル榮譽アリテ且ツ重要ナル者タリ然レトモ今世ニ於テ猶ホ此ノ如キ制度ヲ闕クハ惜ムヘキ所ナリ或ハ官府中ニ刊行文書局ヲ設ケント欲セル國アリシモ其ノ主義狹隘ニシテ且ツ警察政治ノ舊想ヲ脱セサルヲ以テ皆竟ニ不良ナル結果ヲ得タリ但シ佛國ニ於ケル刊行文書ノ保護ハ一進シテ命令ニ變シ其ノ極終ニ刊行文書ノ自由ヲ抑壓スルニ至リタリ其ノ他政治上ノ刊行文書ニ施ス所ノ制限ノ種類ハ次ノ如シ

(甲)新聞紙發行者ヲシテ一定ノ身元保證金ヲ納メシムルハ公共及ヒ政治ノ事ヲ論スルヲ以テ任トスル新聞紙ノ確實ヲ擔保セシムルカ爲ニハ必シモ其ノ要ナキニ非サレトモ其ノ功用タル甚々薄シ

(乙)新聞紙ヲ發行セシムルニ豫メ許可ヲ得セシムルノ制限ハ政府ニ反對スル新聞ノ發行ヲ許サスシテ爲ニ刊行ノ自由ヲ抑止スルニ至リ政權濫用ノ弊ヲ生シ易キノ恐アリ故ニ此ノ許否ヲシテ政府ノ擅決ニ一任セス凡ソ其ノ新聞紙ニシテ一定ノ要件ヲ具備スルモノハ政府ノ賛成者タルト反對者タルトヲ問ハス各黨平等ニ之ヲ許スコト、ナストキハ更ニ刊行自由ノ精神ヲ妨ケサルナリ又説ヲ爲ス者アリ曰ク苟モ新聞記者トシテ公衆ニ對シテ言論ヲ爲シ得ヘキ者ハ宜ク法律學又ハ政治學ノ試験ヲ經テ其ノ學識ヲ證明シタル者ニ限ルコト、定ムヘシト然レトモ政府ノ此ノ試験ヲ行フニ其ノ黨ニ私シテ他ノ黨ニ不利ヲ與フルカ如キ弊害ハ斷シテ之ナキヲ保スヘカラス且ツ姑ク此ノ弊害ヲ避ケ得ヘシト爲スモ新聞記者ヲシテ全ク書生ノ手ニ落チシムルニ至ルヘシ抑、新聞記者ハ陪審官又ハ代議士ト同様ナル性質ヲ具フルヲ必要トス政治新聞ノ記者ハ自由ニシテ又重大ナル政治上ノ職業ヲ有シ其ノ國家ノ幸福ニ關スル地位及ヒ勢力ニ於テ尋常官吏ノ上ニ在リ故ニ何人ト雖皆此ノ重任ニ當ルヘキ能力ヲ有スルニ非ス是ヲ以テ新聞記者ノ能力ト其ノ身分ノ確實トハ之ト等シキ政治事務ニ任スル官吏ヨリモ低下ナルコトヲ得ヘカラスナリ

(丙)近來諸國ニ於テ新聞紙ノ有害ト認ムルモノハ先ツ屢々之ヲ説諭シ然ル後政權ヲ以テ停止又ハ禁止ノ處分ヲ行ヘリ此ノ法ハ佛國ニ於テ行ヒタルヲ始メトス此ノ法ニ依レハ政府ノ

其ノ新聞紙ヲ危害ナリト認ムルトキハ何時モ之ヲ抑制スルヲ得ルノ便アリト雖人民言論ノ自由ト反對ノ自由トノ權利ヲ毀損セサルヤ否ニ至リテハ更ニ保スル能ハサル所ナリ若シ新聞紙ニシテ政府ノ恩惠ニ依リ其ノ生存ヲ保ツニ至ルトキハ是レ新聞ノ言論ハ全ク政府ノ意思ニ外ナラスシテ刊行ノ自由ハ徒ニ其ノ外形ヲ存スルニ止マリ其ノ精神ハ已ニ消滅ニ歸セントス政府タル者ハ宜ク自己ノ安寧ヲ保護スルモ亦各黨派及ヒ各個人ノ運動ヲ束縛セス兩ナカラ其ノ全キヲ得セシムヘシ或ハ己ヲ損シ或ハ彼ヲ害スルカ如キコトアルヘカラス

(丁) 新聞紙ニ印紙ヲ貼附セシメ以テ税金ヲ收ムルノ國徃々之アリ英國ノ如キモ亦之ヲ行ヘリ此ノ法ハ主トシテ國庫ノ財源ヲ肥サント欲スルニ出テタリト雖亦下等新聞ノ貧民社會ニ頒賣スルヲ目的トスルモノヲ制限シ或ハ之ヲ抑止スルニ足ルヘシ然レトモ此ノ法ハ國家經濟ノ目的ニ於テ甚タ稱賛スヘカラサルモノアリ何トナレハ新聞ノ業タル他ノ職業ニ比スレハ其ノ收益ヲ以テ主眼トスルモノニ非サルニ之ニ重稅ヲ賦課スルハ即チ言論ノ自由ニ課稅スルモノナルノ譏ヲ免レサレハナリ

(戊) 刊行自由ノ性質ニ反セス且ツ實際ニ効益アルヘキ一ノ至當ノ制限アリ一新聞紙上ニ於テ攻撃セラレタル一個人又ハ官廳ヲシテ亦其ノ新聞紙上ニ於テ同一ノ讀者ニ對シ其ノ冤ヲ辨白スルノ權ヲ得セシムルコト是レナリ新聞記者ハ常ニ新聞社ノ上位ニ在リテ獨リ專ラ刊行ノ自由ヲ使用スルカ故ニ又他人ノ之ト等シク其ノ意思ヲ論說シ得ヘキ自由ヲ敬認スヘキノ義務アリ且ツ記者既ニ其ノ紙上ニ於テ親ラ彼ヲ攻撃シ或ハ人ノ之ヲ攻撃スルヲ許シタリ則チ是レ猶ホ彼ノ辨白ヲ催シタルモノナリト謂フヘシ故ニ其ノ辨白者及ヒ公衆ニ對シテ必ス之ヲ登載スヘキ義務アルナリ而シテ此ノ辨白ハ其ノ紙上ニ掲クルヲ得テ始メテ辨白ノ功ヲ全クスルヲ得若シ他ノ新聞紙上ニ之ヲ掲グルトキハ其ノ効力甚ダ微ニシテ多クハ無用ニ屬スヘシ何トナレハ其ノ辨白ハ始メテ攻撃ヲ載セタル新聞ノ讀者ノ眼ニ觸レヌ又他ノ新聞記者ハ此ノ辨白ニ對シテ利害ヲ有セス且ツ斯ノ如キ私ノ論争ニ對シテ其ノ紙上ノ一部ヲ貸スヘキ義務ヲ有セサルカ故ニ多クハ之カ登載ヲ許諾セサルヘキヲ以テナリ

(己) 偽名ヲ以テ人ヲ攻撃スルヲ嚴禁スルハ各國ノ夙ニ行ヒタル所ナレトモ其ノ効力甚ダ薄シ

(庚) 戰爭又ハ内亂等ノ起ラントスル時ニ際シ政治上ノ刊行文書ニ對シテ特ニ臨時ノ制限ヲ加フルコトアリ是レ已ムヲ得サル救急ノ法ナルヲ以テ之ヲ無理ノ舉ト謂フヘカラス然レトモ是ノ如キ臨時ノ制限ハ豫メ憲法又ハ他ノ法律ヲ以テ之ヲ定メ是レニ依リテ之ヲ行フニ非サレハ政府ハ其ノ時ニ臨ミテ二個ノ危險ヲ受クルヲ免レス其ノ第一ハ政府制限ヲ行フニ由ナクシテ損害ヲ避クルノ道ナク而シテ危險ノ度益々大ナルヲ謂ヒ第二ハ法律ノ範圍ニ出ツ

ルヲ願ルニ暇アラストシ政府又ハ人民自己ニ刊行自由ノ實行ヲ妨クルノ危険是ナリ是ノ如キ場合ニ臨ミテ取ル所ノ策ハ多クハ第二ニ出ルヲ常トス是ノ如キトキハ刊行ノ自由ハ名アリテ實ナク政府ハ其ノ政柄ヲ有スル黨派ニ反對シテ意見ヲ論說シ忌諱ニ觸ル、新聞紙忽チニシテ禍ヲ免レサルヘシ故ニ己ムヲ得サル臨時ノ制限ヲ行フニハ必ス法律ヲ以テ之ヲ豫定セサルヘカラス

(申) 政治ニ關スル公告及ヒ揭示ヲ爲スハ直接ニ之ヲ警察ノ監督ニ委ヌルヲ當然トス何トナレハ此ノ類ハ已ニ自由言論ノ區域ヲ離レテ特ニ政府ノ主權ニ屬スヘキ命令ノ範圍ニ入ルモノナレハナリ

第五款

(丁) 居宅安全及ヒ自由交通ノ保護

(第一) 居宅ノ安全ヲ崇重シ之ヲ保護スルハ日耳曼法律ニ於テ實施シタル最モ優美ナル法理ノ一ニシテ又國家ノ一個人ニ付與シ得ヘキ最モ切要ナル自由ノ一ナリ垣牆家壁ヲ疆界トシテ其ノ内ニ在ル者ハ復タ他人ノ侵襲ヲ患ヘス動搖常ナクシテ且ツ寇讎ニ乏シカラサル世間

ノ波瀾ト焦熱トニ侵サル、コトナク夷然トシテ己ノ領スル所ノ居宅ニ安坐スルヲ得ヘシ蓋シ居宅ノ其ノ身ト其ノ家族トヲ圍擁シ保護スルハ猶ホ身体ノ精神ニ於ケルカコトク居宅ハ即チ人工ヲ以テ其ノ身体ヲ展大シタルモノナリ故ニ人ヲ冒辱シ又ハ其ノ權利ヲ害スルモノニシテ之ヲ其ノ人ノ居宅内ニ於テスルトキ則チ其ノ罪ヲ加重スルヲ常トス政府ノ官吏ニシテ居宅ニ入ルノ必要アルトキモ亦規定ノ條件ニ依リ且ツ慎ミテ家主ノ自由ト安靜トヲ害セザラソコトニ注意スルニ非サレハ居宅ヲ搜索シ又ハ其ノ他ノ公務ヲ行フコトヲ許サ、ルナリ

古代羅馬共和政ノ法律及ヒ日耳曼法ノ竊盜ノ際ニ於ケル居宅搜索ノ規定ハ共ニ此ノ時代ニ於テ已ニ居宅ノ安全ヲ崇重シタル證據ヲ見ルヘシ殊ニ獨逸法ハ大ニ居宅安全ノ思想ヲ發達シ凡ソ居宅外ヨリシテ家内ノ人ヲ驚危セシムル所爲ヲ行ヒ若クハ窓戶ヨリシテ家内ノ狀況及ヒ行爲ヲ窺視スル者ニ對シカヲ以テ之ヲ拒ムコトヲ得セシム又追捕ニ遇フ者ト雖家主之ヲ容匿スルトキハ居宅ノ侵スヘカラサル神聖權ニ由リテ保護ヲ得裁判官ノ逮捕ト雖猶ホ或ハ之ヲ逃カル、コトヲ得タリ彼ノ中古ニ於テ寺院ニ逃入セル罪囚ヲ藏匿スルノ權利モ亦畢竟此ノ精神ニ基ケリ但タ寺院ハ神ノ在ル所ナルヲ以テ其ノ安全權ヲ尊重スルコト尋常ノ居宅ニ過キタルノミ英國人ノ居宅權ヲ重ニスルコト頗ル大ナリ彼ノ有名ナル「チャタム」ノ議

院ニ於テ陳述セル所ハ能ク其ノ實況ヲ言ヒ盡クセリ曰ハク極メテ貧賤ナル者ト雖其ノ居室ニ在ルノ間ハ國王ノ軍隊ヲ盡シテ之ヲ圍ムモ更ニ懼ル、所ナシ其ノ椽墜チ檐傾キ風雨隙チ襲フノ敗屋ト雖英國國王ニ對シテハ更ニ危懼ヲ感セス國王ノ權威ハ此ノ茅屋ノ門限内ニ及ハサルナリ

近來各國ノ憲法中古代ノ主義ニ復シ居室搜索權ヲ制限シ詳ニ規程ヲ設ケテ人民ノ自由及ヒ安全ヲ保護スルモノ尠カラズ

(第二) 其ノ性質最モ居室權ト近接シ且ツ其ノ大半ハ居室權中ニ含蓄スル所ノ所有權ハ宜ク政府ニ於テ之ヲ保護シ確認シ各個人ノ有スル所有ノ名義ヲシテ其ノ實ニ副ハシムルヲ要スヘシ元來所有權ナルモノハ其ノ結局ノ意義ヨリ之ヲ言ヘハ人權ニ外ナラスシテ其ノ紙上ニ明記スル物上權ノ如キハ僅小ノ關係ニ過キス所有權ニ在リテ最モ重要ナル點ハ概テ人ノ思想中ニ存スル條件ニ在リ是ヲ以テ所有ヲ封鎖スル等ノ處分ハ犯罪ノ證據明白ナルヲ待チ寬仁ナル手續ニ依リテ之ヲ施行スルヲ得ルモノトス

(第三) 信書ノ秘密ハ各個人ノ依托シタル郵便信書ニ對シテ政府ノ宜ク守ルヘキ所ナリ彼ノ警察秘密局ニ於テ私信文書ヲ披閱シタル事ノ如キハ人民ノ信用ヲ害シ交通ノ自由ヲ傷ケタルモノニシテ公共ノ德義ヲ維持シ人民ノ權利ヲ保護スルヲ以テ任ト爲ス所ノ國家ノ所爲ニ非サルナリ唯タ戰爭アルカ又ハ刑事ノ豫密ヲ行フニ際シテ此ノ自由ニ制限ヲ加フルコトヲ得ヘキノミ

(第四) 警察ヲ以テ家中ノ集客ヲ窺ヒ私話ヲ探偵セシムルハ亦自由ヲ輕蔑シタルモノニシテ輿論ノ擯斥ヲ免ル、能ハサルヘシ

(第五) 人ノ嫌疑スヘキ所ノ者ヲシテ之ト隨行セシムル事例ヘハ警察官ヲシテ無罪ノ旅行者ニ伴隨セシムルカ如キハ眞ニ民ノ自由ヲ崇重スルノ意ニ非サルナリ且ツ現今文明ノ世ニ在テハ縱ヒ豫審ノ爲ニ拘留シタル者ト雖若シ之ヲ許スヘキ事情アラハ教育アル人士ヲシテ凶惡鄙野ノ徒ト雜居セシムヘカラス凡ソ人身ノ自由ニ牴觸スルモノヲ禁絶スルニ一ニ法律ヲ以テスルハ固ヨリ能スヘキ所ニアラス且ツ法律ヲ以テ之ヲ禁止スルハ僅ニ微弱ナル保護ヲ與フルニ過キス但タ人民ノ思想發達シテ自由ヲ尊重スルニ至リ始メテ實際ノ事物ニ就キ圓滑ニ施行セラル、ヲ見ルヲ得ヘシ

(第六) 擅ニ人家ニ入りテ止宿ヲ強求スル事ヲ禁スルハ居室權ノ保護ニ於テ欠クヘカラス要件ナリ彼ノ兵卒ヲ縱シテ人家ニ入ル、ノ權ヲ以テ政府ニ與フル如キハ居室ノ安全ト自由トヲ傷害スルニ足レリ而シテ古來暴逆ノ政府ハ實ニ此ノ威ニ藉リテ慘酷ナル追捕ヲ爲シ之ニ抗拒スル權利者ヲ抑壓シテ其ノ冤ヲ伸フルヲ得サラシメタリ

第六款

第二 政治上ノ自由權

(甲) 權利ノ平等

權利ノ平等ハ古來皆之ヲ知レリ古來秤量ヲ以テ正義公道ノ模標トセリ蓋シ秤ノ重量ヲ平均スルニ取レルナリ元來權利ハ想像ニ於テ之ヲ論スルトキハ總テ皆平等ノ性質ヲ有スルコト猶ホ水ノ平準ヲ求ムル天性アルコト同シ人ノ權利ハ元ト人類ノ間ニ在リテ存スルカ故ニ人類已ニ相異ナラサレハ其ノ權利モ亦獨リ異ナルノ理ナシ此ノ單純ナル真理ハ國家ノ法規ヲ定ムルニ於テ忘ルヘカラサルノ原則ナリト雖古今人心ノ激昂ニ由リ妄リニ之ヲ程度ノ外ニ擴張シ往々妄言詭説ヲ以テ人ヲ誣誤スルニ至レリ若シ嚴ニ排除ノ方法ヲ施スニ非サレハ再ヒ真理ヲ明ニスル能ハサルニ至ラントス方今國法ノ發達ハ權利平等ノ真理ニ由リテ促サレ又權利平等ノ邪説ノ爲ニ妨ケラレタルモノナリ故ニ今其ノ正邪ヲ判別スルハ理論ト實地トニ於テ共ニ緊要ナリトス

(第一) 所謂ル法律上ノ權利平等之ヲ正言スレハ裁判上ノ權利平等ハ其ノ意義最モ善美ナリ裁判所ハ貴賤トナク主僕トナク貧富トナク皆平等ニ其ノ權利ヲ保護シテ彼ニ厚ク此ニ薄キノ偏頗アルコトナク各人齊ク完全ナル保護ヲ受クルノ所ナリ賤者ハ貴者ニ比シテ其ノ權利ノ保護ヲ受クルニ完カラサルノ理ナク一小役夫ノ汚衣敗器ト雖其ノ所有タルニ於テハ豪商ノ府庫公侯ノ宮殿土地ト復タ輕重アルヲ見ス其ノ損害ヲ保護スルヤ固ヨリ厚薄アルヘカラス是レ此ノ平等ハ即チ平等ノ大法ナリ

(第二) 佛國ノ革命ハ實ニ左ノ語ヲ公告シ以テ人生ノ天權トセリ曰ハク人ハ生ナカラニシテ自由ヲ有シ且ツ平等ノ權利ヲ有ス故ニ此ノ自由ト權利トヲ保有シテ之ヲ失ハサルヲ要スヘシト當時佛國人ハ此ノ權利ノ種類ト數量トヲ問ハスシテ總テ之ヲ均一ニセント欲スル絶對的ノ空想平等論ニ心醉シ却テ其ノ愛護スル所ノ自由ヲ擧ケテ病魔ノ犠牲ニ供シタリ國法上ニ於テ之ヲ觀ルトキハ此ノ説ヤ國ヲシテ先ツ紀綱ナキ共和政治トナシ終ニ亂離ノ無政府ニ陥ラシムルモノナリ今主治者ト被治者トノ間ニ於テ其ノ權利ヲ異ニスルヲ許サ、レハ國其ノ亂離ニ至ラサルヲ欲スルモ得ンヤ又私法上ニ於テ之ヲ觀ルトキハ男女ノ區別父子主僕ノ差等ヲ無クスルヲ以テ爲ニ家族ノ秩序ヲ破壞シ各個人ノ間ニ其ノ財產ノ差アルヲ許サ、ルヲ以テ財產平均ノ迷狂ヲ誘起シ終ニ權利ノ盡ク亡滅スルニ至リテ已ムヲ見ントス是ノ如キ謬説ハ獨リ今日ニ始マリタルニ非ス古ヨリシテ之レアリ但タ今日ノ如ク甚シカラ

サルノミ「アリストーテレス」ノ早ク已ニ其ノ銳明精確ナル語ヲ以テ之ヲ戒メタルニ關セス
 今世各國ノ憲法ニ掲クル所ハ却テ此ノ謬説ヲ助ケタリ「アリストーテレス」曰ク人ハ其ノ
 平等ナル所ニ於テ平等ナル權利ヲ有スヘシ又曰ク平等ノ要件ノ下ニハ平等ノ權利アリト此
 ノ言ヤ國家ヲ轉覆スヘキ棍杆ニアラス又人民ヲシテ互ニ相媚嫉闘争セシムヘキ教唆ニ非ス
 正義ニ適シ公道ニ合ヘリ若シ法律ニ實際ニ此ノ天然ノ權利平等ヲ忘レサレハ法政其ノ善美
 ヲ得テ兆民其ノ慶ニ頼ラン

(第三) 凡ソ天下ノ人其ノ人タルニ於テハ一ナリ其ノ天性及ヒ格位モ亦各種族ヲ通シテ相異
 ナルコトナシ人皆齊ク現世ノ形體ト不死ノ靈魂トヲ以テ生ル形體ハ之ヲ地ニ受ケ靈魂ハ之
 ヲ天ニ受ク故ニ人生ノ權利中ニハ元ト人類一般平等ニ有スヘキ人類權ナルモノアリ而シテ
 此ノ權利ハ或ハ生ナカラニシテ之ヲ有シ或ハ人類ノ漸ク文化ニ進ムニ從ヒテ新ニ之ヲ享受
 シ又ハ改良シタルアリ彼ノ私法上ノ權利ハ多クハ平等均一ニシテ人類普通ノ性質ヲ帶ヒ近
 來益々此ノ性質ヲ加フルヲ見ル人權、親族權、所有權、商業及ヒ交通ノ權皆是ナリ而シテ公
 權ニ至リテハ則チ平等均一ナル能ハス是レ公權ノ完全ヲ欠クニ非スシテ國家ノ性質ノ元ト
 均一ナル能ハサルニ由レリ公權ハ國家一般公衆ノ機關トシテ其ノ中ニ存スル各個ノ等差ニ
 本キテ組織セラル、カ故ニ男女長幼ノ權利相齊シカラサルカ如キ大ニ私法ノ比ニ非ス又國

權ノ各機關中ニ於テモ社會人民ノ間ニ於テモ其ノ權利互ニ相齊シカラサルモノアリ此ノ如
 キ差異ハ皆必要ニシテ至當ナル理由ニ出ツルモノトス夫レ國家ノ法律制度ハ其ノ益々文明
 ニ進ムニ從ヒ益々人民平等ノ天性ヲ尊重シテ勢力強大ナル者ハ之ヲ敬スル神ノ如ク微弱ナ
 ル者ハ之ヲ賤ム禽獸ノ如クナルコトナキニ至ルヘシ然レトモ國家ハ此ノ天然ノ大則ナル平
 等ニ牴觸スルコトナクシテ又人生自然ノ差異ニ應シ各々其ノ憲法ノ別ニ從ヒテ權利ノ差別
 ヲ立テサルヘカラス彼ノ共和政治ノ國体タル多衆ノ關係ヲ平等ニスルヲ主トシ其ノ公權モ
 亦專ラ人民ヲシテ平等ニ之ヲ得セシメンコトヲカメタリ是レ共和政治ニ於テ見ルヘキ固有
 ノ性質ニシテ貴族政治ノ專ラ少數ナル貴族ノ特權ヲ保護スルト全ク相反セリトス而シテ共
 和政治ハ貴族政治ニ比スレハ人生平等權利ノ真理ニ近キモノアリ是レ共和政治ノ平等ヲ以
 テ其ノ國体ノ主眼ト爲セルカ故ニ非ス但テ社會ノ關係ニ從ヒテ各々相當ニ其ノ權利ヲ保護
 スル事ニ於テ貴族政治ハ僅ニ少數ナル社會ニ止マルモ共和政治ハ普ク多衆ナル社會ニ及ブ
 カ故ナリ現今世人ノ聒々トシテ法律上權利ノ平等ヲ要求スル所以ハ是レ人生天賦ノ原則ニ
 出テタル結果ニアラスシテ實ニ共和主義ノ頗ル勢力ヲ得タル證據ナリ蓋シ共和主義ハ社會
 ニ等級ノ差別アルヲ以テ自己ニ妨碍アルモノトシ財產年齢及ヒ教育等ニ由リテ區別ヲ爲ス
 コトヲ攻撃シ之ヲ破壊セント欲スルモノナリ

(第四) 凡ソ人ハ各個ニ之ヲ論スレハ人々皆相齊シカラサルモノナリ天地間ニ生息スル人類トシテハ互ニ一ニ合スト雖分レテ一個人トナルニ及ヒテハ互ニ齊キコトヲ得ヘカラス天下ノ人は是ノ如ク其レ多シト雖二人全ク同シキ者アルコトナシ同時ニ出産シ同様ニ生長シタル雙生ノ兒子ト雖亦相異ナル所アリ異同共ニ人世ノ眞理ナリ故ニ法律ハ獨リ異ヲ取ルヘカラス又獨リ同ニ與スヘカラス兩者ノ中ヲ得テ偏重ナキヲ要スヘシ而シテ私法ハ實ニ之ヲ行ヘリ例ヘハ財産ノ形タル其ノ總テ相同シキコト猶ホ形体ノ一切ノ人ヲ通シテ相齊シキカコトシ然レトモ各個人ノ所有スル財産ハ其ノ大小種類皆相齊シカラサルカ故ニ此ノ形ハ各個人ノ生活ニ從ヒテ無窮ノ相異ナル種類ヲ以テ充タサル、コト猶ホ形体中ニ居ル精神ノコトシ而シテ公法ニ至リテハ恰モ重テ此ノ差異ニ置クモノナリ公法ニ在リテハ一個人ノ才識アル者其ノ權利ヲ得ルノ他人ヨリ多キコト猶ホ熟練ナル商業者ノ私法上ノ權利ヲ有スルコト多キニ同シ加之ナラス官吏議員ノ職ノ如キ公權ノ一部ハ才識アル者獨リ之ヲ占有セリ之ヲ要スルニ權利ノ平等ト權利ノ不同トハ相連絡シテ相離レス平等ノ事体ニハ平等ナルヲ要シ不同ナル事體ニハ不同ナルヲ要ス

第七款

(乙) 請願及ヒ訴願ノ權

凡ソ國家ノ臣民ハ政府及ヒ官廳又ハ立法院ニ對シテ各、其ノ司管事務ニ關スル請願及ヒ希望ヲ呈シ又ハ訴願ヲ爲スノ權利ヲ有スルハ事体ニ於テ實ニ當然ト謂フヘク且ツ更ニ嫌忌スヘキ所ナシ然ルニ今世歐洲各君主國并ニ共和政治ノ國ニ於テ甚々之ヲ嫌忌シ請願又ハ訴願スル者ヲ視テ故ラニ事ヲ好ムモノ、如クシ又ハ不敬ノ罪ヲ犯セルモノ、如クスルハ解スヘカラサル所ナリ古ヨリ明君英主ハ好ミテ臣民ノ訴ヲ聽キ唯々其ノ壅塞ヲ之レ恐レタリ君主ニシテ已ニ自ラ訴ヲ聽クヘクハ國家ノ機關タル官廳ニ於テ亦訴ヲ聽クヘキハ勿論ナリ政府若シ此ニ由リテ常ニ人民ノ感想ノ方向ト希望トヲ探知スルコトヲ得ハ是レ政府ノ爲ニ益アリテ害ナシ況ンヤ國家ハ臣民ノ幸福ヲ謀ルヲ以テ任ト爲スモノナリ然ルニ臣民ノ請ヲ聽カス訴ヲ許サストセハ之ヲ暴逆ト謂ハスシテ可ナランヤ彼ノ奴隸ト雖猶ホ其ノ主ニ對シテ請訴スルコトヲ得ルニ非スヤ凡ソ其ノ臣民ニ與フル所ノ政權ニシテ紙上ノ虛文ニ非サル國ニ在リテ請願及ヒ訴願ノ權利初メテ確立スルヲ得ヘシ而シテ方今ノ憲法ニハ多クハ明文ヲ掲ケテ之ヲ確定セリ

請願及ヒ訴願ノ權ハ左ノ制限ヲ受クルヲ當然トス

(甲) 公法上丁年ニ達セサル者ハ此ノ權ヲ行フコトヲ得ス又此ノ權ハ元ト人ニ屬スルヲ以テ自ラ意見ヲ有シ及ヒ之ヲ發示シ得ヘキ眞個ノ人ニ在リテ獨リ之ヲ行フコトヲ得即チ隨意ニ集合シタル民衆ノ如キハ此ノ權ヲ有セス但シ各種ノ會社團體ハ之ヲ有ス

(乙) 請願及ヒ訴願ノ事項ハ之ヲ呈出シタル官司ノ職權内ニ在ラサルヘカラス

(丙) 請願及ヒ訴願ノ文章ハ官司ニ對シテ當ニ守ルヘキノ敬禮ヲ欠クヘカラス又風俗ヲ紊リ德義ヲ傷ルノ語アルヲ許サス

近時建白^{アドレツセ}ヲ以テ請願ニ代フル者往々之アリ是レ希望又ハ請求ヲ爲スニ非スシテ其ノ喜悅ノ意ヲ陳ヘテ謝詞ヲ呈シ又ハ不満又ハ不服ノ意思ヲ表白スルモノナリ其ノ事タル固ヨリ惡事ニ非スト雖唯タ建白者ノ動モスレハ官ニ對スル地位ヲ忘レテ敬禮ヲ失フニ至リ易キヲ以テ最モ嚴ニ其ノ格例ヲ守ラシメ若シ之ヲ欠クモノハ受理セサルヲ可トス

政府又ハ議院ハ人民ノ請願及ヒ建白ニ就キテ其ノ權利ヲ濫用スルヲ恐ル、ヲ要セス是レ各個人ノ己ノ身上ニ就キテ請願スルモノニ於テノミ然ルニ非ス黨派ノ請願又ハ建白ニ熱心シ多衆ヲ集メテ其ノ目的ヲ達セント欲スルモノニ至リテモ亦然リトス是ノ際ニ方リテ黨派ハ其ノ委員ヲ派シ全國戶々ニ就キテ贊成ヲ求メ其ノ建白書ニ逆署捺印スルヲ要スヘシ故ニ一黨派ノ意見ト雖時アリテハ全國民ノ意見ヲ裝フコトアルヘク又實ニ全國民ノ意見トナリ大

ナル勢力ヲ有スルコトアルヘシ然レトモ強勢ナル政府ト不羈ナル議院トハ其ノ自ラ正當ニシテ善良ナリト信スル所ヲ行ヒ他ノ牽掣ヲ受ケサルヘシ前ニ英國ノ議院ハ愛蘭反對黨ト某吉爾勞力社會黨トノ請願亂ニ對シテ能ク其ノ地位ヲ保チタリ然ルニ微弱ナル政府ハ縱ヒ自ラ其ノ説ノ遙ニ善美ナルヲ信スルモ輿論ノ潮勢ニ堪フルコト能ハスシテ之カ爲ニ己ヲ屈スルコトヲ免レス故ニ此ノ緊急ニ際シテ連署ヲ集ムルコトヲ禁シ又ハ警察ノ力ニ藉リテ之ヲ妨グルヲ必要トナスコトアルヘシ然レトモ之ヲ禁シ之ヲ妨グルトキハ一ハ以テ國民天與ノ自由ヲ害シ一ハ以テ民衆ヲシテ其ノ意見ヲ強行セント欲スル執拗心ト抗抵力トヲ増サシムルニ足ルカ故ニ曾テ之ヲ爲サ、ルノ愈ルニ如カサルナリ是ノ故ニ國ノ政局ニ當ル者ハ適當ノ時ニ臨ミテ豫メ雲霧ヲ消散スヘキ處置ヲ施スカ然ラサレハ到底避クヘカラサルニ及ヒテ毅然トシテ風雨ノ衝ニ當ラサルヘカラス

第八款

(丙) 結社ノ權利

人民相集リテ社ヲ結ヒ共同ノ目的ニ從事スルニ其ノ目的ノ私事ニ屬スルモノハ固ヨリ單純

ナル私法ニ屬スヘシ即チ文學ノ爲ニ共同遊娛ノ爲ニ又ハ慈惠上ノ事業ノ爲ニヌルカコトシ凡ソ此ノ類ノ社ヲ結フカ爲ニ特ニ政府ノ認定ヲ要スルハ自然ノ關係ニ於テ更ニ其ノ理由アルヲ見ス古日耳曼人ハ古ヨリ結社ノ自由ヲ以テ自由人民ニ固有スル權利ト爲シ何ノ時何ノ地ニ於テモ概ス皆之ヲ行ヘリ

然シテ政治上ノ結社ニ至リテハ其ノ存在ト勢力トハ政府及ヒ人民ノ政治上ノ生活ニ於テ密接ノ關係ヲ有スルカ故ニ單純ナル私事ノ結社ト相異ナル所ナカルヘカラス英國及ヒ米國ニ於テハ初メヨリ常ニ此ノ類ノ結社ヲ認メテ亦當然ノ自由トシタリト雖兩國ニ於テ此ノ權利ノ始メテ大ニ實際ニ發達シタルハ第十八世紀ノ下半ニ在リ然シテ歐洲大陸ノ諸國ニ至リテハ皆其ノ國權ヲ危害センコトヲ恐レ取テ之ヲ許シタルモノナシ千七百九十一年佛國憲法(第一章)ニ於テ始メテ集會ノ自由及ヒ結社ノ自由ヲ布告シタリ然ルニ佛國ニ起レル政社政治ノ惡結果ハ竟ニ再ヒ制限法ノ發布ヲ促シ後チ拿破翁朝及ヒ「ボールボン」朝ノ時ニ及ヒテモ猶ホ政社ハ特ニ政府ノ認許ヲ得タルモノニ限リテ之ヲ設クルコトヲ得ヘキ舊制ヲ改メス蓋シ政社ハ之ヲ許サ、ルヲ以テ例トナセルナリ降テ千八百四十八年ニ至リ新ニ結社ノ自由ヲ認メタルコトアリシモ數月ノ後チ即チ七月廿八日ニ至リ復タ頗ル嚴峻ナル結社法ヲ布告セリ其ノ後千八百六十八年ノ改正ニ由リテ始メテ舊制ヨリ寬濶ナルニ至レリ又獨逸ニ於テ

ハ政治上ノ風波漸ク激昂シ往々政社ヲ創設セントスル計畫ヲ爲ス者アリシモ皆警察ノ妨制ニ由リテ果サス遂ニ千八百三十二年七月五日獨逸聯邦會議ニ於テ一切ノ政社ヲ禁シタリ降テ千八百四十八年ノ革命起ルニ及ヒ初メテ獨逸諸國ノ憲法ニ結社權ノ原則ヲ掲グルニ至レリ而シテ他ノ歐洲諸國ニ於テハ是レヨリ前已ニ結社ノ自由ヲ認定セリ

此ノ類ノ結社ハ國家ノ各機關タル官廳又ハ町村ノ如ク國法上ノ法人タル性質ヲ有セス其ノ内部ニ於テ自ラ一定ノ組織ヲ爲シ且ツ往々政治上ニ勢力ヲ有スルモ猶ホ國家内ノ一無機體タルニ過キス然シテ其ノ單純ナル政治集會ト異ナル所ハ存續ノ永久ナルニ在リ又政黨ト異ナル所ハ一定ノ組織ヲ爲スニ在リ其ノ性質タル各社員隨意ノ進退ヲ以テ共同ノ目的ニ從事スル一會社ノミ

政社ハ其ノ國民自由ヲ有スルコト寬裕ニシテ官吏外ノ社會モ活潑ナル政治思想ニ富ミ且ツ一意ニ持論ノ成功ヲカムル者多キ國ニシテ始メテ成立スルコトヲ得ヘク而シテ自治ノ精神堅固ナル自由ノ民ニシテ獨リ能ク隆盛ニ至ルコトヲ得ヘシ政社ハ其ノ民ニ伏藏シテ未タ顯レサル才力ヲ發生シ養成シ以テ政黨其ノ他公益アル事業ヲ贊助ス然レトモ又事情ニ由リテハ國家ノ安寧ヲ危害シ或ハ其ノ反對スル所ノ官廳ノ權力ヲ傷害スルニ足ルモノアリ近來諸國ノ法律ニ於テ政社ヲ制限スルカ爲ニ行フ所ハ主トシ左ノ方法ニ依レリ

(甲) 政社ノ目的トスル所及ヒ此ノ目的ヲ達スルカ爲ニ取ル所ノ方策ニシテ刑法ノ禁スル所又ハ普通ノ法規ヲ犯スモノナルトキハ之ヲ設クルコトヲ許サス此ノ制限ハ何ノ國ニ於テモ普通ニ行ヒ得ヘキモノナリト雖未タ以テ制限ノ目的ヲ達スルニ足ラサルナリ

(乙) 其ノ他政社ニシテ苟モ國家ヲ危害スヘキ方向ヲ取ルモノハ縱ヒ未タ刑事裁判ノ手ヲ經サルモ政府ハ之ヲ解社セシムルノ權利ヲ有スルコト論テ俟タス一個人トシテハ其ノ國ノ憲法ニ反對シタル主義ヲ有シ又ハ自ラ之ヲ信スルモ自由ナリト雖已ニ政社ニ團結スルニ至テハ其ノ全ク國家ノ主義ニ反對ナル主義ヲ取り君主國ニ在リテ共和政ノ政社ヲ立テ共和政國ニ在リテ君主國ノ政社ヲ設ケ方今ノ文化國ニ在リテ財產共同主義ノ政社ヲ置ント欲スルカ如キモノハ是レ國家ヲ覆滅スルカ爲ニ嘯聚スル反逆ノ賊兵ニ異ナラサルナリ若シ政府タルモノ其ノ己レニ危害アルヲ願ミスシテ之ヲ討ツヲ肯セサルトキハ是レ政府自ラ其ノ存立ヲ欲セサルモノナリ然リト雖政府ハ又慎テ此ノ權力ヲ濫用セサルコトヲ務ムヘシ夫ノ政黨ヲ組織シ又ハ法律ノ限度以內ニ於テ政府ニ抗論シ又ハ憲法及ヒ法律ノ改正ヲ爲サント欲スル者ヲ妨碍スルカ如キハ是レ則チ權力ヲ濫用スルモノナリ

(丙) 政社ノ目的ノ如何ニ關セス其ノ組織ノ如何ニ由リテ之ヲ解離セシムヘキ理由ヲ生スルコトアリ若シ一ノ政社アリテ國家ノ組織ニ擬シ土地ノ區畫及ヒ人民ノ部分ヲ定メ之ヲ全國

又ハ一地方ニ布設シ各所ニ機關ヲ設ケテ地方ニ散在スル小社ヲ管轄シ其ノ狀恰モ町村ノ縣若クハ郡ノ參事會ニ屬スルカ如ク此ノ機關ハ又一ノ中央委員ニ統轄スルモノアラン然ルトキハ是レ國家内ニ又一ノ國家ヲ出セルモノニシテ假令ヒ結社ノ目的嘉スヘク且ツ政府ニ對シテ不良ノ意思ナシト雖之ヲ存立セシムルトキハ全國民ヲ包羅スル國家ノ主義ニ反對スヘシ何トナレハ政社ハ國家ト其ノ威力ヲ爭ヒ政府ト政社政府ト並立シテ相下ラス又ハ終ニ相混淆シテ政府其ノ國家タルノ性質ヲ失ヒ政社政府ニ沈淪スルニ至ルコトアルヘキヲ以テナリ

(丁) 政社ニシテ法律ニ違反スル目的ヲ有セス又國家ニ危險ナラス其ノ組織ニ於テモ亦之ヲ禁止スルヲ要セスト雖政府之ニ對シテ猶ホ監督ノ權ヲ有スヘキハ是レ專理ノ然ラシムル所ナリ政府ハ一國ノ政務ヲ總攬スルヲ以テ任ト爲スカ故ニ凡ソ其ノ下ニ結社スル人民ノ連絡ニ注意シ且ツ法制ヲ越エテ之ニ加入スル者ナキヤ否ヤヲ知ルヘキ權利アリ故ニ政府ハ其ノ國家ノ安寧ヲ保持スルカ爲ニ政社ヲシテ定款ト社長ノ姓名トヲ申告セシメ議事録ヲ檢閲シ議序ニ官吏ヲ臨マシムルコトヲ得政社ハ公開ヲ彈ルノ理アルコトナシ苟モ之ヲ彈ルノ政社ハ是レ嫌疑スヘキノ跡アルモノナリ然レトモ政府若シ此ノ監督權ヲ濫用シテ常式ノ警察監督トナシ政社ヲ視テ罪人ニ同シクスルコト先ニ佛國ノ法律ニ於テ之ヲ定メ後チ獨國法ノ之

ニ倣ヒタルカ如クスルトキハ是レ政府間接ニ政社ノ喉ヲ扼シテ其ノ呼吸ヲ禁スルモノナリ

第九款

(丁) 集會

本款ニ於テ言フ所ノ集會ハ古ヘ希臘ノ共和政ニ於テ又ハ中古ノ初ニ方リ日耳曼諸國ニ於テ行ハレ今世瑞西各州ノ町村ニ行ハル、如キ一定ノ組織アル集會ニ非ス又憲法ノ明文ニ依リ又ハ國家變革ノ際ニ方リテ國民隨意ノ協議ニ基キテ設置スル立法的ノ集會ニ非ス多衆人民ノ公然タル隨意ノ集會ニシテ更ニ國家ノ機關ニ關係セズ其ノ目的ハ政治上ノ意見又ハ希望要求ヲ公言スルニ在リ今世政治ノ問題ノ激昂スル時ニ際シテハ俄ニ此ノ類ノ集會ヲ現出スルハ諸國ニ於テ頻ニ見ル所ナリ其ノ狀ハ庶民共同ノ集會ナレトモ會テ一定ノ組織アルニ非ス其ノ性質ハ國民ノ協會ト言ハソヨリハ寧ロ黨派ノ集會ト言フヘク而シテ通常又黨派ノ示威運動ニ利用セリ蓋シ此ノ會ニ列スル者ハ悉ク黨派ナルニ非ス黨派ニ關係ナキ國民ノ多數相共ニ會同スルコト少カラス然レトモ之ヲ招集シ又之ヲ提擲スル者ハ概ネ黨派ノ内ヨリスルヲ常トス且ツ會規ヲ定メ議題ヲ出シ及ヒ之ヲ説明シ又ハ演說者ヲ指定シ時トシテ贊呼者

ヲモ豫定シ而シテ決議スル所ノモノ、實施ニ任スル等ハ皆黨員ニ非サルハナシ黨派一朝其ノ應ニ人心ニ投合スヘキ論題ヲ得之ヲ旌旗ニ掲ケテ運動ヲ爲スニ方リテ衆民四方ヨリ雲集シ新ヲ喜ヒ奇ヲ好ムノ徒其ノ利害ノ相關スル所ニ非ルモ亦爲ニ誘諷セラレテ遂ニ其ノ黨派ノ勢力ヲ倍加スルニ至ル是ニ於テ其ノ黨長ノ周施宜キヲ得又論題明白ニシテ之ヲ講演スル者能ク多衆ノ感想ニ投合シ之ヲ誘動スルノ才有スルトキハ全會ノ人心忽チ之ニ雷同シ猶ホ洪波ノ滔々トシテ泛濫スルニ方リテ之ニ抗スルモノ皆併セテ掃去ラル、カコトク其ノ間或ハ少數ノ思慮アル者アルモ之ヲ能ク禦クナキナリ是ノ如ク集會シタル人民ハ一タヒ散去スト雖人々其ノ受ケタル所ノ感想ヲ懷ニシ其ノ己ニ歸ルニ及ヒテ各々之ヲ四隣ニ傳ヘ一唱一和愈々其ノ說ヲ廣カラシム而シテ黨長ハ俄ニ其ノ勢力ヲ増シ威權頓ニ異ナリ往々政府ヲシテ其ノ心ヲ塞カラシムルニ至ル

凡ソ政治上ノ意見ヲ公言スルニ其ノ勢力ノ強盛ナルコト此ノ類ノ集會ニ如クモノナシト雖大國ニ在リテハ其ノ危險亦甚シキニ至ラサルヘシ何トナレハ大國ハ其ノ人民甚タ多キヲ以テ集會ニ加ハル者ハ僅ニ其ノ一部ニ止ルヘク且ツ政府ニ敵スルノ色アルニ及ヒテ之ヲ制壓スルモ其ノ威力ニ乏シカラサルヘケレハナリ英國ハ其ノ民貴賤トナク能ク法律ヲ遵奉シ強盛ナル貴族上ニ在リテ國ノ秩序ヲ維持スルノ國ナリ然レトモ昔時「オレーフェル、コロムウ」

ルノ愛蘭黨ノ大衆ヲ集メ所謂ル巨大會議ヲ起シテ當ルヘカラサル勢力ヲ得タルトキハ政府ハ已ムヲ得スシテ爾後ノ集會ヲ禁止スルニ至レリ

小國殊ニ共和政國ニ於テ此ノ類ノ集會ニ會スル者多衆ニ至リ且ツ議論熱心ナルトキハ其ノ勢力容易ニ國家ヲ震動ス黨派ノ集聚シタル多數ヲ以テ國民ト爲シ其ノ言論スル所ノ意見ヲ以テ直ニ國民ノ意思ト爲スハ往々惑ヒ易キノ誤ナリ而シテ會徒モ亦自ラ信シテ國家第一ノ威力ヲ占メシコトヲ熱望シテ已マス又國民ノ代表者タル議會ト雖其ノ黨論ニ反對スルコトヲ敢テセス適々之ヲ試ムル者アルモ爲ニ羈束セラレテ其ノ力ヲ伸フルコトヲ得サルヲ見ル然レトモ黨衆ヲ認メテ國民ト爲シ黨論ヲ認メテ國民ノ意ト爲スハ國家ノ主義ニ反シ且ツ共和政治ノ主義ニモ適合セス若シ此ノ類ノ集會ヲシテ國家ノ上權ヲ占メシムルモ亦猶ホ國家ノ主義ニ妨クル所ナシトモハ世復々亂離ノ無政府國ナルモノアランヤ瑞西千八百三十年後屢々此ノ不幸ニ罹リ憲法及ヒ政府ハ屢々集會ト反對黨トノ爲ニ變壞セラレ政府ノ力微弱ニシテ衆民團結ノ威力ヲ抑制スルコト能ハス

此ノ類ノ集會ハ平時ニ於テ殆ント稀ナリ其ノ起因トスル所ハ常ニ民心ノ激動ニ在リ一朝國家ノ大事有ルニ及ビテ黨派ノ熱氣漸ク炎ヲ發シ衆心燃ユルカ如キニ至リテ忽チ爆然トシテ噴火ス此ノ時ニ方リテ禁止ノ令ヲ施スモ大威力ノ之ニ伴フニ非サレハ更ニ其ノ効アルコト

ナシ曩時巴里ニ於テ施シタル改革宴會ノ禁止ハ適チ革命亂ノ近因ヲ爲シ「オルレアン」朝ヲ滅シ佛國ヲシテ永ク王位ヲ廢セシメタリ然リト雖之ヲ許シテ恣ニ威力ヲ逞クセシムルモ亦頗ル危險ナリ瑞西及ヒ獨逸ハ千八百四十八年ニ於テ之ヲ實驗セリ若シ一ノ黨派ニ之ヲ許ストキハ他ノ黨派ノ之ニ對シテ己ノ勢力ヲ張ラント欲スルモノモ亦他ニ方策ナキヲ以テ競フテ集會ヲ爲スニ至ル此ノ時ニ於テ黨勢能ク他黨ニ敵スル能ハサルモノハ一時敗北ヲ免レス國法上ニ於テ此ノ類ノ集會ニ對シテ加フルコトヲ得ヘキ制限法ニアリ一ハ例ニ於テ之ヲ禁止シ特ニ事情ニ由リテ之ヲ許スモノナリ此ノ法ハ全ク集會ノ害ヲ去ルニ適當ナルヘク殊ニ小弱ナル國ニ用ヒテ効益少カラス何トナレハ國家ノ秩序ヲ危クシ國民ノ代表タル議會ノ主權ト政府ノ憲法上ニ有スル國權トヲ害スルノ損失ハ遙ニ集會ノ與ヘ得ヘキ利益ニ勝ルヘケレハナリ蓋シ集會ノ利益トハ一時人民ノ熱氣ヲ散出スヘキ窓戶トナリ又ハ其ノ取ル所ノ説ハ實ニ至當ナル輿論ニシテ國政ノ民ニ不利ナルモノヲ明ニシ之カ撤去ヲ助クルノ類ナリ立法院ヲ設ケ國民ヲシテ代議セシメ裁判法ヲ完全ニシ町村及ヒ各個人ノ請願權ヲ明ニシ其ノ他人民ノ權利ヲ明確ニシテ能ク其ノ利用ヲ錯ルコトナク堅ク政柄ヲ秉リテ動カサルトキハ人民復々示威ノ運動ヲ爲スノ餘地ナカラントス

其ノ一法ハ久ク英國及ヒ米國ニ行ハレ近來歐洲大陸諸國ニ於テ一般ニ之ヲ用ヒ殊ニ大國ニ

施シテ効益アルヘキモノニシテ例ニ於テ集會ノ自由ヲ許シ特ニ事情ニ由リテ之ヲ禁止スルノ制ナリ而シテ此ノ自由モ亦左ノ制限ヲ設ケテ之ヲ檢束ス

(甲) 集會ノ體式ニ關シテ制限ヲ設ケ總テ武器ヲ携帯スルコトヲ許サ、ルテ當然トス何トナレハ黨員皆兵トナリ黨長之ヲ指使スルトキハ一般國家ノ秩序ヲ害スルコト甚シケレハナリ
(乙) 又集會ノ地ニ關シテ制限ヲ立テ議院開設地ノ近傍ニ於テスルヲ許サ、ルテ要ス國民ヲ代表スル議會ニ於テ自由ナル言論ト議決トヲ爲スニ方リテ其ノ近傍ニ喧擾劇烈ナル集會ノ言論アラハ豈ニ爲ニ自由ヲ妨グルコトナキヲ得ンヤ

(丙) 招集ヲ司ル黨派ノ委員ヲシテ豫メ集會ノ日時場所及ヒ目的ヲ警察ニ申告セシメ且ツ委員ノ主タル者及ヒ當日演說者ノ姓名ヲ添ヘシムルヲ要ス已ニ集會ニ於テ一大示威運動ヲ爲サント欲スル黨長等ハ彼ノ密謀者ノ如ク其ノ目的ヲ國家ニ表白スルヲ忌ムヘキ理ナク又國家モ其ノ事体ニ從ヒテ國家ノ安全ヲ豫防スルノ處置ヲ爲スヘキ餘裕ヲ得ヘキヲ以テナリ
(丁) 集會ノ間政府ヨリ吏員ヲ適當ノ所ニ派遣シテ監督セシムルハ固ヨリ政府ノ權利ニ屬ス
(戊) 凡ソ集會ノ事狀ニ由リ或ハ人身所有又ハ國家ノ秩序ヲ危害セントスル恐アルモ猶ホ未タ之ヲ禁止スヘキニ至ラサルトキハ委員等ヲシテ保證金ヲ納レシメ集會自個ニ由リ又ハ之ニ列シタル衆民ニ由リテ損害ヲ生シタルトキハ總テ之ヲ以テ賠償ニ充テシムヘシ是レ損

害ヲ豫防スルニ最モ實効アル方法ナリ且ツ政府斯ノ如ク豫メ安全ノ道ヲ謀ルトキハ隨テ亦其ノ權利ヲ全クスルコトヲ得ヘシ

第十款

(戊) 抗禦ノ權利

有識ナル英國ノ法學者嘗テ言ヘルアリ曰ハク願クハ君主及ヒ大臣ハ國人ノ暴政ニ對シテ抗禦スルノ權利ヲ認許シ而シテ國人ハ又凡ソ政府ニ對スル抗禦ヲ認メテ非理ト爲サンコトヲ然ルトキハ君主及ヒ大臣ハ其ノ施政ヲ慎ミテ爲ニ人民ヲシテ抗禦ノ權利ヲ生セシメサルニ至ルヘク人民ハ亦相戒メテ抗禦ヲ爲サルニ至ルヘシト而シテ之ヲ實驗ニ徴スルニ此ノ言ヤ今世ニ至ルマテ猶ホ慈仁ノ空望ニ屬スルノミ

未タ政務ヲ害スルニ至ラサル細小ノ拒命ヨリ兵ヲ帶ヒ衆ヲ聚ムル反逆ニ至ルノ間ニ於テ危險ナル一條ノ長逕アリテ斷崖ノ上ニ懸レリ古今此ノ徑ヲ行ク所ノ各個人又ハ全國民ハ屢々墜落ノ禍ニ遇ヘリ古來史乘ハ國民ノ堪ユヘカヲサル危急ニ當リ此ノ徑ニ由リテ救濟ヲ得タル事實ヲ傳ヘ而シテ又其ノ不朽ノ斷案ヲ以テ此ノ類ノ事蹟ニ對シテ嚴酷ナル罪科ヲ宣告シ

タルモノ多シト雖厄又ハ之ヲ嘉賞シテ芳名ヲ千載ノ下ニ流セルモノ亦復タ妙カラサルナリ」抑々國家ハ人ニ對シテ絶對ノ權利ヲ有セス故ニ公民ノ其ノ公府ニ對シ一個人ノ國權ニ對スル服從ハ共ニ絶對ノモノニ非ス顯界ナル權利ノ管域ヲ離レテ自由ナル精神ノ幽界ニ入ルニ及ヘハ國權ニ對スル服從輒チ止ム故ニ一個人ハ國家ノ指示ニ從ヒテ其ノ信向思慮及ヒ感想ヲ枉クヘキノ義務アルコトナシ

然レトモ一個人ノ國家ニ服從スヘキ義務ノ境界ハ獨リ天神ノ人體創造ト共ニ與ヘテレタル顯幽ノ間ニノミ存スルニ非サルナリ元來一個人ノ國家ニ對スル服從義務ハ國家ノ境界内ニ生活スル部分ニ在リテ存シ若シ國權一タヒ私法ノ區域内ニ侵入スルトキハ其ノ公事ニ由ルニ非サルヨリハ服從ノ義務ヲ生スルコトナシ假令ヒ私法ト公法ト牴觸シ私法之カ爲ニ下ルヘキトキト雖亦同シ蓋シ國家ハ其ノ安全ヲ維持スルニ必要ナルトキハ其ノ臣民ノ血ト財產トヲ擧ゲテ犧牲ニ供セシムルヲ得ルト雖君主若シ其ノ意ヲ喜ハシムルカ爲ニ臣民ノ生命ヲ弄セント欲シ又ハ恣ニ一個人ノ財產ヲ奪ハント欲シ又ハ其ノ家族ノ權利ヲ汚シ其ノ婦女ヲ奸スル等ノ所爲アルトキハ是レ已ニ公府トシテ命令シ得ヘキコトニ非サルヲ以テ政府ノ權利トシテ之ヲ視ルヘカラス故ニ臣民モ之ニ服從スヘキ義務アルコトナシ是ノ際ニ於テハ復々國家ノ臣民ニ非スシテ同等ノ人相對スルニ過キサルノミ

又國權ノ運動ハ縱ヒ自個ノ境域内ニ在リテモ必ス法規ノ範圍ヲ越エサルヘシ法規ニ違越セル威力ハ至當ナル抗抵ヲ引起ス然レトモ國權ノ境域内ニ起ル抗抵ハ通常國家自ラ之ヲ判決スルヲ法ト爲スカ故ニ抗抵者ハ久ニ耐ヘテ抗爭スルコト能ハス

國權ノ將ニ己レニ加ヘントシ又ハ既ニ己レニ被ラシメタル非理ニ對シテ一個人ノ爲スチ得ヘキ不服及ヒ抗禦ノ種類ハ一ニシテ止ラス今其ノ最モ正理ニ適スルコト疑ナキモノヲ擧ゲテ左方ニ掲ク

(第一) 單ニ命令ヲ拒絕シ且ツ併セテ一個人ノ權利ノ在ル所ト國權ノ非理ナル所以トヲ明示ス古來此ノ途ニ依リテ政府ニ其ノ非ヲ悟ラシムルモノ徃々之レ有リ又憲法及ヒ法律ニ於テ一個人ノ權利ヲ保護スル明文ニ據リテ裁判所ニ告訴シ又ハ論難辯駁ノ方法ニ依リテ其ノ被ムル所ノ非理ヲ明ニシ以テ正道ヲ將來ニ望ム昔シ基督ハ人間ニ遺スニ一大龜鑑ヲ以テシ官府ノ主權ニ抗シテ刃ヲ擧ルヨリハ寧ロ人生不滅ノ權利ノ爲ニ痛苦ヲ忍ヒ冤罪ニ死シテ願ミス死ヲ視ルコト猶ホ歸スルカコトクナルヘキコトヲ教ヘタリ

(第二) 羅馬法ハ此ノ事ニ關シテ其ノ明文ヲ掲グルコトヲ忘レス政府ノ非理ナル權威ニ對スル一個人ノ正理ナル抗禦ヲ保護スルカ爲ニ裁判所ヲ設ケタリ此ノ裁判所ノ構成ハ獨リ非理ヲ被リタル一個人ノ利益ヲ願ルノミナラス又庶民社會ノ利益ニ注意シテ其ノ參判ヲモ許ス

ノ制ナリ此ノ裁判所ハ急ニ臨ミテハ其ノ禁停權ヲ用ヒテ國權ノ力ヲ妨制シ法律ノ形式ヲ奪
 フノ權アルノミナラス若シ人民ノ自由ニシテ危害ヲ被ムルト認ムルトキハ何時ニテモ人民
 チシテ他ノ命令ヲ拒ムコトヲ得セシメ法令服從ノ義務ヲ解クノ權ヲ有シタリ是レ貴族チシ
 テ政令ノ檢束ヲ被ムルニ懲リシメ專恣ニシテ法規ヲ越ユルコトナカランコトヲ欲シタルニ
 由レリ此ノ法ハ猶ホ闕漏ノ點多カリシト雖貴族中ニ於テモ亦之ヲ賞賛シテ人民ノ正理及ヒ
 自由ヲ支持スル柱楛ナリトセシモノアリ然レトモ是レ皆消極的ノ抗禦ニシテ羅馬庶民ハ曾
 テ其ノ官府ノ非理ヲ匡正スルカ爲ニ鋒刃ヲ手ニシタルコトナシ彼等ハ政府ノ其ノ非ヲ悟リ
 テ全國ノ人心ヲ統御スル正義ノ輕ノスヘカヲサルヲ知ルニ至ルマテハ總テ之ニ服從スルノ
 義務ナシトセリ然レトモ裁判所ハ漸ク其ノ權威ヲ濫用シ下民ノ正理ヲ保護スルノ職ヲ忘レ
 テ却テ下民ノ激昂ヲ利用シ以テ政府ノ權威ヲシテ己レノ意思ニ屈從セシメンコトヲ謀リ爲
 ニ國家ノ擾亂ヲ醸シタリ

又斯巴達ニ於テ「エホラート」ノ職アリ人民ノ自由ヲ護持シ國王ニシテ非理ノ舉アレハ之ヲ
 矯正スルヲ任トセリ然レトモ此ノ官ノ腐敗ヲ致セルハ羅馬ノ裁判官ヨリモ速ニシテ其ノ自
 由ノ護持ニ任スル職ヲ忘レテ國王ト共ニ政柄ヲ執リ且ツ其ノ護衛スル憲法ニ背キ此ノ巧緻
 ナル建築ニ於テ自ラ大ナル罅隙ヲ開ケリ

(第三) 中古ニ至リテ復タ國權ニ對スル抗禦ノ權利ヲ保護セント欲シ之カ組織ヲ試ミタリト
 雖其ノ實施スルニ及ヒテ更ニ古代ニ勝レル不良ノ結果ヲ生シタリ元來自助ノ性質ハ日耳曼
 人種ノ固有スル所ニシテ古ヨリ日耳曼人ハ他人ノ爲ニ其ノ權利ヲ損害セラル、トキハ自ラ
 カヲ以テ之ニ當リ己レニ敵スル者ヲ制服シテ己レノ受ケタル非理ニ報復スルヲ以テ常トセ
 リ後チ佛郎哥王國^{フランク}ノ起ルニ及ヒテ日耳曼人等ハ其ノ慣習ヲ廢シ國家ノ制定シタル權利ヲ認
 メテ其ノ保護ニ依ラサルヘカラサルニ至リシモ加耳大王歿シ其ノ邦土ノ分裂スルニ及ヒ羅
 馬文明ノ遺法未タ日耳曼人ノ精神氣質ニ遺傳スルニ至ラス古來自助ノ性質又未タ其ノ遺習
 チ失ハス是ヲ以テ遂ニ中古ノ鬪爭權ヲ生シ苟モ他人ノ爲ニ其ノ權利ヲ害セラレタリト信シ
 自ラ敵ノ非理ニ抗爭シ得ヘシト信スル者ハ劍ヲ手ニシテ鬪戰スルノ風ヲ爲セリ是ニ於テ國
 王侯伯ト爭ヒ王公市府ト爭ヒ君主等族ト爭ヒ各々其權利ヲ主張シテ終ニ兩黨ノ大戰ヲ生ス
 ルニ至ルコト稀ナラス兩黨互ニ兵ヲ募リ徒ヲ集メ勝敗ヲ以テ權利ノ有無ヲ決シタリ
 (第四) 當今ノ國家ハ完全一体ヲ以テ本ト爲スカ故ニ剛愎ナル自助ト之ヨリ生スル鬪爭トチ
 許サス當今ノ主義ニ於テ之レヲ視ルトキハ此レ皆野蠻ノ遺習ニシテ正理ヲ保護スヘキ城壁
 ニ非ス故ニ國家ハ凡ソ官府ニ對シテハ縱ヒ官府ニ於テ非理ノ威力ヲ加フルトキト雖兵刃ヲ
 以テ抗爭スルコトヲ許サストノ主義ヲ設ケサルヲ得サルナリ然レトモ國家ハ如何ノ事情ナ

問ハス一切人民ノ抗論抵争スルノ權ヲ認メサラントスルカ堪ユヘカラサル暴力ニ對スルニ温順ノ言語ヲ以テシテ冤罪ニ呻吟シテ猶ホ痛若ニ耐忍シ僅ニ道德ノ一路ニ逃避スル抗抵ノ外ハ之ヲ許サ、ラントスルカ暴惡無道ノ官府ヲシテ其ノ威力ヲ恣ニセシメ獨リ天道ノ正理ニ訴ヘントスル抗抵ノ外ハ之ヲ許サ、ラントスルカ

英國「カールス」第二世及ヒ「ヤーコップ」第二世ノ朝ニ於テ國教者流ノ僧徒ト「トリ」法律學者王黨ノ學トハ實ニ之ヲ以テ其ノ徒ニ教ヘタリ僧徒ハ弘法使「パウールス」ノ戒語ヲ援キテ曰ハク人皆官府ノ臣民トシテ其ノ威力ノ下ニ立タサルハナシト而シテ此ノ意義ヲ解釋シテ是レ絶對的ニ戒慎ヲ加ヘタルモノト爲シ且ツ此ノ語ハ昔シ羅馬ノ逆主「ネロ」ノ凡ソ天下ヲ統制スルニハ權利ヲ破壞シ慘酷ヲ極メ專恣ヲ盡スモ臣民ハ力ヲ以テ官府ニ抗スルノ權ナシト公言スルニ方リテ「パウールス」ノ基督信徒ヲ戒メタルモノナリトシ此ノ語ニ倚リテ以テ己レノ說ニ重キヲ加ヘントセリ又法律學者ハ之レカ說ヲ爲シテ曰ハク服從ノ常規ハ時ニ抗禦ヲ認許スヘキ特例ノ爲ニ其ノ範圍ヲ制限セラル、コトナン何トナレハ常規ヲ用フヘキ通常ノ場合ト特例ヲ行フヘキ非常ノ場合トノ間ニ一定ノ明界ヲ立テンコトハ到底爲シ得ヘカラサル所ナレハナリ故ニ社會ハ暴逆ノ政府ト雖猶ホ耐忍シテ之レニ事フルヲ可トス若シ然ラスンハ一ノ反逆人アリテ自ラ其ノ權利ヲ害セラレ壓制已ニ堪ユヘカラサルニ至レリト唱フル

アラハ社會ハ毎ニ之ヲ助ケサルヘカラス是ノ如キ主義ハ常ニ國家ノ秩序ヲ害シ安寧ヲ得ル能ハサルヘント

此ノ時ニ方リ世人皆革命ノ擾亂ト均權論者ノ專横トニ懲リ未タ之ヲ忘セサルヲ以テ「ヤーコップ」第二世ノ暴政ヲ以テ獨リ異教宗徒ト共和政黨トヲ抑壓シタル間ハ此レ等ノ教論學說モ亦一般ノ贊成ヲ得タリ然レトモ其ノ後チ國主ノ貴族ノ權利ヲ侵シ國教徒ヲ抑壓シタルニ及ヒテ全國ノ人民漸ク其ノ耳チ「ホワイグ」黨王黨ノ反ノ主義ニ傾ケタリ其ノ主義トスル所ハ壓制其ノ極ニ至レハ兵力ヲ以テ抗禦スルコトヲ得ト曰フニ在リ然ルニ少數ノ「トリ」黨ハ其ノ平生ノ持論タル基督教ノ耐忍義務ヲ以テ其ノ主義トシ壓制其ノ極ニ至ルモ猶ホ耐忍シテ服從スヘント爲シタルニモ關セス此ノ反逆ノ言論ニ對シ曾テ國王ノ爲ニ之ヲ論駁スルコトヲ爲サス是ニ於テ抗禦ノ主義ハ學說的ニ於テモ竟ニ其ノ勝チ制シタリ而シテ「ホワイグ」黨ハ國教僧徒ノ說ニ對シテ「パウールス」カ官府ニ服從スヘント戒メタルハ是レ道德ノ言ニシテ法律ノ言ニ非ス且ツ其ノ意義ハ絶對的ニ解釋スヘキモノニ非スト論シタリ思フニ「パウールス」ノ意モ亦此ニ外ナラサルヘシ其ノ意ヲ推セハ凡ソ人ハ平安ニ生活スヘシ反逆ヲ謀ルヘカラス然レトモ時アリテ戰鬪ヲ爲スノ已ムヲ得サルコトアルヘク且ツ權利ノ安全ヲ得ルカ爲ニ秘密ニ黨衆ヲ結フノ必要アルヘシト解釋シテ可ナルヘシ又「ホワイグ」黨ハ「ト

リ「法律學者ニ對シテ論シテ曰ハク尋常ノ時ニ於ケル抗禦ノ宜ク罪スヘキモノト非常ノ時ニ於ケル抗禦ノ宜ク認許スヘキモノトノ間ニ一線ヲ畫シ各人ヲシテ皆能ク之ヲ見ルコトヲ得ヘカラシムルハ困難ニシテ殆ント爲シ得ヘカラスト曰ヘルハ則チ可ナリ然レトモ凡ソ德義上ト權利上ノ範圍ハ常ニ必ス一定ノ界線ヲ畫シテ判別シ得ヘキモノニ非ス又善ト惡トハ算術ノ三角形又ハ圓形ニ於ケルカ如ク容易ニ判別シ得ヘキモノニ非サルナリト而シテ他ノ學者モ亦「トリト」黨ニ反對シテ曰ク今一私人ノ非常防禦權ヲ定メントスルニ臨ミ其ノ此ノ權ヲ使用セシムヘキ危險ノ實勢ヲ豫定スルノ困難ニシテ且ツ爲シ得ヘカラスルノ故ヲ以テ此ノ權ヲ與フヘカラストスル者アランヤ今自由ノ民ノ其ノ暴逆ナル政府ニ對シテ抗禦ノ權ヲ有スルハ一私人ノ盜賊ニ抗抵スル非常防禦ノ權ト復タ何ソ異ナランヤ抑此ノ兩様ノ場合ニ於テハ其ノ受ル所ノ危害既ニ重大ニ且ツ緊急ニシテ又通常平穩ノ防禦方法ハ皆之ヲ用ヒ盡シタル後ナラサルヘカラス又此ノ兩様ノ非常權ヲ行フ者ハ己レ其ノ重キ責任ヲ負ハサルヘカラス若シ其ノ時勢ノ非常ニシテ抗拒ノ已ムヘカラサル所以ト其ノ權利ノ在ル所トヲ明辨シ得サルトキハ徒ラニ暴力ヲ使用シタルノ罪ニ陥リ重罰ヲ甘受セサルヘカラス非常權ハ容易ニ之ヲ許サ、ルヲ可トスト雖全ク之ヲ與ヘサルハ爲シ得ヘカラス事タリト此ノ原則ハ英國及ヒ米國ニ於テ一般ニ稱道スル所ナリ

曩ニ佛國革命ノ時ニ於テ「ヤーコップ」黨ハ亦此ノ問題ニ熱心シ特ニ非常ニ際シテ抗禦シ得ヘキモノヲ以テ却テ通常人民ノ當ニ有シ得ヘキ威力トセント欲シタリ故ニ其ノ決議ニ依リ革命ヲ以テ國家ノ主義トシテ之ヲ公布シ官府ニ敵スル反逆ヲ以テ國民ノ義務トシテ之ヲ稱揚シタリ

夫レ人民ノ權利ヲ保護スルヲ以テ任トスル官府ニシテ其ノ權利ヲ傷害スルニ方リ被治者タル人民其ノ力ヲ以テ抗禦ヲ試ミ又ハ國民ノ自由及ヒ權利ヲ救護センカ爲メニ國家ノ法律及ヒ官府ニ對スル服從ノ義務ヲ停止スルハ唯タ危難ノ實ニ急迫ナル時ノミニ限ルヘシ是ノ如ク威力ト威力ト相抵觸スルニ方リテハ國權ノ運動ノ力爲ニ妨止セラル蓋シ國家ノ危急ニ際シテ緊急權ヲ有スルカ如ク人民モ亦同シク此ノ權ヲ有スルハ是レ人造法ノ竟ニ完全ヲ得サルノ一證ノミ國法ハ此ノ非常權ヲ拒ムコト能ハス而シテ亦細カニ之カ規定ヲ設クルコト能ハス唯タ能ク之ヲ控制シカメテ其ノ危險ヲ防クヘキノミ若シ一旦非常ノ事起リ法制ノ維繩已ニ斷截シ天然ノ腕力其ノ權ヲ振フニ及ヒテハ國法ノ力ハ既ニ其ノ極界ニ達シテ復タ之ヲ制禦スルノ權ナシ是ノ時ニ際シテハ獨リ一層高尚ナル德義ノ存スル有リ其ノ精神的ノ威力ニ倚リテ暴力ヲ制シ且ツ其ノ理非ヲ判決スヘキアルノミ

5/10/110

110

正誤

八八	八八	七八	五九	五九	十九	十百
十四	十四	十五	十五	十六	三十九	二十四
行丁	行丁	行丁	行丁	行丁	行丁	行丁
冀望ハ	冀望ハ	前世記ハ	淺深ハ	相統權ハ	管ヲ檢ハ	職業ハ
冀望。	冀望。	前世紀。	深淺。	相續權。	管檢ヲ。	職掌。

5/10/110

明治廿三年三月十三日出版

版權所有 司法省

版權登錄

